



Pay⁺Cube[®]

取扱説明書

貨幣入出金装置

安全にお使い
いただくために

各部の名称と機能

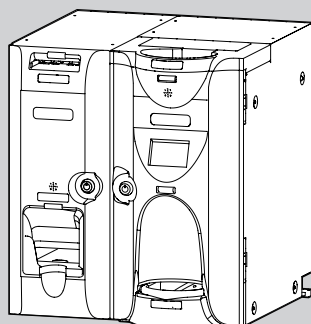
お使いになる前に

日常の操作

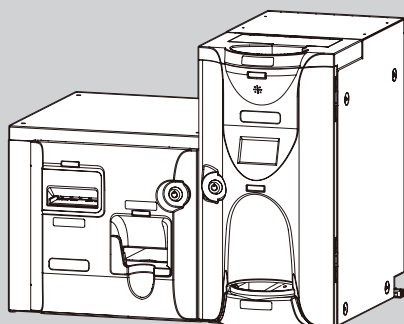
日常のお手入れ

困ったときは

その他



キューブ型タイプ



L型タイプ

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず大切に保管してください。

はじめに

このたびは弊社製品をお買上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい操作で安全にお使いください。
本製品に改造を加えて構造、仕様を変更したり、他の目的に使用したりしないでください。
本来の性能が発揮できないばかりでなく、火災や感電により死亡や重傷を負う可能性があります。
また本製品は日本国内仕様となっておりますので、海外では使用できません。

本製品は、上位装置（POS 端末またはレジスター）に接続することで、国内流通貨幣を入出金することができます。

これ以外の目的に無断で使用しないでください。

従来の自動釣銭機と比較し、設置面積が小さく、狭小なレジカウンターでもご使用頂けます。

上位装置に専用 OPOS ドライバを組み込むことで簡易に導入できます。

用途に合わせ、硬貨入出金装置と紙幣入出金装置の組み合わせを自由に選択することが可能です。

異常が発生した場合、表示部に QR コード*を表示します。

スマートフォンなどで読みとることで、オンラインマニュアルを参照しながらメンテナンスや復旧作業が可能です。

*：「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

もくじ

■ 安全にお使いいただくために	1
警告図と記載事項	2
ご使用前の安全厳守事項	3
■ 各部の名称と機能	9
硬貨入出金部	10
紙幣入出金部（キューブ型タイプ）	11
紙幣入出金部（L型タイプ）	12
表示部	13
鍵の種類	15
■ お使いになる前に	17
設置するにあたって	18
外形寸法図	20
設置スペース	23
重心位置	26
取り付け穴位置・寸法・条件	27
コネクタの接続	28
シリンダー錠の取り付け（紙幣入出金部）	29
■ 日常の操作	31
扉の開閉のしかた	32
電源の入 / 切のしかた	36
つり銭補充のしかた	37
会計のしかた	51
運用のしかた	53
営業の終了	55
計数モードの使いかた	65
メンテナンスモード	72
■ 日常のお手入れ	79
清掃のしかた	80
■ 困ったときは	89
エラーが発生したとき	90
■ その他	113
製品仕様	114
製品型式名の見方	115
付属品一覧	116

安全にお使いいただくために

安全にお
使いだ
くた
めい
に

警告図と記載事項	2
ご使用前の安全厳守事項	3

警告図と記載事項

本製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書の指示に従って取り扱いください。
この取扱説明書には製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるか等について説明しています。
またこの取扱説明書は、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。
それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義しています。

■警告及び注意事項

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■本文中の「図記号」の意味は次の通りです。

	一 般 特定しない一般的な注意、警告、危険の通告に用います。		一般（禁止） 特定しない一般的な禁止の通告に用います。
	発火注意 特定の条件において、発火の可能性を注意する通告に用います。		分解禁止 機器を分解することで感電などの障害が起こる可能性がある場合の禁止の通告に用います。
	破裂注意 特定の条件において、破裂の可能性を注意する通告に用います。		一般（強制） 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示に用います。
	感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告に用います。		必ずアース線を接続せよ 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続するように指示する表示に用います。
	指を挟まれないよう注意 扉、挿入口などで、指が挟まれることによって起こる障害の可能性を注意する通告に用います。		

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI ClassA

ご使用前の安全厳守事項

い安全に
おために
使

	警告 設置について
 設置に関して	本製品の設置および移設は、専門の設置業者またはお買上先へ依頼してください。また、設置に関しては、道路交通法、消防法、電気事業法などを遵守し、JIS 基準や業界自主基準に準拠した設置をしてください。 違法または不完全な設置および移設は転倒・事故・感電・火災・けがの恐れがあります。
 アース工事	アースを必ず接続してください。アース線は、ガス管や水道管・電話回線のアース・避雷針などに接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の恐れがあります。
 電源コンセント	本製品は必ず単相 100V、電気容量 15 A 以上の専用コンセントを使用してください。 3 極電源コンセントを 2 極電源コンセントに変換しないでください。延長コードの使用やタコ足配線は、火災の原因になります。
 ケーブル	コネクタの接続は電源が切れている状態で行ってください。 紙幣入出金部と硬貨入出金部を接続する Pay Cube 中継ハーネスおよび硬貨入出金部と上位装置を接続する上位装置接続ケーブルは無理に引っ張られることがないようにしてください。
 設置前 転倒注意	設置前は不安定な場所に置かないでください。また、設置前に本製品の扉を開く際は転倒などしないように十分配慮してください。 けが・破損の恐れがあります。
 設置場所注意	段差のある場所や強度不足の場所に設置しないでください。筐体は水平に取り付けてください（傾斜 1° 以下（前後左右共通））。 静電気の起きやすい場所や電磁波を発生する機器の近くに置かないでください。 けが・破損の恐れがあります。



警告 設置について



設置後 転倒注意

転倒防止のため、ボルト（M8）を使用して本体を設置台に必ず固定してください（紙幣入出金部：ボルト 4 本、硬貨入出金部：ボルト 6 本）。また、ボルトの長さは設置面から、6 ～ 10 mm の長さにしてください。固定後、本体のスライド部を引き出して、本体と設置台が転倒しないことを確認してください。



可燃物禁止

シンナーなどの可燃物や可燃性ガス・揮発性の高い物を本製品の中及び近くに置いて使用しないでください。

爆発・火災の恐れがあります。



警告 取り扱いについて



指定外取扱禁止

各機器は本書に記載してある部分以外は絶対に手を触れないでください。

けが・感電の恐れがあります。



濡れ手禁止

電源プラグ・スイッチには濡れた手で触れないでください。

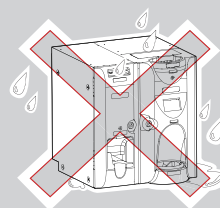
感電の恐れがあります。



穴や隙間への 異物禁止

各機器の穴や隙間に指や針金などの金属類を入れないでください。

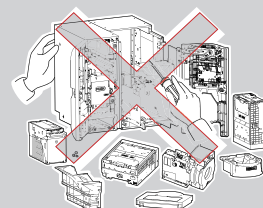
感電・火災の恐れがあります。



水濡れ禁止

本製品外部及び内部の各機器類は、雨水や清掃時の水などで濡れないようにしてください。

感電の恐れがあります。





警告

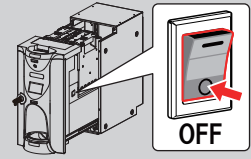
取り扱いについて



分解・改造禁止

本製品の分解または改造はしないでください。

事故の発生原因になります。



異常時使用禁止

本製品に異常を感じた時は、必ず電源スイッチを切り、専門の修理業者またはお買上先に連絡してください。

そのまま放置すると事故発生の恐れがあります。



清掃時

本製品の清掃には、可燃性のスプレーなどを使用しないでください。スプレーガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、爆発および火災の原因になることがあります。



修理に関して

修理は専門の修理業者またはお買上先へ依頼し、各機器分解修理は絶対にしないでください。

不完全な修理は、感電・けが・火災・転倒の原因になります。



オーバーホールに関して

オーバーホールの際は、電気部品・配線は絶対に水洗いしたり、また水洗いした物を再使用しないでください。

火災・感電の恐れがあります。

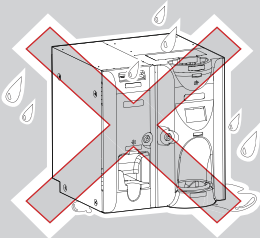


水没の際は

本製品が災害などで水没した場合は使用せず、専門の修理業者またはお買上先に修理・点検を依頼してください。

火災・感電の恐れがあります。

い安全
ただにお
くため
に

 注意	取り扱いについて	
 電源プラグの脱着	電源プラグの脱着は、プラグの部分を持って行ってください。 コードやプラグ以外の金属部分などを持って行わないでください。 感電の恐れがあります。	
 電源プラグの差し込み	電源プラグは確実にコンセントに差し込んでください。 差し込み不良は火災の原因になります。	
 AC アダプタ	付属の AC アダプタ以外使用しないでください。 火災・感電の恐れがあります。 AC アダプタは宙吊りにならないようにしてください。	
 清掃時	本製品内部の清掃を行う場合は必ず電源スイッチを切ってください。 電源スイッチを切らずに作業すると感電・けがの原因になります。	
 電源プラグ・コンセントの清掃・点検	電源プラグ・コンセントは定期的に清掃・点検してください。破損している場合は、修理の手配をしてください。 汚れや破損は、感電・火災の原因になります。	
 屋内専用	本製品は屋内専用ですので直射日光が当たる場所や、直接風雨にさらされるような場所、結露する場所、高温・低温になる場所で使用しないでください。 事故の原因になります。	
 据付面の確認	設置場所の据付面のガタツキや固定金具のゆるみなどを定期的に点検してください。異常がある場合は、専門の設置業者またはお買上げ先へ修理を依頼してください。 不完全な設置状態のまま使用すると、転倒事故の原因になります。	



注意

取り扱いについて



入金・収納 貨幣の注意

本製品に下記の貨幣を入金・収納しないでください。誤動作や故障の原因になります。

- ・水や油などで濡れた硬貨や紙幣・変形や摩耗、キズのある硬貨
- ・破れている紙幣、クセの強い紙幣・記念硬貨・外国貨
- ・紙くずやゴミ、レシート、クリップ、輪ゴム等異物の付着した硬貨や紙幣包装硬貨はそのまま補充しないでください。新札はよくさばいてから補充してください。



貨幣挿入口 注意

貨幣挿入口より奥へ手を入れないでください。

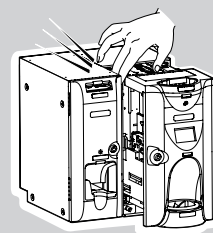
けがの原因になります。



挟まれ注意

扉を閉めるとき、貨幣収納力セットを本体に収納するとき、指や手を挟まないように注意してください。

けがの原因になります。



貨幣まり時の 注意

貨幣詰まり除去などの場合は、本書の記載内容に従って操作してください。

記載内容以外の操作をすると事故やけがの発生原因になります。



安全表示ラベルの管理

安全表示ラベル類は、常に正しく読めるように清掃や貼り替えをしてください。

見にくくなると事故の発生原因になります。



保管時の 積み上げ禁止

保管時は、本製品を積み上げないでください。

転倒事故、けがの原因になります。

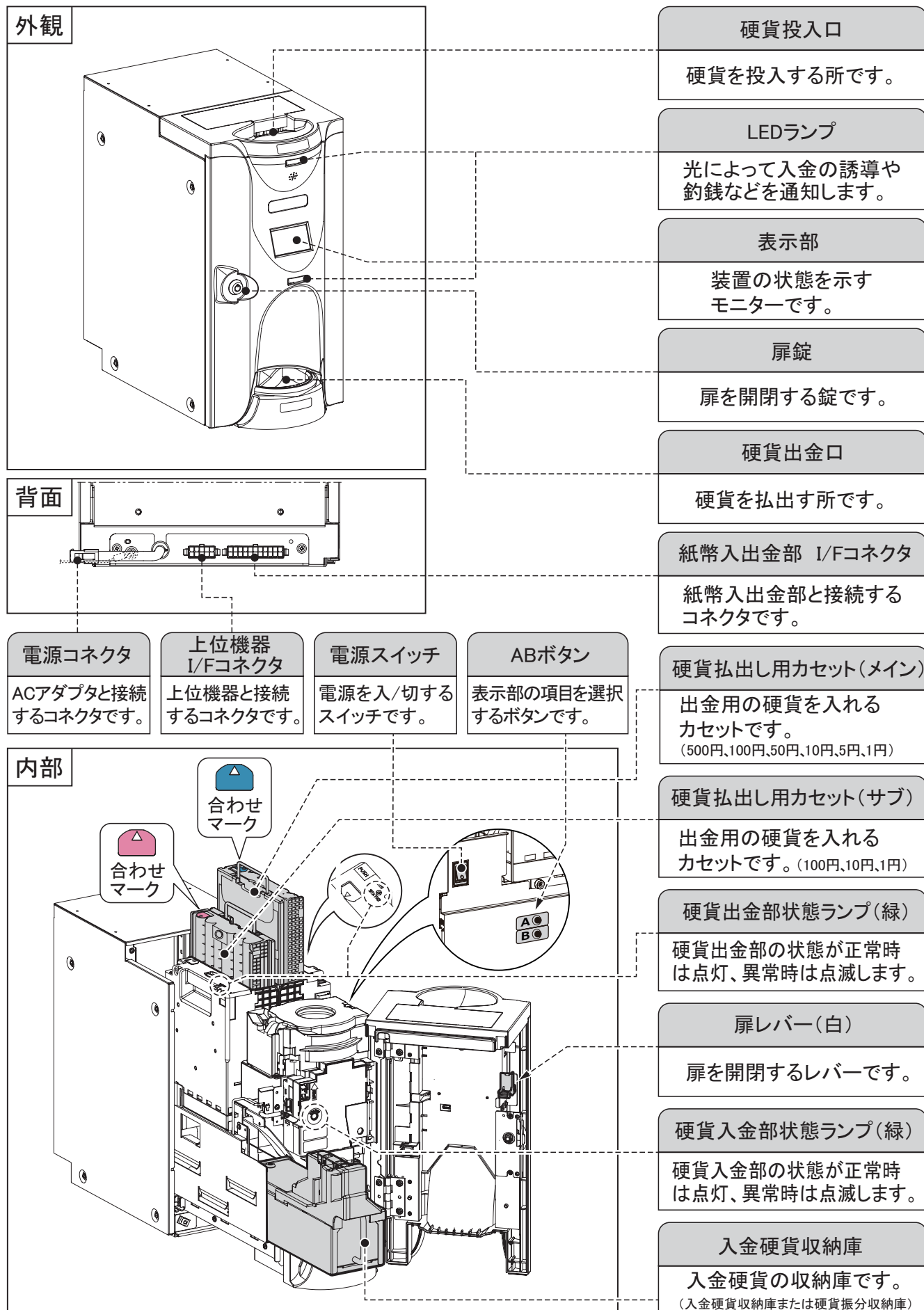
い安全
に
お
使
い
に

 注意	取り扱いについて
 耐荷重注意	筐体天面には2kg以上の重量物、L型タイプの紙幣入出金部側には20kg以上の重量物を載せないようにしてください。 筐体天面樹脂部に物を載せないようにしてください。
 保管時施錠	製品の保管時は必ず施錠してください。 施錠しないと事故の発生原因になります。
 国外使用禁止	国外で使用しないでください。 電源電圧が異なり、発火・発煙の恐れがあります。

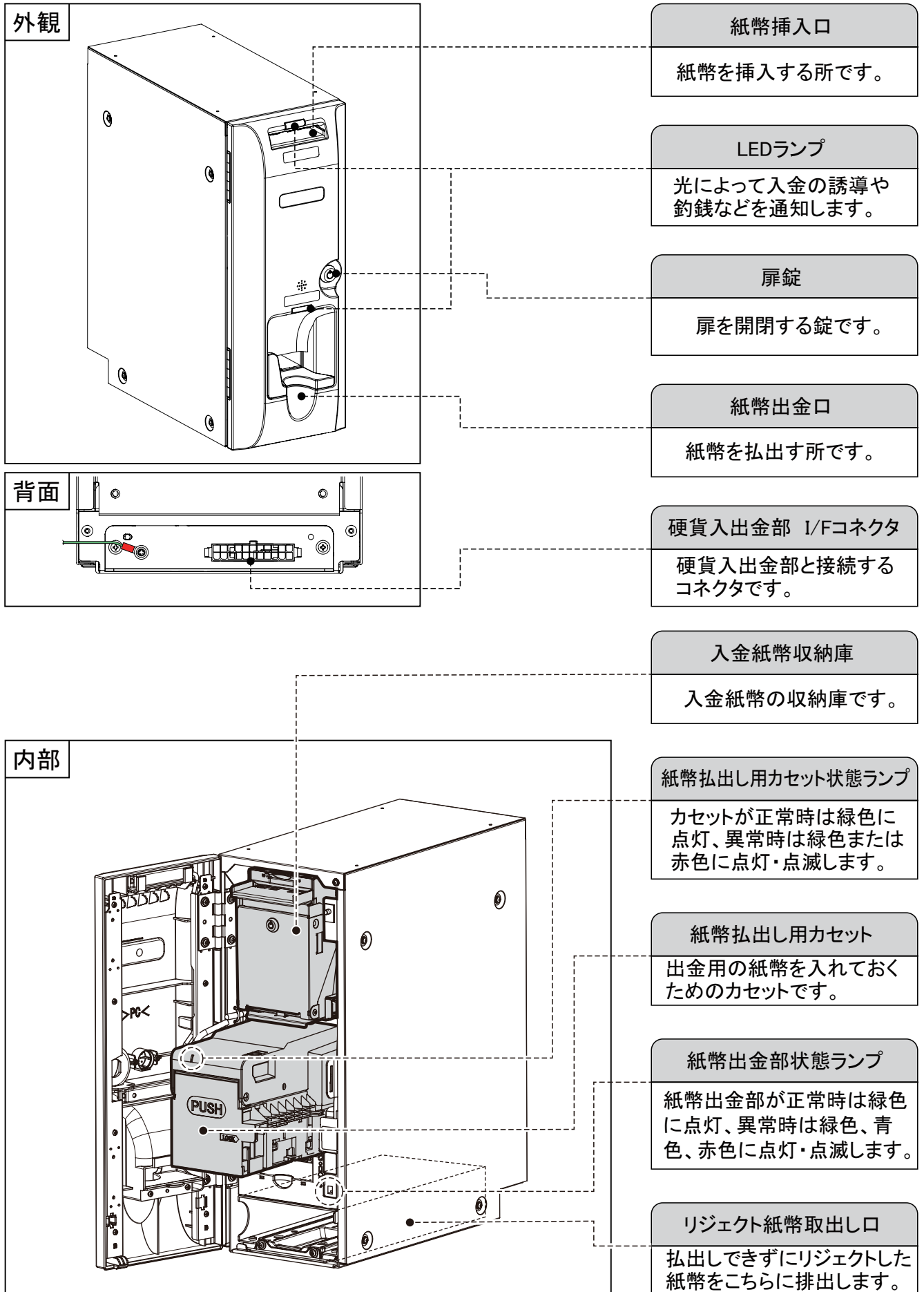
各部の名称と機能

硬貨入出金部.....	10
紙幣入出金部（キューブ型タイプ）.....	11
紙幣入出金部（L型タイプ）.....	12
表示部.....	13
鍵の種類.....	15

硬貨入出金部

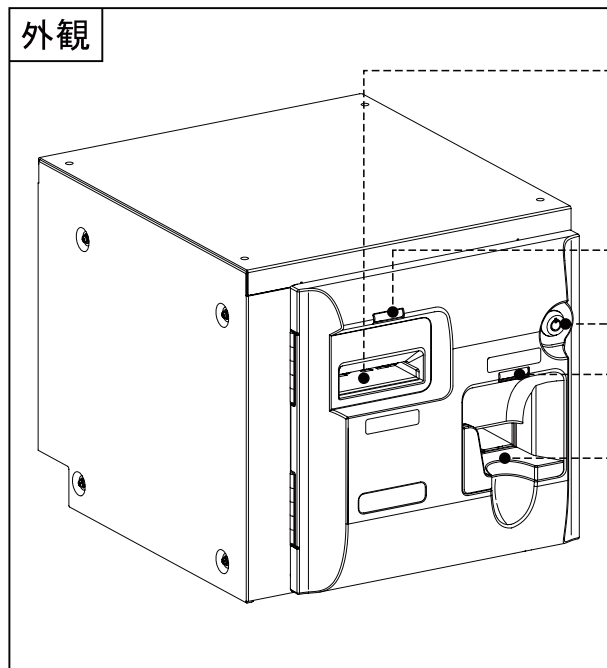


紙幣入出金部（キューブ型タイプ）



紙幣入出金部（L型タイプ）

外観



紙幣挿入口

紙幣を挿入する所です。

LEDランプ

光によって入金誘導や釣銭などを通知します。

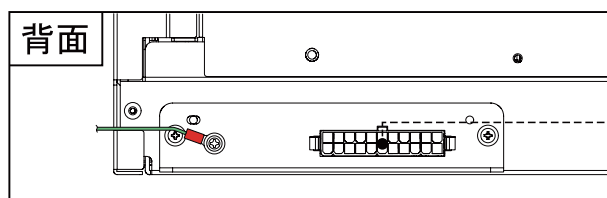
扉錠

扉を開閉する錠です。

紙幣出金口

紙幣を払出す所です。

背面



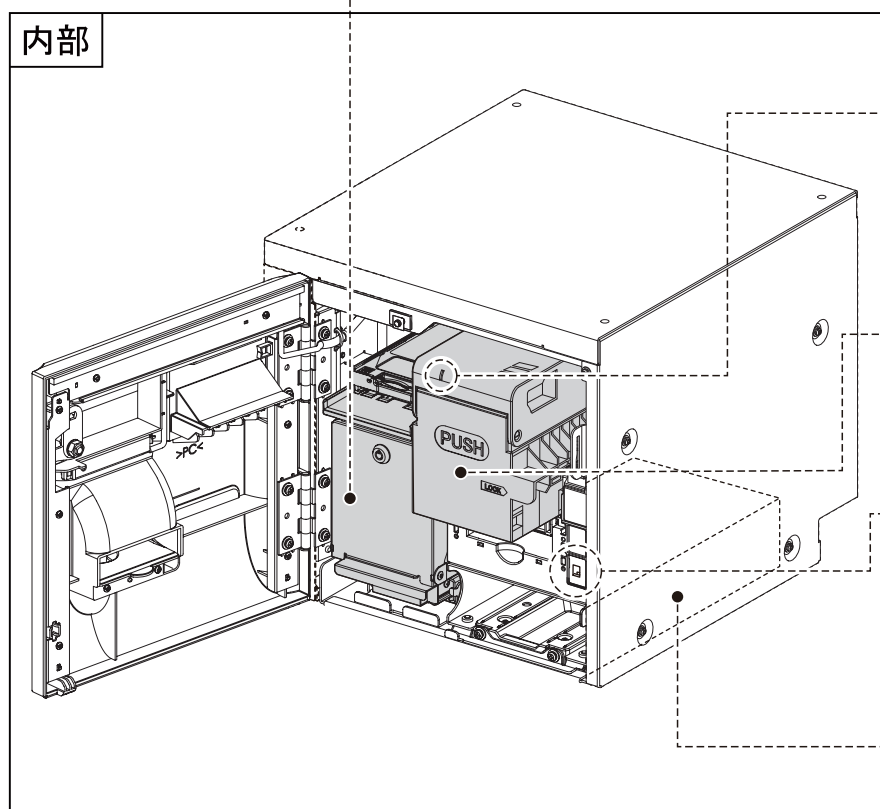
硬貨入出金部 I/Fコネクタ

硬貨入出金部と接続するコネクタです。

入金紙幣収納庫

入金紙幣の収納庫です。

内部



紙幣払出し用カセット状態ランプ

カセットが正常時は緑色に点灯、異常時は緑色または赤色に点灯・点滅します。

紙幣払出し用カセット

出金用の紙幣を入れておくためのカセットです。

紙幣出金部状態ランプ

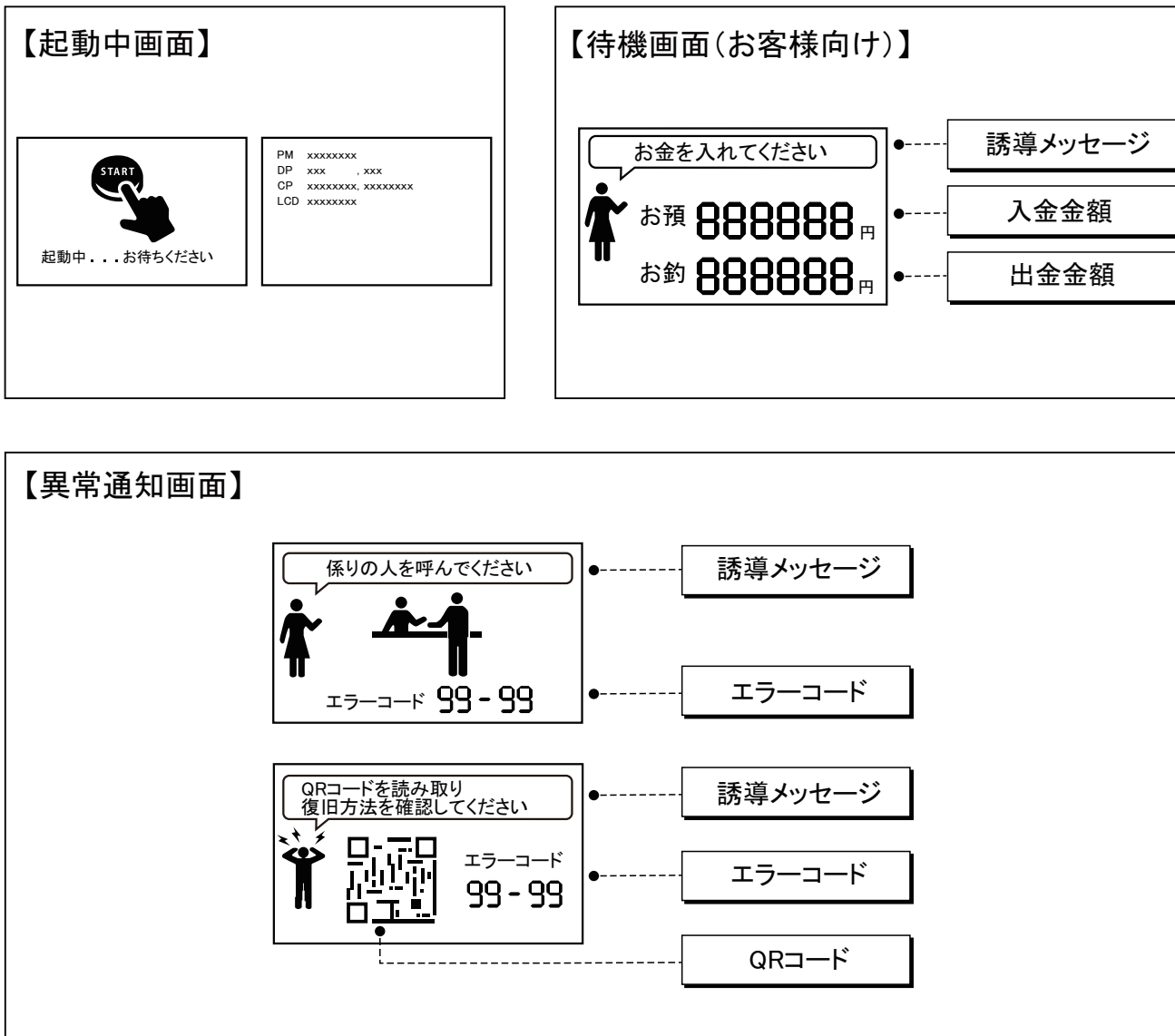
紙幣出金部が正常時は緑色に点灯、異常時は緑色、青色、赤色に点灯・点滅します。

リジェクト紙幣取出し口

払出しできずにリジェクトした紙幣をこちらに排出します。

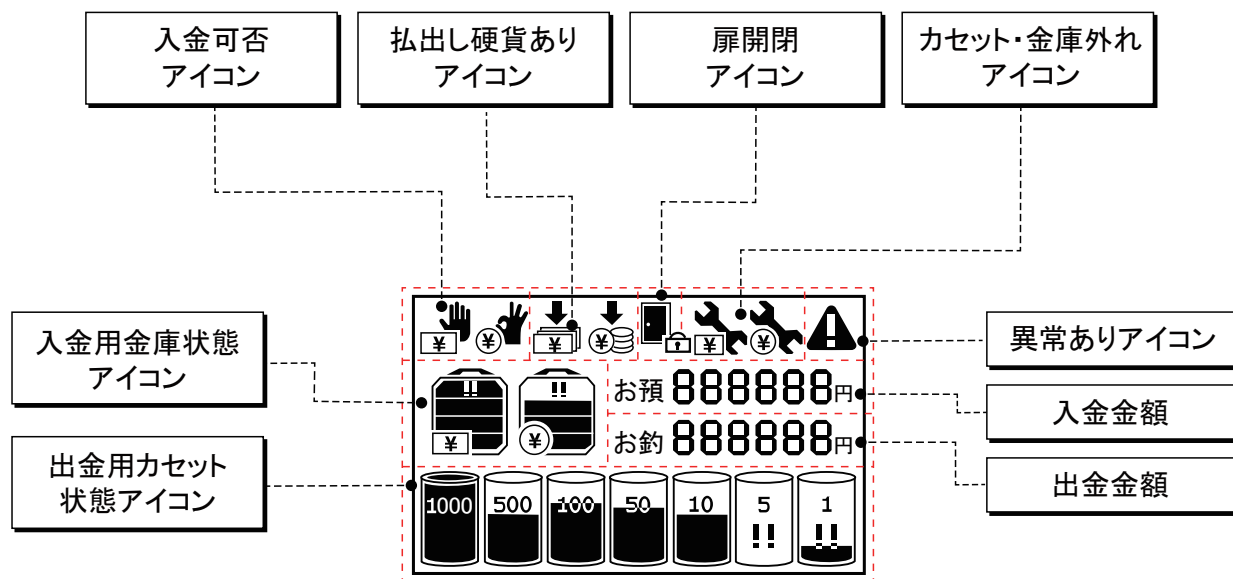
表示部

お預かり金額およびお釣り金額を表示します。異常時には通知画面にエラーコードおよび復旧方法閲覧用の QR コードを表示します。



※長時間電源 ON を継続する場合、デバイス保護のため 1 秒間の白黒画面を表示する場合があります。

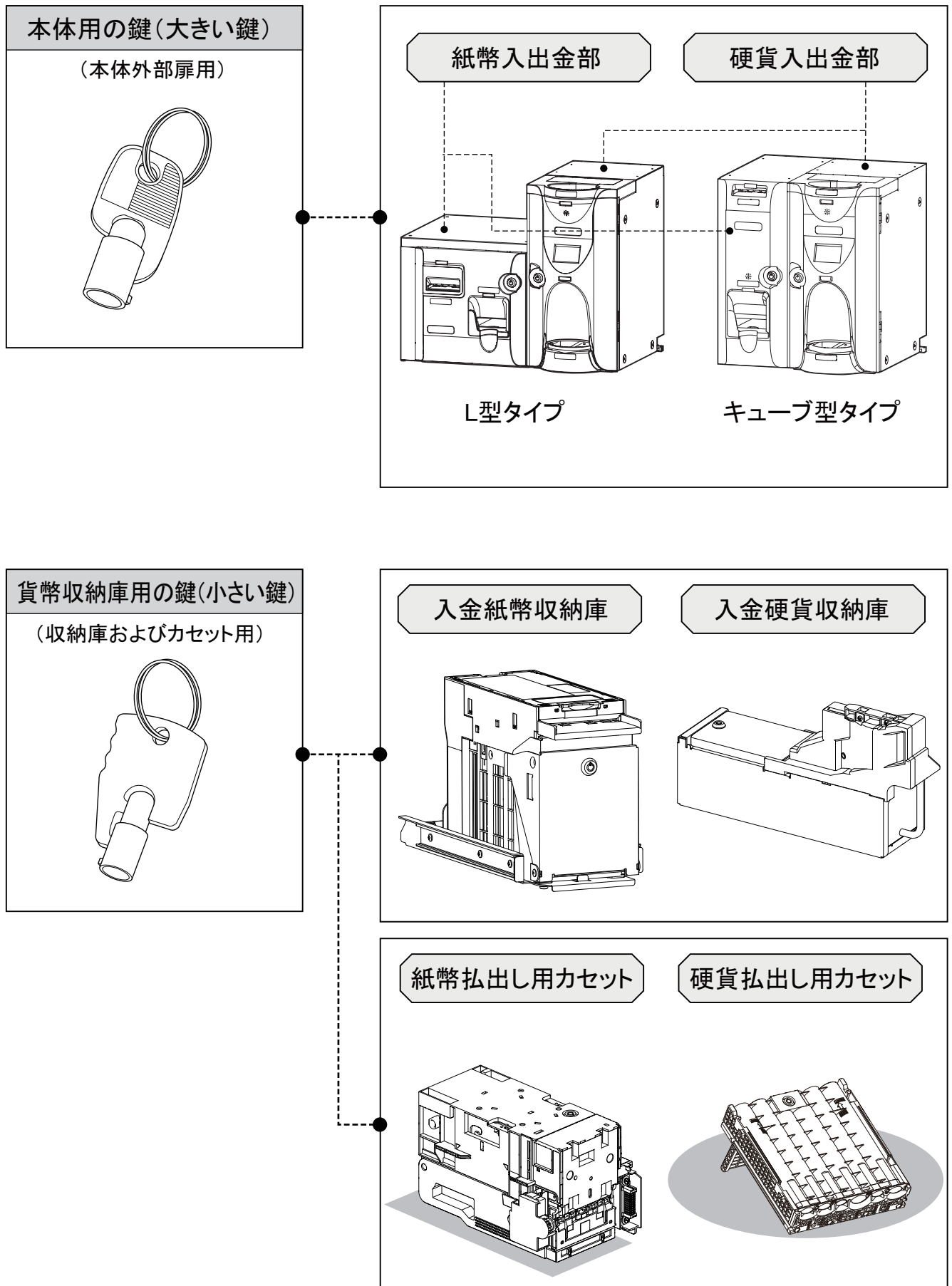
【待機画面(店員様向け)】



アイコン	内容	アイコン	内容
	硬貨／紙幣の受入れ許可時にアイコンを表示します。		ドアの開閉状態をアイコンで表示します。
	硬貨／紙幣の受入れ禁止時にアイコンを表示します。		硬貨／紙幣の払出し用カセットが正しくセットされていない場合にアイコンを表示します。
	払出し硬貨／紙幣の受取り待ち時にアイコンを表示します。		硬貨／紙幣収納庫内の状態を、満杯時のアイコン表示または4段階の残量アイコンで表示します。
	継続動作ができない異常が発生した場合にアイコンを表示します。		硬貨／紙幣の払出し用カセット内の貨幣枚数を残量アイコンで表示します。

鍵の種類

付属の鍵は本体及び装置内部のユニット部開閉に使用します。

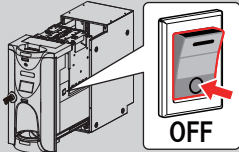
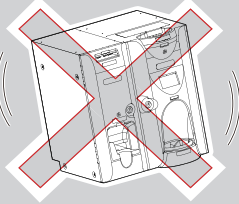


お使いになる前に

設置するにあたって	18
外形寸法図	20
硬貨入出金部	20
紙幣入出金部（キューブ型タイプ）	21
紙幣入出金部（L型タイプ）	22
設置スペース	23
硬貨入出金部	23
紙幣入出金部（キューブ型タイプ）	24
紙幣入出金部（L型タイプ）	25
重心位置	26
硬貨入出金部を引き出したときの重心位置	26
紙幣入出金部(キューブ型タイプ)を引き出したときの重心位置	26
紙幣入出金部(L型タイプ)を引き出したときの重心位置	26
取り付け穴位置・寸法・条件	27
コネクタの接続	28
シリンダー錠の取り付け（紙幣入出金部）	29

設置するにあたって

警告

 設置に関して	本製品の設置および移設は、専門の設置業者またはお買上先へ依頼してください。また、設置に関しては、道路交通法、消防法、電気事業法などを遵守し、JIS 基準や業界自主基準に準拠した設置をしてください。 違法または不完全な設置および移設は転倒・事故・感電・火災・けがの恐れがあります。
 アース工事	アースを必ず接続してください。アース線は、ガス管や水道管・電話回線のアース・避雷針などに接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の恐れがあります。
 電源コンセント	本製品は必ず单相 100V、電気容量 15 A 以上の専用コンセントを使用してください。 3 極電源コンセントを 2 極電源コンセントに変換しないでください。延長コードの使用やタコ足配線は、火災の原因になります。
 ケーブル	コネクタの接続は電源が切れている状態で行ってください。 紙幣入出金部と硬貨入出金部を接続する Pay Cube 中継ハーネスおよび硬貨入出金部と上位装置を接続する上位装置接続ケーブルは無理に引っ張られることがないようにしてください。 
 設置前 転倒注意	設置前は不安定な場所に置かないでください。また、設置前に本製品の扉を開く際は転倒などしないように十分配慮してください。 けが・破損の恐れがあります。 
 設置場所注意	段差のある場所や強度不足の場所に設置しないでください。筐体は水平に取り付けてください（傾斜 1° 以下（前後左右共通））。 静電気の起きやすい場所や電磁波を発生する機器の近くに置かないでください。 けが・破損の恐れがあります。
 設置後 転倒注意	転倒防止のため、ボルト（M8）を使用して本体を設置台に必ず固定してください（紙幣入出金部：ボルト 4 本、硬貨入出金部：ボルト 6 本）。 また、ボルトの長さは設置面から、6 ～ 10 mm の長さにしてください。 固定後、本体のスライド部を引き出して、本体と設置台が転倒しないことを確認してください。



警告



可燃物禁止

シンナーなどの可燃物や可燃性ガス・揮発性の高い物を本製品の中及び近くに置いて使用しないでください。

爆発・火災の恐れがあります。



注意



設置位置

本製品の設置位置は筐体扉の開閉に影響を及ぼします。必ず正面から見て左側に紙幣入出金部、右側に硬貨入出金部を設置してください。また、紙幣入出金部と硬貨入出金部の間に貨幣など異物が入らないように設置してください。



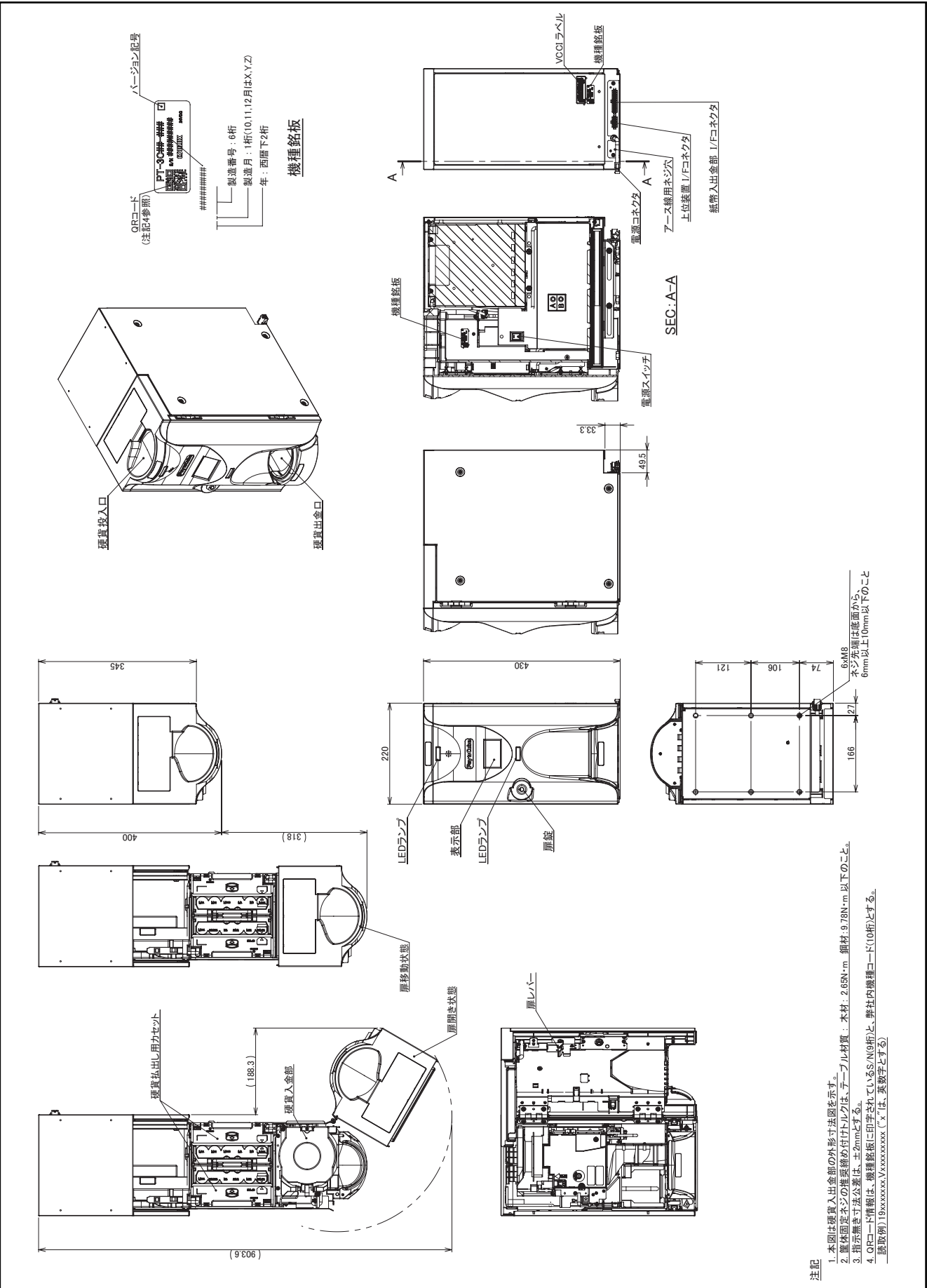
使用・保管に関して

下記のような環境下での使用・保管はしないでください。

- ・ 振動や衝撃の加わる場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 静電気の影響の強い場所
- ・ 塩分の多い場所（海岸付近など）
- ・ 湿気やほこりが多い場所
- ・ 温度・湿度の変化が激しい場所
- ・ 熱の発生する物の近く（ストーブ・ヒータ等）
- ・ 水気の多い場所（台所、浴室等）
- ・ 油の多い場所、油煙の発生する場所（工場、厨房等）
- ・ 保温、保湿性の高い物の近く（じゅうたん、スポンジ、発泡スチロール等）
- ・ 強い電磁波や磁気の発生する物の近く（無線機、電子レンジ、磁石、無線 LAN 等）

外形寸法図

● 硬貨入出金部

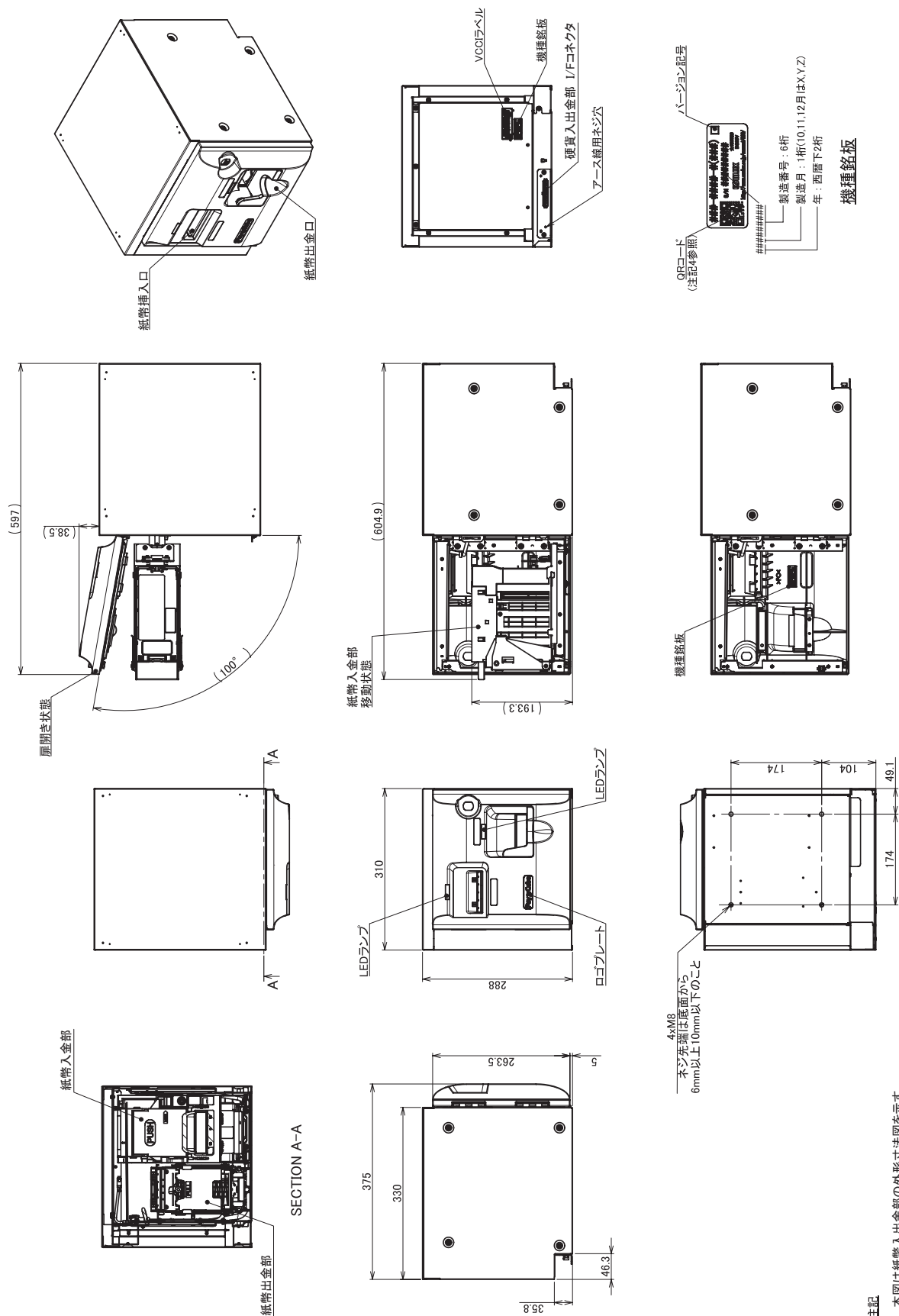


お使いになる前に



1. 本図は縦横入出金品の外形寸法図を示す。
2. 筐体固定ネジの推奨取り付けトルクは、テープ材質 木材：2.65N・m 鋼材：9.78N・m 以下のこと。
3. 指示無寸法公差は、±2mmとする。
4. QRコード情報は、機種銘板に印字されているSSN(9桁)、準互換機種コード(10桁)とする。
(読取例) 19xxxxxx\xxxxxxx ("x"は、英数字とする)

● 紙幣入出金部（L型タイプ）



注記

1. 本図は紙幣入出金部の外形寸法図を示す。
2. 筐体固定ネジの推奨締め付けトルクは、
デューブル材質・本材: 2.65N・m 鋼材: 9.78N・m 以下のこと。
3. 提示無寸法公差は、±2mmとする。
4. QRコード情報は、機種銘板に印字されているS/N(9桁)と、弊社内機種コード(10桁)とする。
読取例) 19xxxxxxxxxxxxxx (‘x’は、英数字とする)

設置スペース

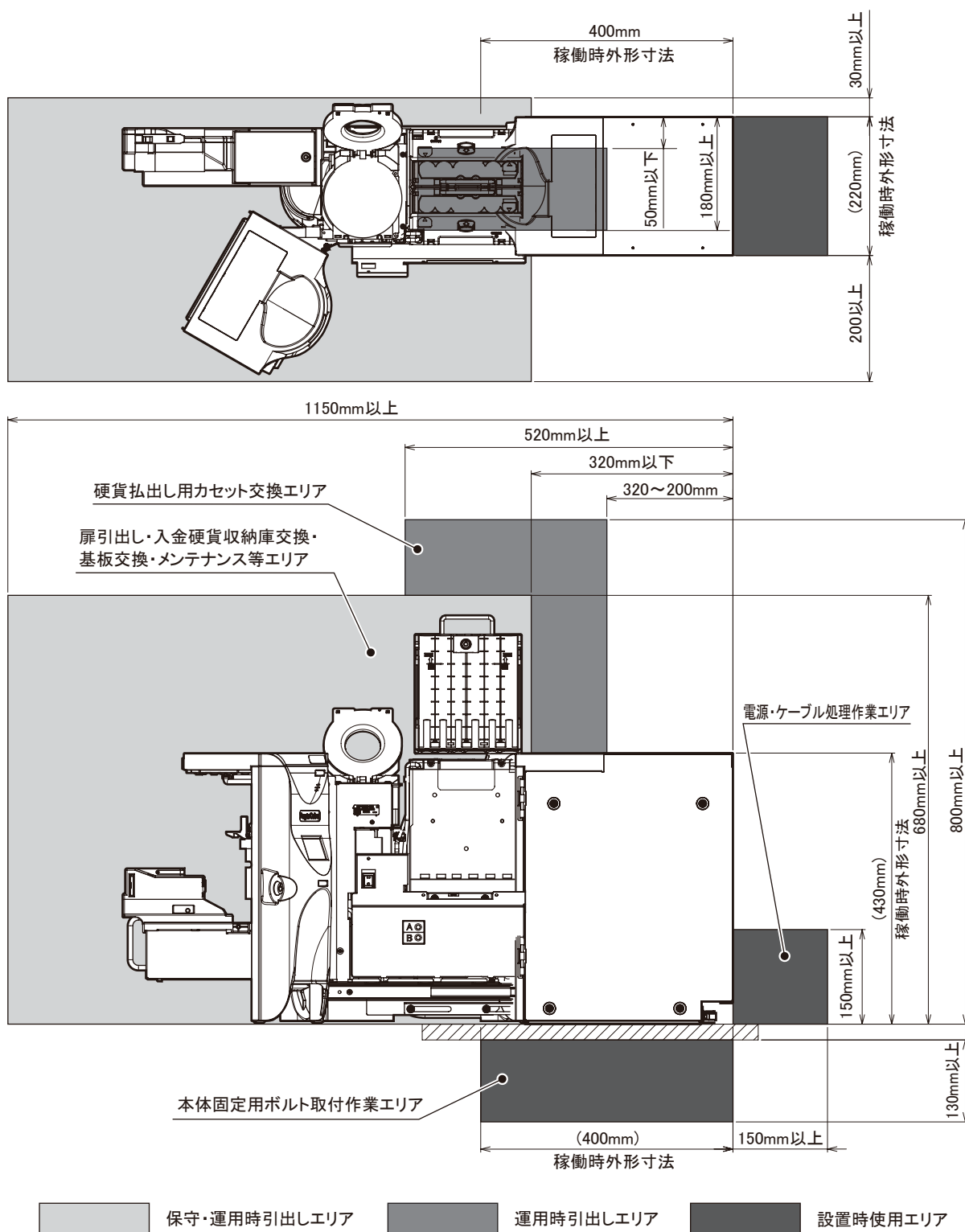


注意

保守及び設置時使用エリアが確保できない場合、設置台を可動式にするなど保守作業上の配慮をお願いします。

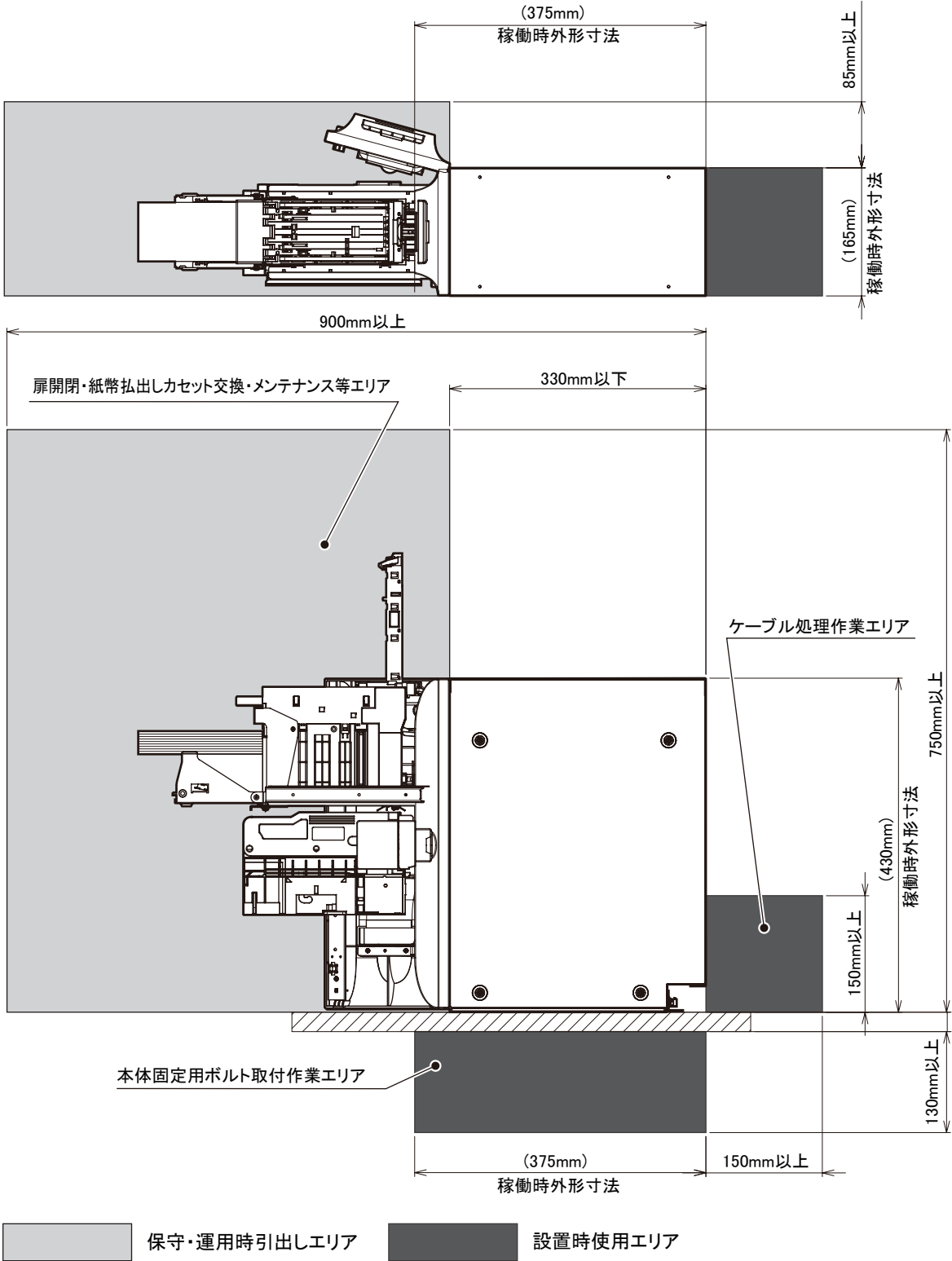
ケーブル処理作業エリアは保守管理の都合上、容易にアクセス(確認)ができるように設置台の構造上の配慮をお願いします。

● 硬貨入出金部



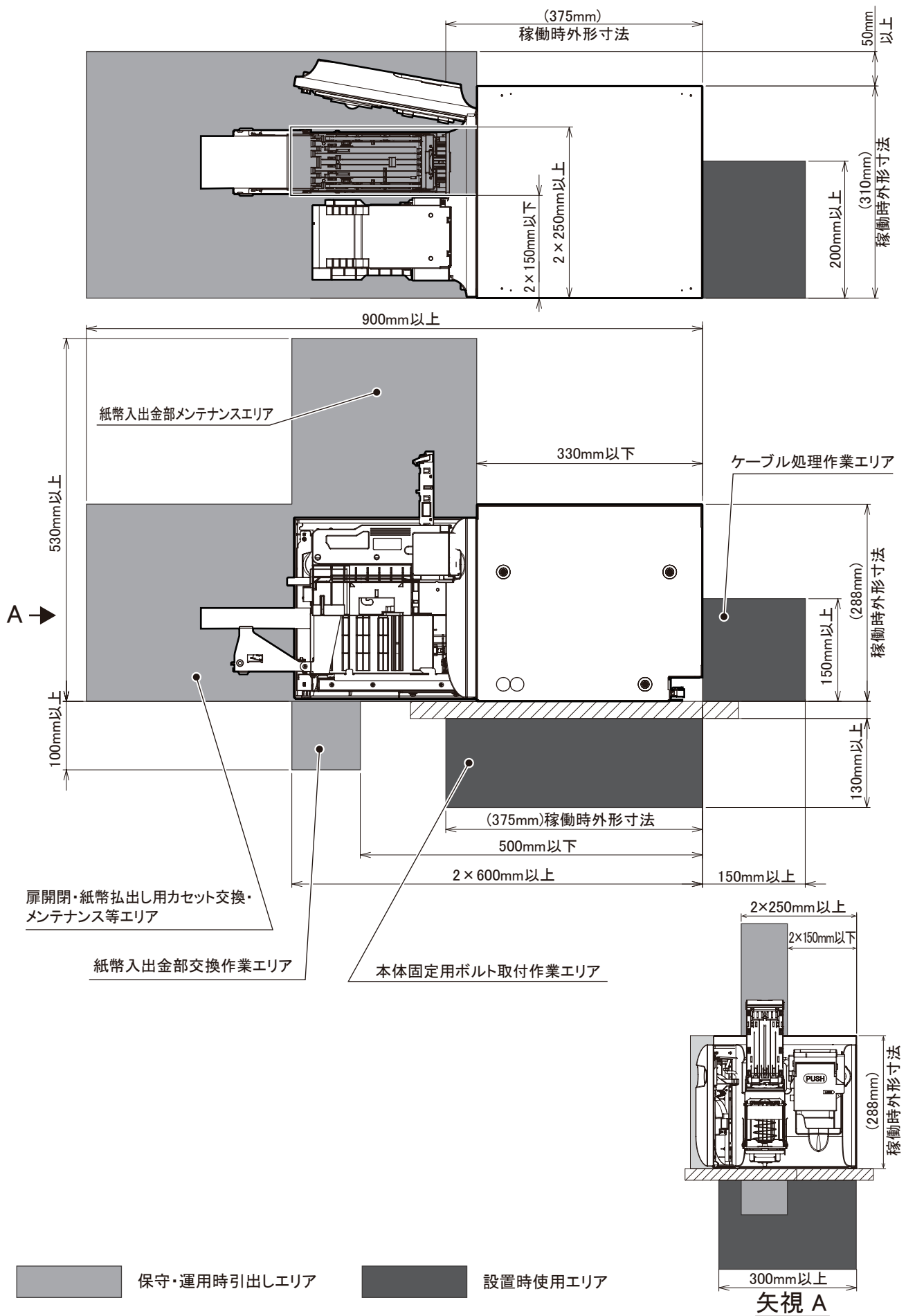
お使いになる前に

● 紙幣入出金部（キューブ型タイプ）



お使いになる前に

● 紙幣入出金部（L型タイプ）

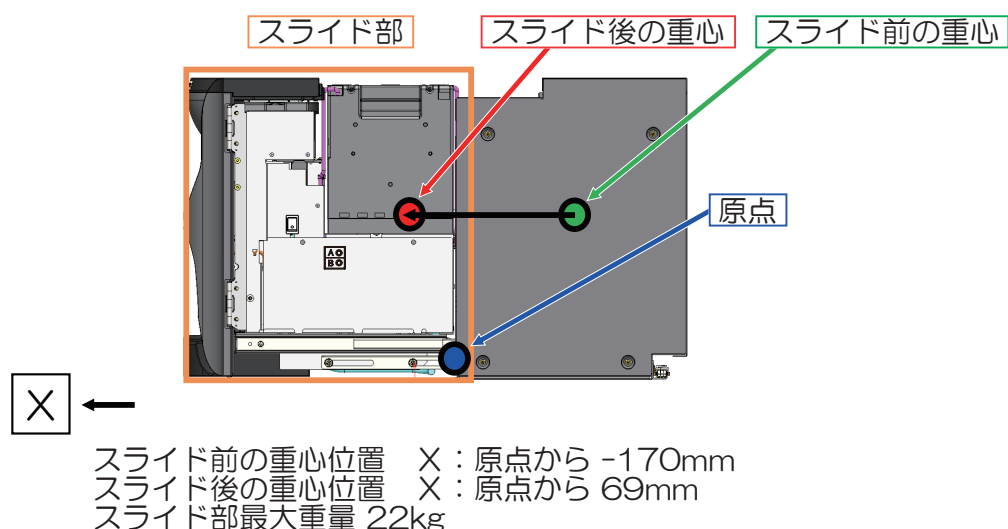


お使いになる前に

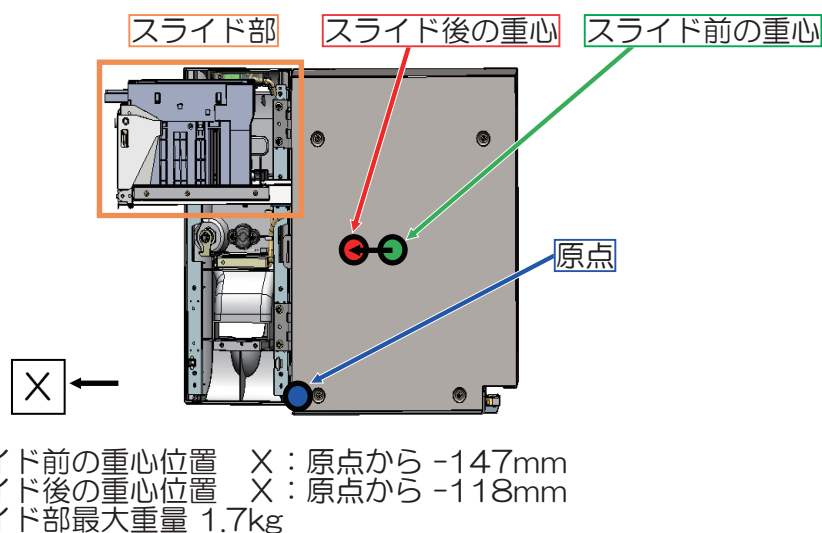
重心位置

Pay Cube 内のスライド部を引き出したときは重心が移動します。
スライド部を引き出したときに設置した台が転倒しないことを確認してください。

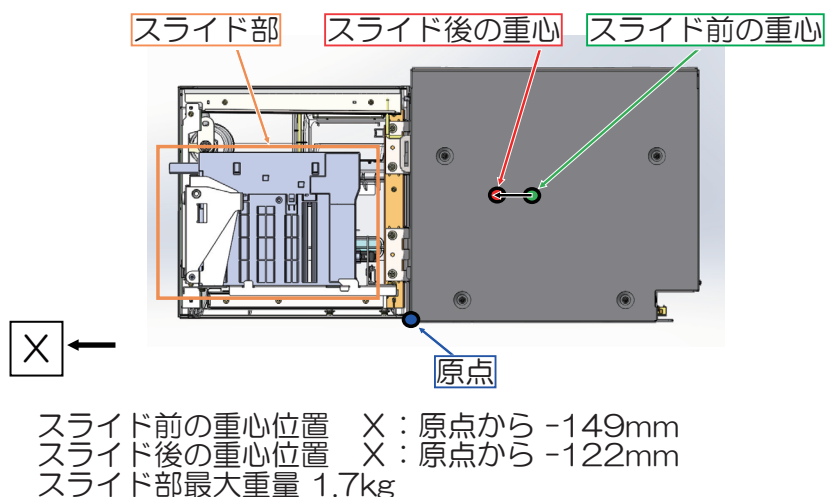
● 硬貨入出金部を引き出したときの重心位置



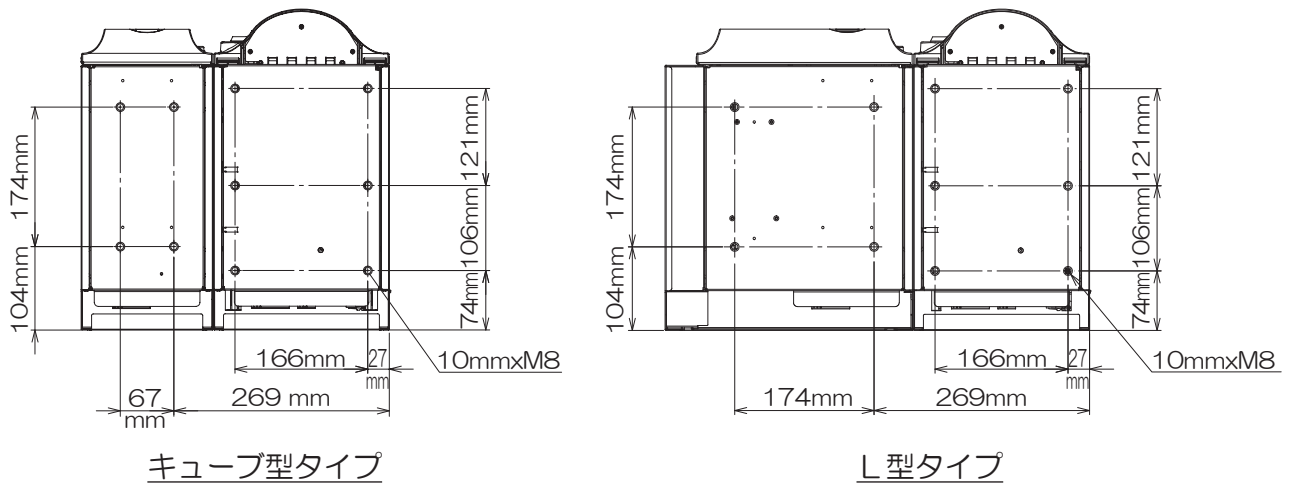
● 紙幣入出金部（キューブ型タイプ）を引き出したときの重心位置



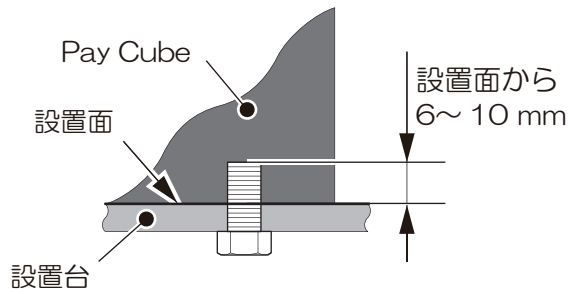
● 紙幣入出金部（L 型タイプ）を引き出したときの重心位置



取り付け穴位置・寸法・条件



取り付け穴寸法図



使用可能 ボルトサイズ		呼び	M8
		長さ	設置面から 6~10 mm
推奨 締め付け トルク	設置台 材質	木材	2.65 N・m
		鋼材	9.78 N・m

使用可能ボルトサイズ

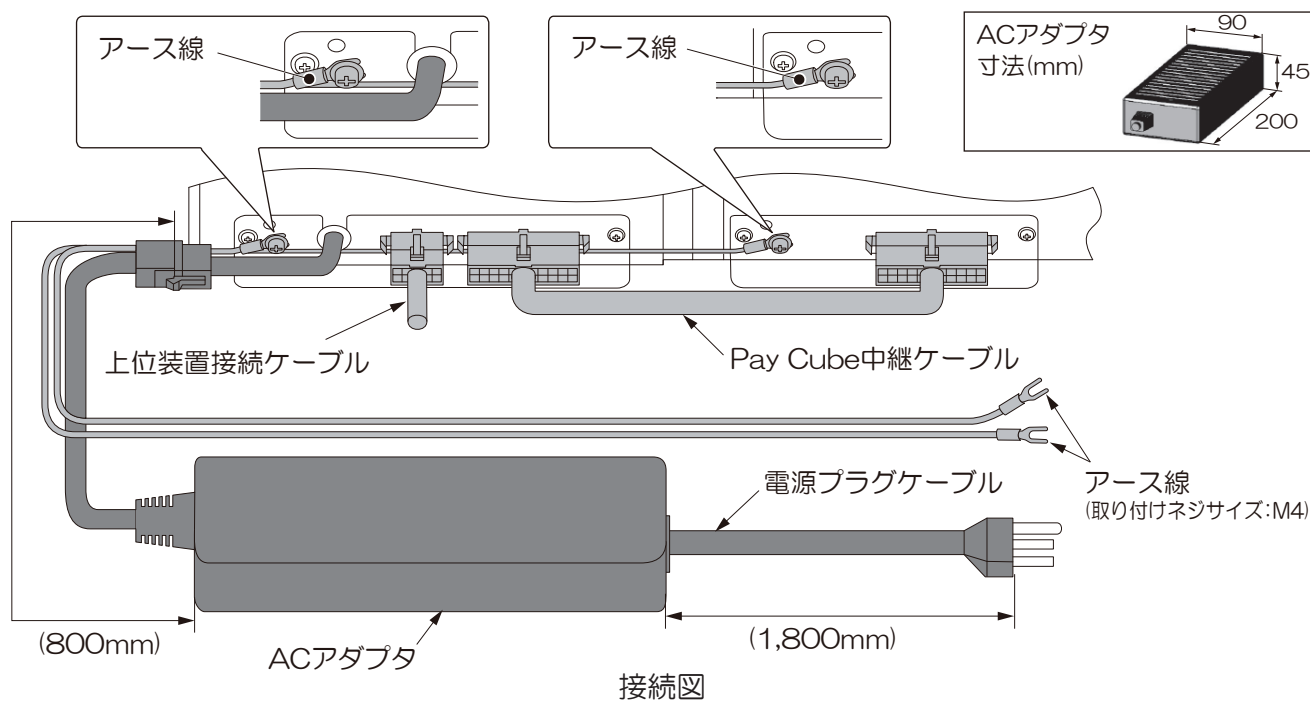
コネクタの接続



注意

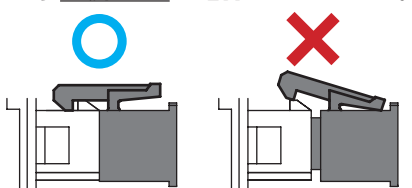
コネクタを接続する際は“カチッ”と音がするまで押し込んでください。

電源プラグケーブルは AC アダプタから抜けないように設置してください。

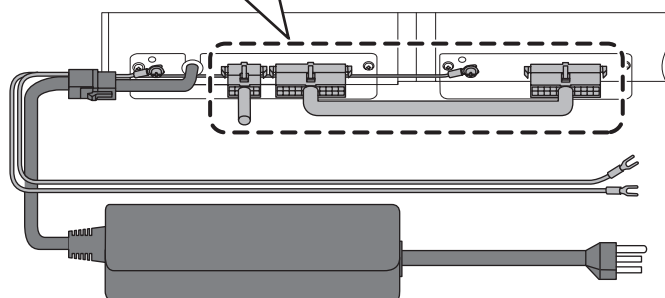
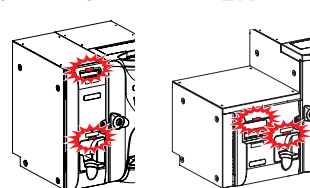


お使いになる前に

コネクタはロックしてることを、必ず目視で確認してください。

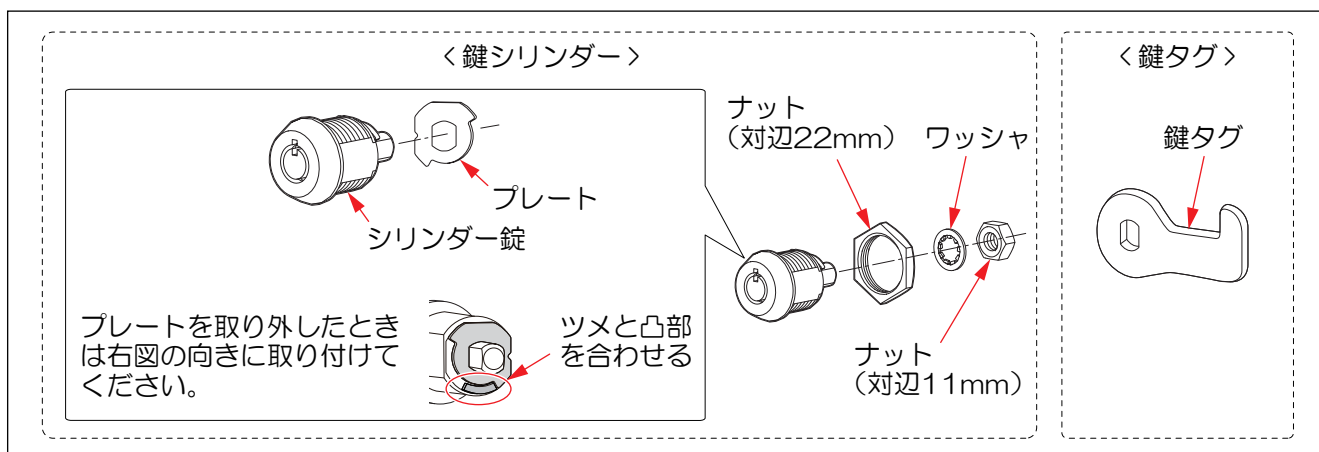


コネクタ接続後、紙幣入出金部の電源がONすることを確認ください。



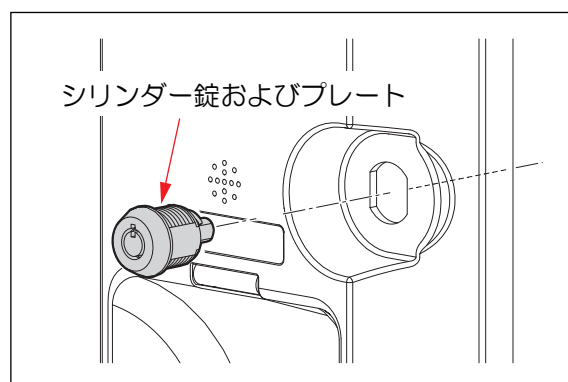
シリンダー錠の取り付け（紙幣入出金部）

＜構成部品＞



＜取付手順＞

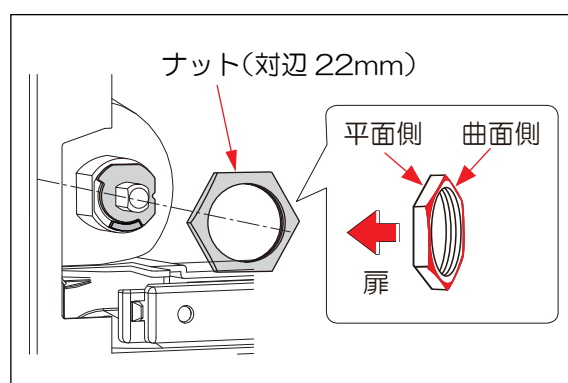
- ① シリンダー錠の溝を上向きにしてプレートと共に取り付けます。



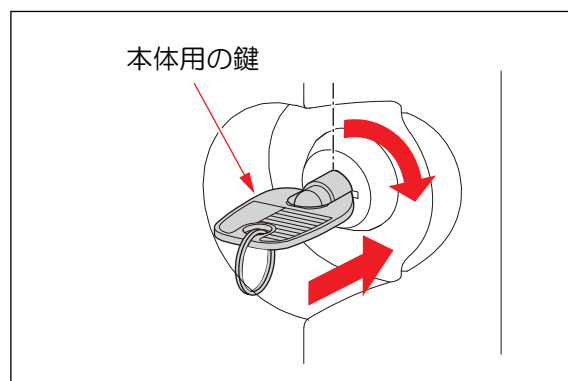
- ② ナット（対辺 22mm）を取り付けます。

推奨締め付けトルク：7 N・m

※ ナットは右図のように取り付けてください。



- ③ 本体用の鍵でシリンダー錠を右へ回します。



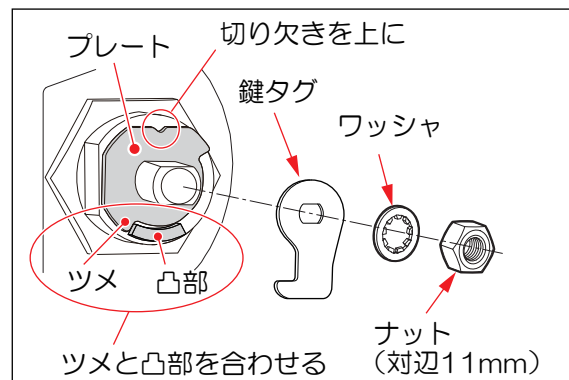
お使いになる前に

- ④ 鍵タグ、ワッシャ、ナット（対辺 11 mm）を取り付けます。

推奨締め付けトルク：3 N・m

※ プレートおよび鍵タグは右図の向きで取り付けてください。

※ 取り付け後、問題なくロックできることを確認してください。



日常の操作

扉の開閉のしかた	32
硬貨入出金部	32
開けるとき:	32
閉めるとき:	33
紙幣入出金部	34
開けるとき:	34
閉めるとき:	35
電源の入 / 切のしかた	36
つり銭補充のしかた	37
硬貨の補充	37
紙幣の補充	45
会計のしかた	51
貨幣の入れかた	51
つり銭の受け取りかた	52
運用のしかた	53
つり銭切れしたとき	53
貨幣収納庫が満杯になったとき	54
営業の終了	55
入金貨幣の回収	55
硬貨入金部（入金硬貨収納庫の場合）:	55
硬貨入金部（硬貨振分収納庫の場合）:	57
紙幣入金部:	60
つり銭の回収	63
硬貨出金部:	63
紙幣出金部:	64
計数モードの使いかた	65
硬貨のみの計数	66
紙幣のみの計数	67
硬貨および紙幣の計数	68
計数エラー表示について	70
計数結果の QR 表示について	71
メンテナンスモード	72
メンテナンスモードへの切り替え	72
バージョンヒョウジ	73
シュウノウ マイスウカクニン	74
ドウサカクニン / セッテイ	74
シュウノウコシュベツ:	75
リヨウカノウキンシュ:	75
オンリョウ:	75
LCD:	76
オンセイパターン:	76
コウカタンドクソウサ:	76
ワーニングカクニン	77
カクシュセンサカクニン	78
ルイケイドウサカクニンヒョウジ	78
ショキカ（コウジョウシュッカジ）	78

扉の開閉のしかた

必ず P.3 の「ご使用前の安全厳守事項」をご確認のうえ、扉の開閉を行ってください。

● 硬貨入出金部

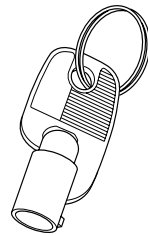
開けるとき：

1

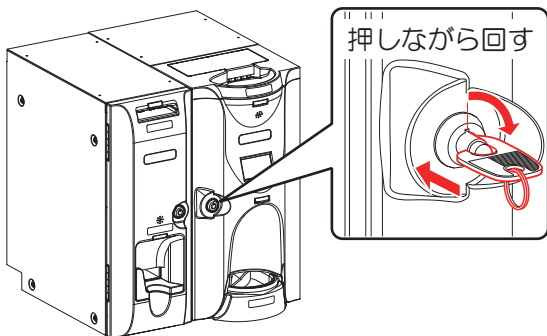
本体用の鍵（大きい鍵）で扉を開けます。

鍵を押しながら右へ回します。

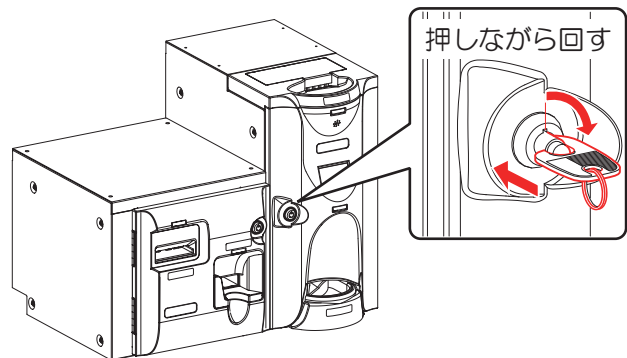
（鍵を 12 時の位置から 3 時の位置へ回します）



本体用の鍵(大きい鍵)



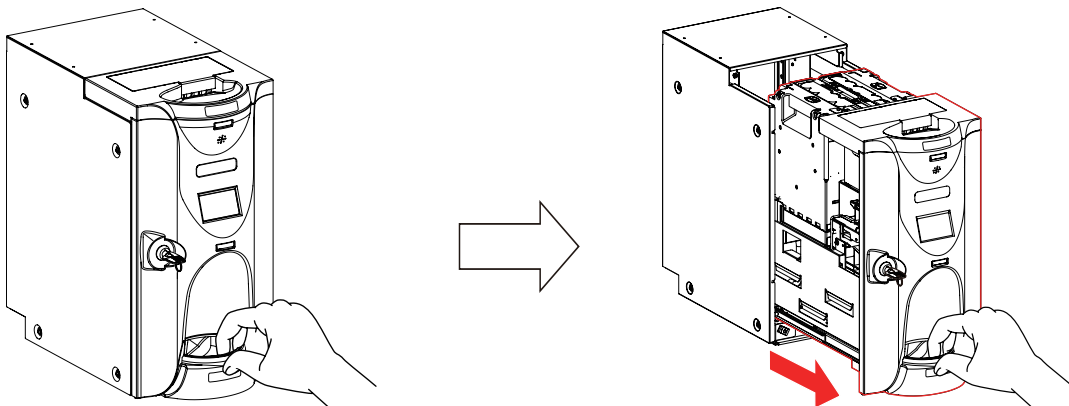
キューブ型タイプ



L型タイプ

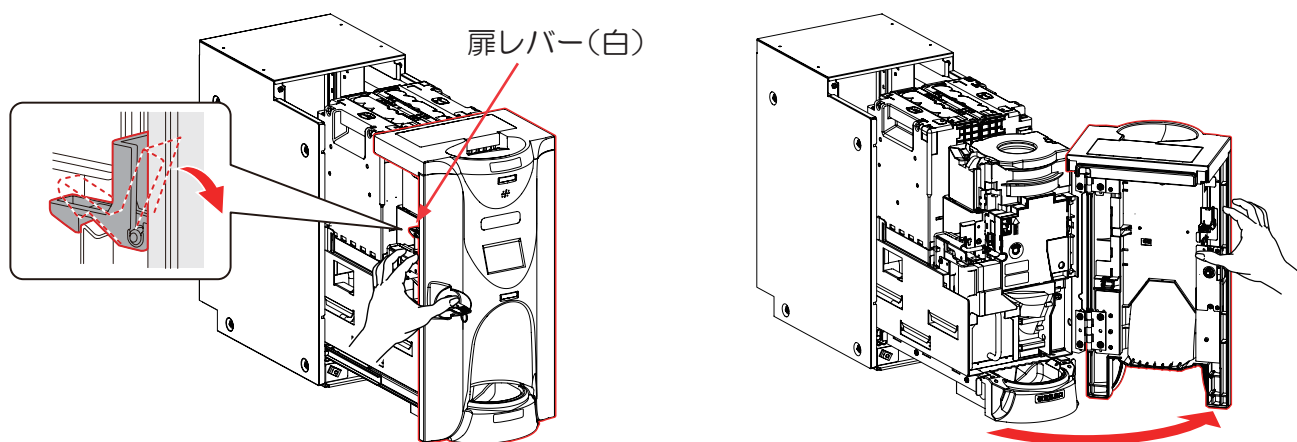
2

硬貨出金口を持ってまっすぐ引き出します。



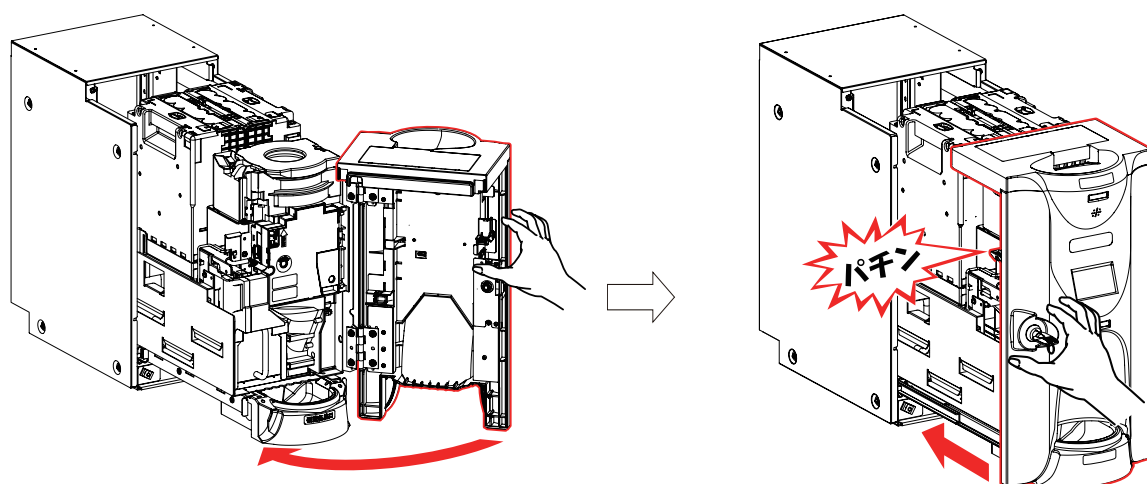
硬貨入出金部を引き出す際は、本体用の鍵を持った状態で引き出さないでください。
必ず硬貨出金口を持って硬貨入出金部を引き出してください。

3 扉レバー（白）を外し、扉を開けます。

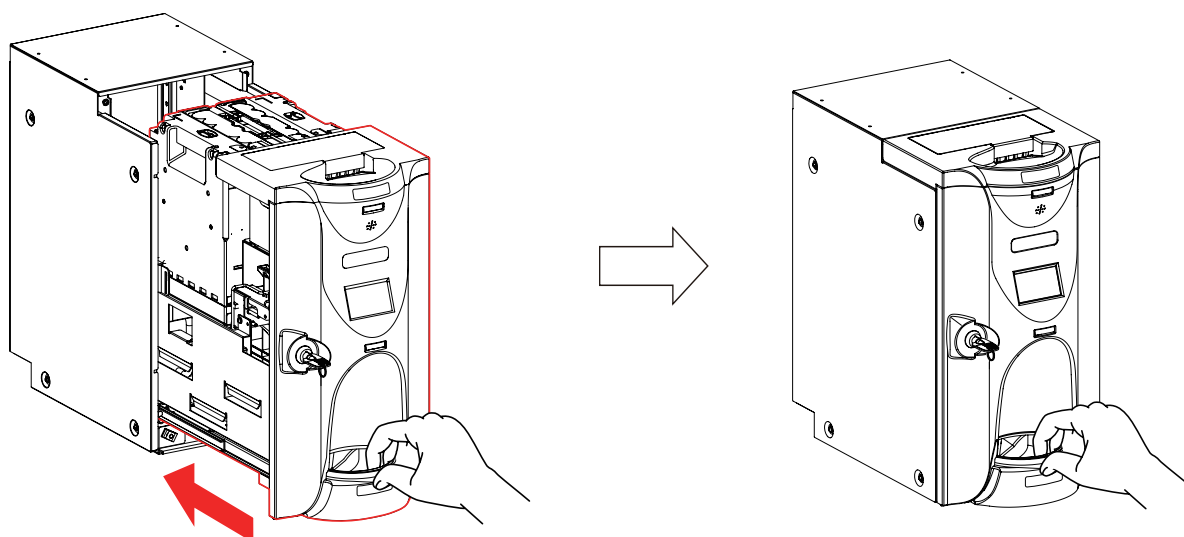


閉めるとき：

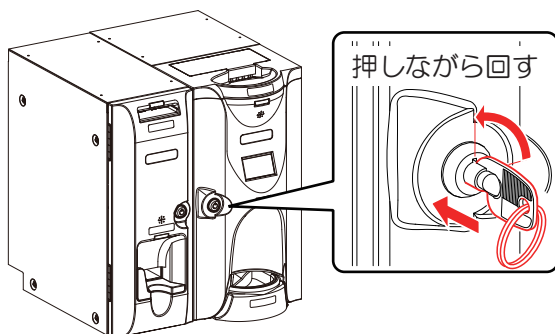
1 扉を“パチン”と音がするまで閉じます。



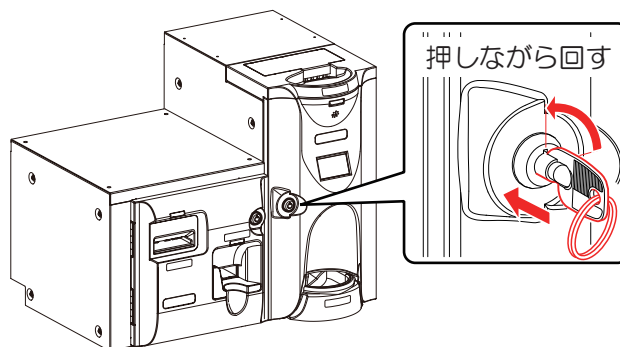
2 硬貨出金口を持って奥へ押し込みます。



- 3** 鍵を押しながら左へ回します。
(鍵を 3 時の位置から 12 時の位置へ回します)



キューブ型タイプ



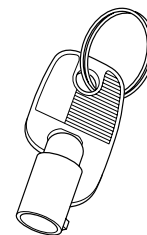
L型タイプ

● 紙幣入出金部

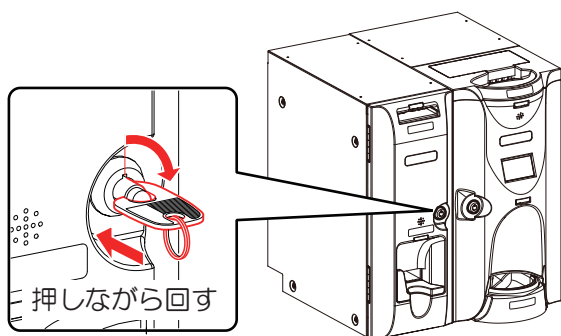
開けるとき：

- 1** 本体用の鍵（大きい鍵）で扉を開けます。

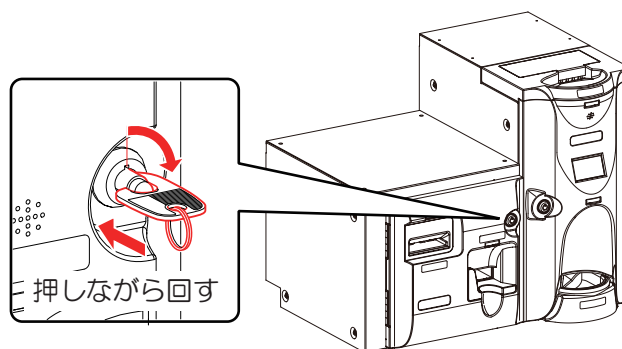
鍵を押しながら右へ回します。
(鍵を 12 時の位置から 3 時の位置へ回します)



本体用の鍵(大きい鍵)



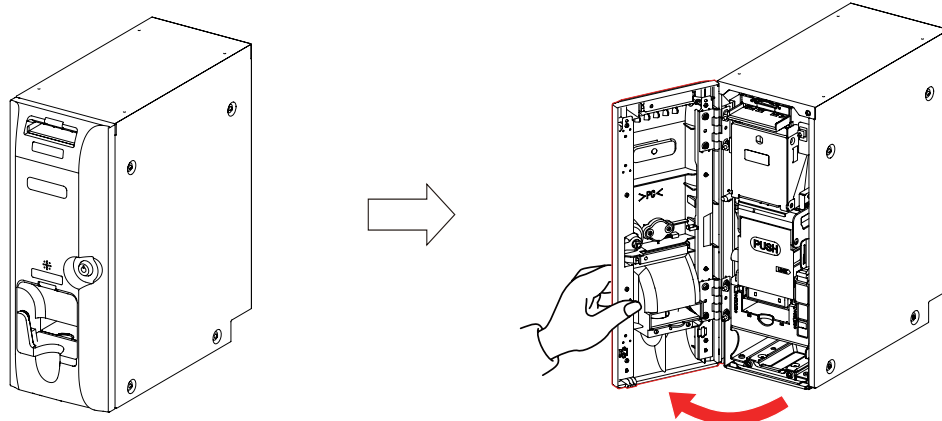
キューブ型タイプ



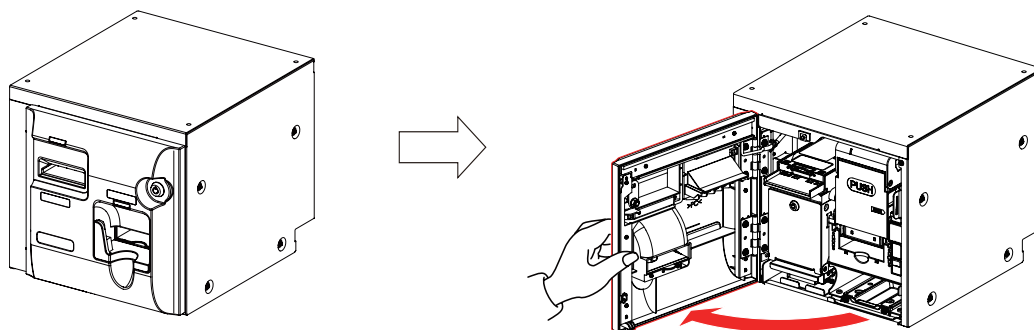
L型タイプ

2 扉を開けます。

キューブ型タイプ

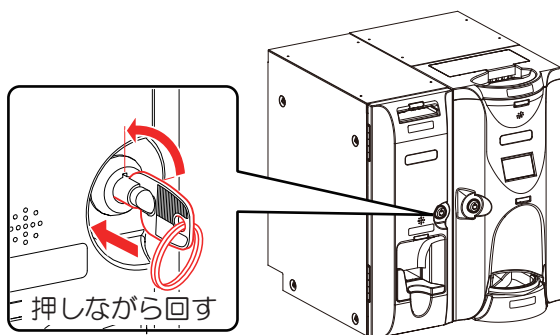


L型タイプ

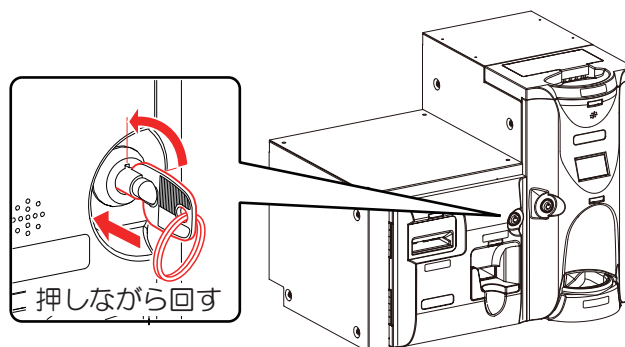


閉めるとき：

- 1 扉を閉めます。
鍵を押しながら左に回します。
(鍵を3時の位置から12時の位置へ回します。)



キューブ型タイプ



L型タイプ

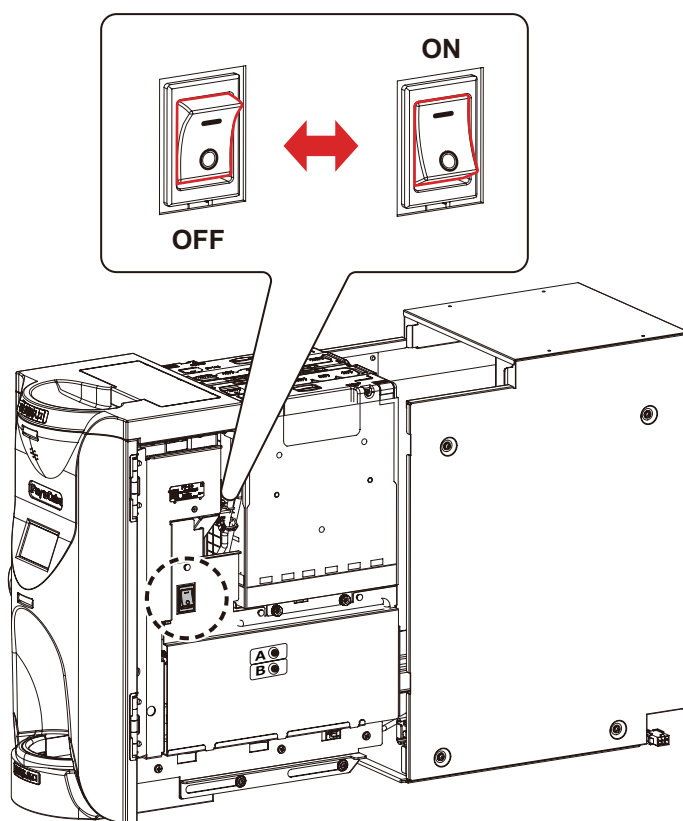
電源の入 / 切のしかた



電源スイッチ ON 後、作動音がしている約5秒間は装置内部に触れない / カセットの脱着をしないでください。

1 硬貨入出金部の扉を開けます（P.32 の「扉の開閉のしかた」参照）。

2 電源スイッチを ON または OFF にします。



3 硬貨入出金部の扉を閉めます（P.32 の「扉の開閉のしかた」参照）。

つり銭補充のしかた

必ず P.3 の「ご使用前の安全厳守事項」を確認のうえ、つり銭の補充を行ってください。

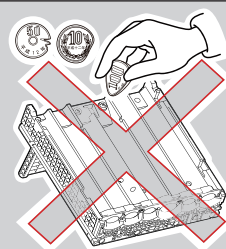
● 硬貨の補充

注意

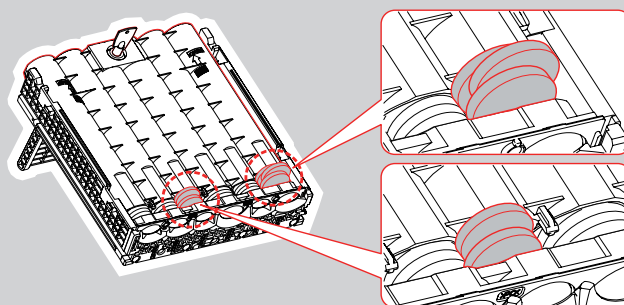
カセットのチューブはそれぞれ補充する硬貨の金種が決まっています。正しい金種の硬貨を補充してください。

最大補充枚数以上の硬貨を補充しないでください。

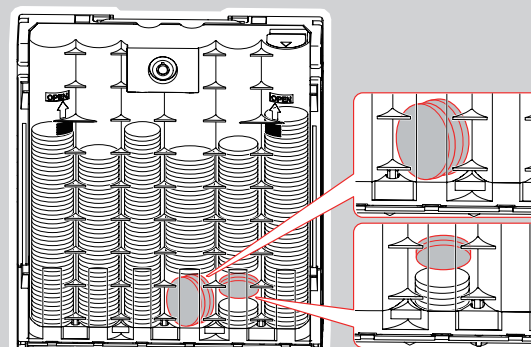
変形硬貨は使用しないでください



硬貨は揃えて収納してください。硬貨がはみ出しているとカセットカバーをスライドすることができません。

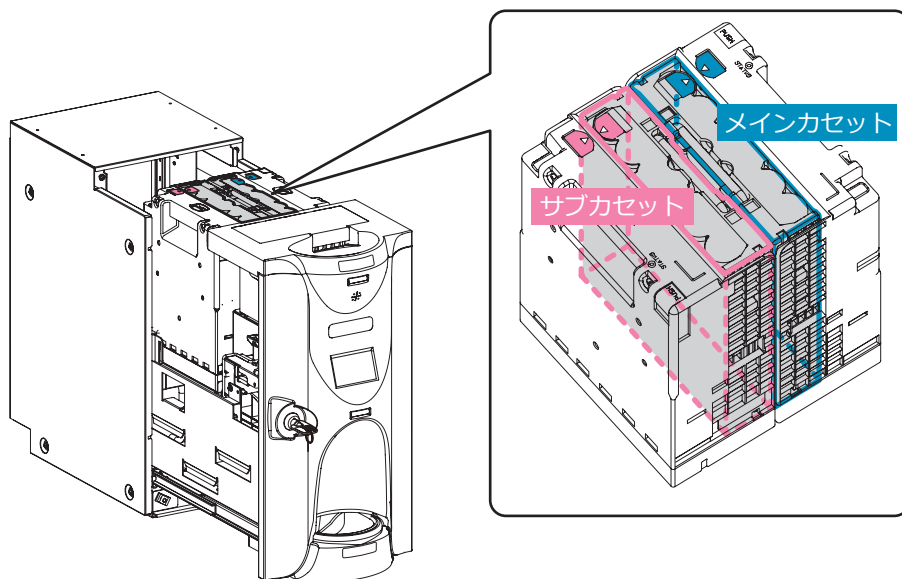


硬貨が鉛直状態または傾いた状態で収納しないでください。払出し詰まりの原因になります。



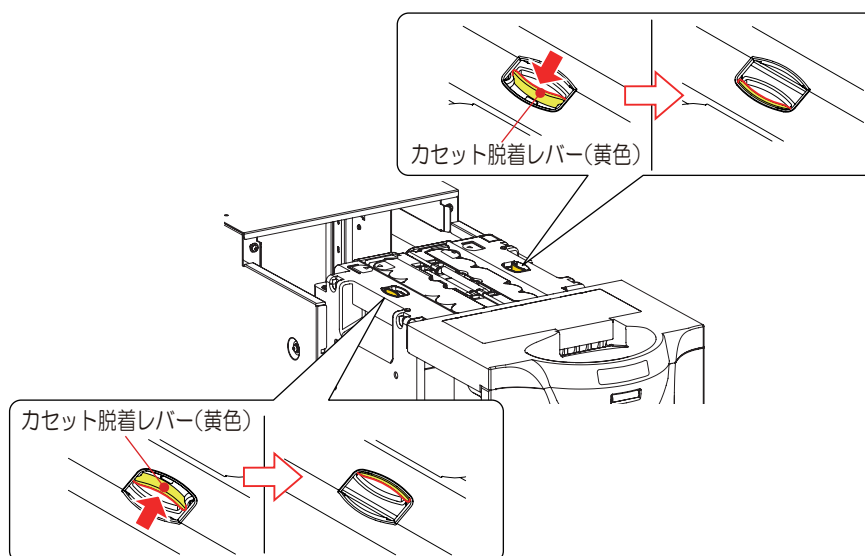
1

硬貨入出金部の扉を開けます（P.32 の「扉の開閉のしかた」参照）。
硬貨払出し用メインカセットまたはサブカセットを取り出します。



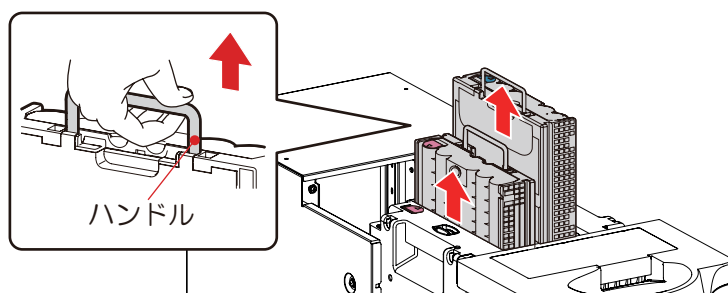
2

カセット脱着レバー(黄色)をスライドします。

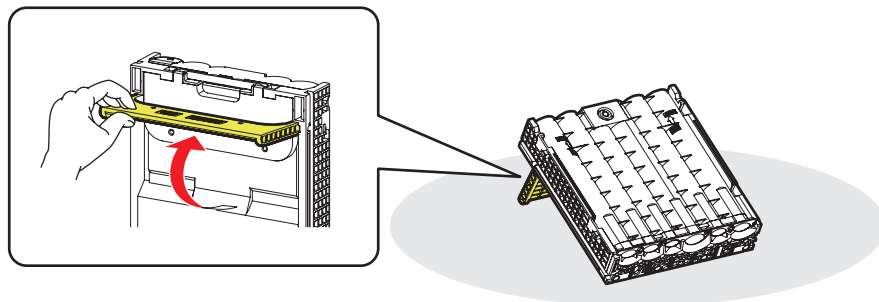


3

ハンドルを持って硬貨払出し用カセットを引き抜きます。



4 スタンドを立て、硬貨払出し用カセットを台の上に置きます。

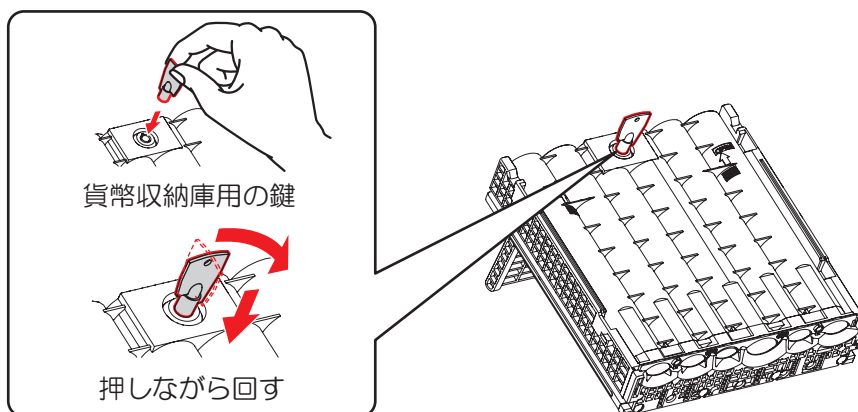


5 貨幣収納庫用の鍵（小さい鍵）でカセットカバーを開けます。

鍵を差し込み、押しながら右へ回します。
（鍵を 12 時の位置から 3 時の位置へ回します）



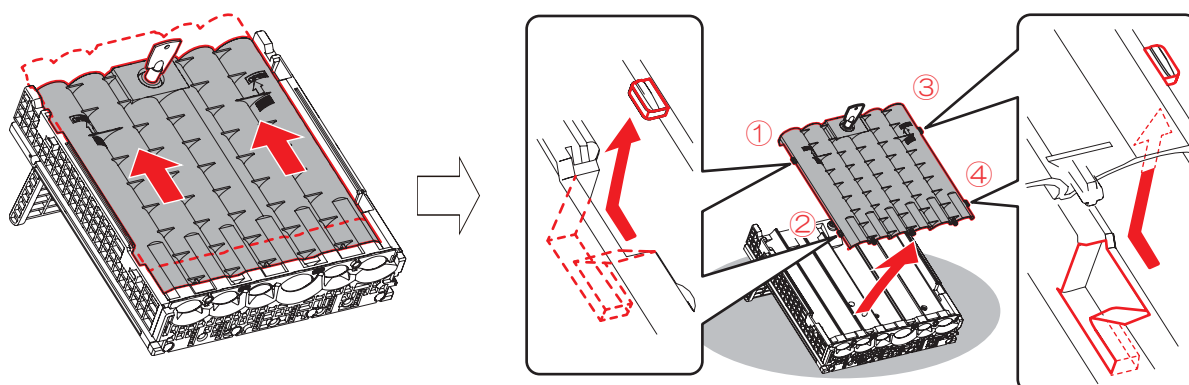
貨幣収納庫用の鍵（小さい鍵）



貨幣収納庫用の鍵

押しながら回す

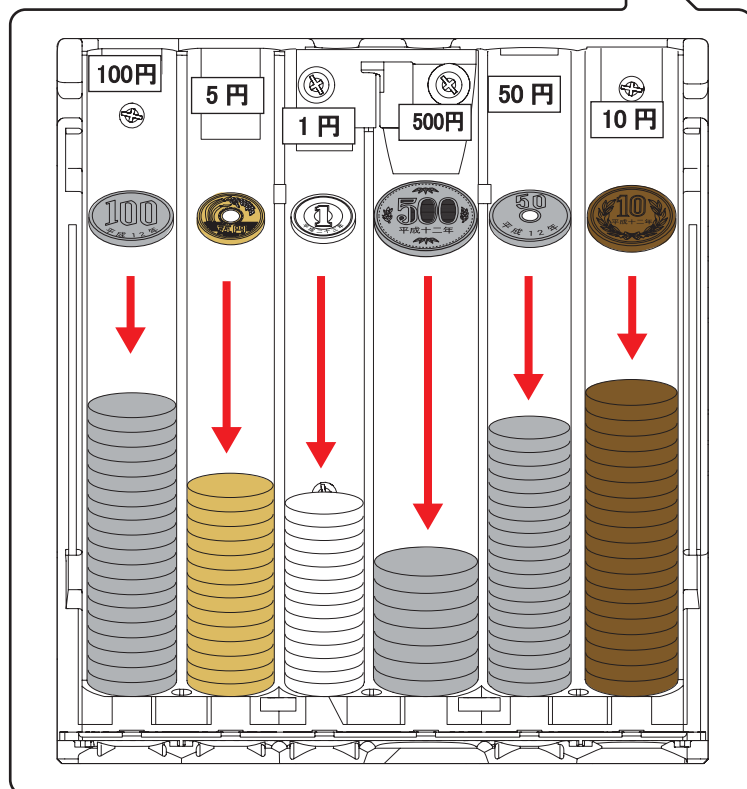
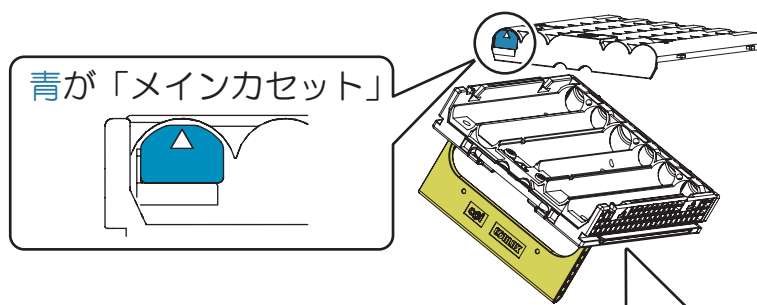
6 カセットカバーを上方向にスライドし、ツメ（4箇所）を外して取り外します。



7

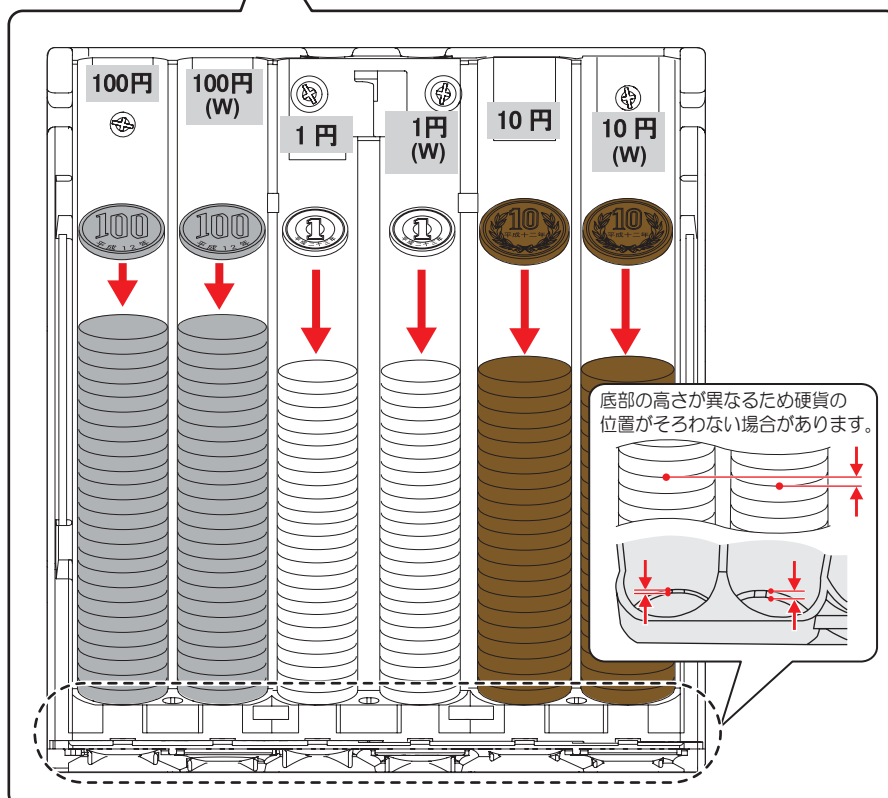
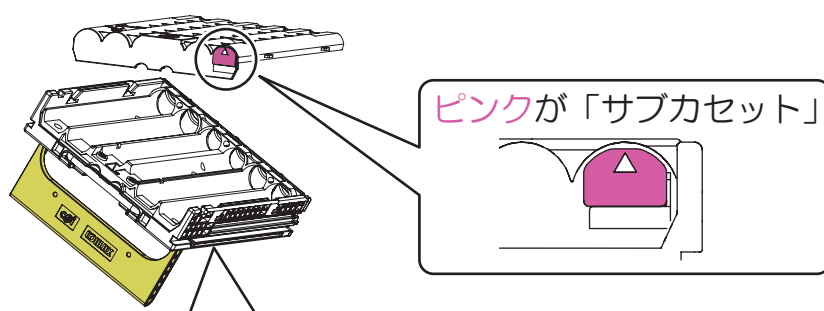
硬貨を補充します。下図の位置に各硬貨を入れてください。

● 硬貨払出し用メインカセットへの補充



「メインカセット」 硬貨最大収納枚数	
1 円	100 枚
5 円	100 枚
10 円	100 枚
50 円	100 枚
100 円	100 枚
500 円	80 枚

● 硬貨払出し用サブカセットへの補充



「サブカセット」 硬貨最大収納枚数	
1 円	100 枚
1 円 (W)	100 枚
10 円	100 枚
10 円 (W)	100 枚
100 円	100 枚
100 円 (W)	100 枚



硬貨は硬貨払出し用メインカセットおよびサブカセットに均等に補充してください。片方のカセットだけに硬貨を補充した状態では払出しスピードが遅くなり、運用効率が下がる場合があります。

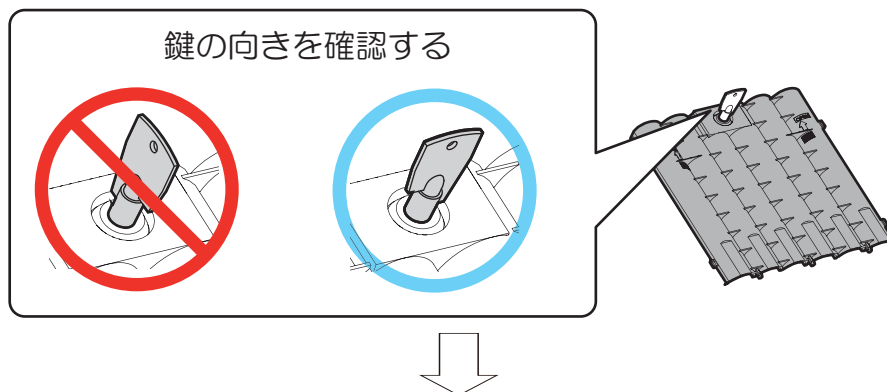
硬貨を硬貨払出し用メインカセットにのみ補充した状態でも運用することができまが、払出しスピードが遅くなり、運用効率が下がる場合があります。

一度補充した硬貨の取り出しや他チューブへの入れ替えはしないでください。正常に払い出しできない場合があります。

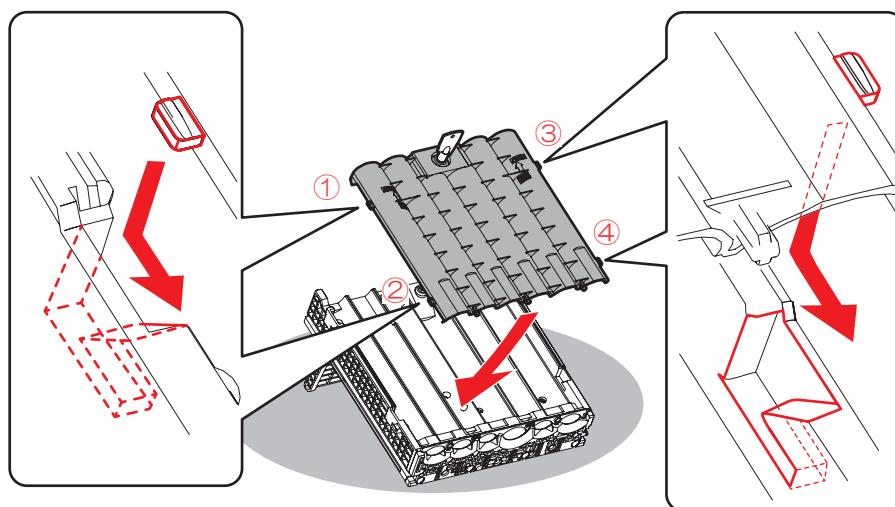
硬貨払出し用サブカセットの「W」マークのあるチューブは硬貨を2枚払出すチューブです。このチューブにつり銭を多めに補充すると最小の回数で払出しが完了するため、最適な払出しスピードで運用することができます。

初期設定時は1円および5円硬貨を使用しない場合でも各硬貨20枚以上の補充が必要です。つり銭の管理方法をカスタマイズすることで不使用硬貨の補充を省くことができます。詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

8 鍵の向きを確認してカセットカバーを取り付けます。



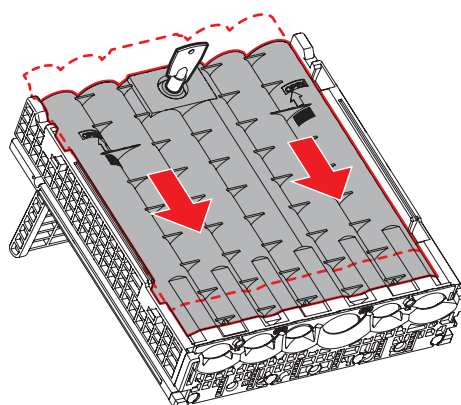
ツメ（4箇所）を合わせて取り付けます。



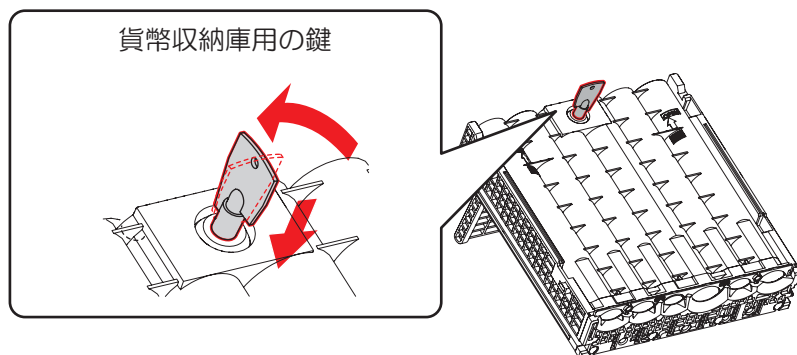
カセットカバーは鍵が開錠位置でのみ装着することができます。

メインカセットのカバーをサブカセットに装着することはできません。反対にサブカセットのカバーをメインカセットに装着することはできませんので注意してください。

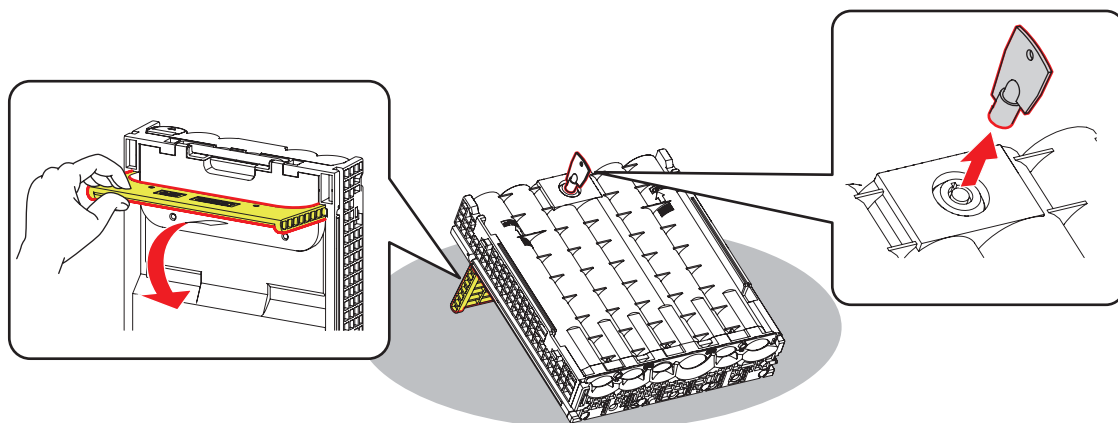
9 カセットカバーを下方向にスライドします。



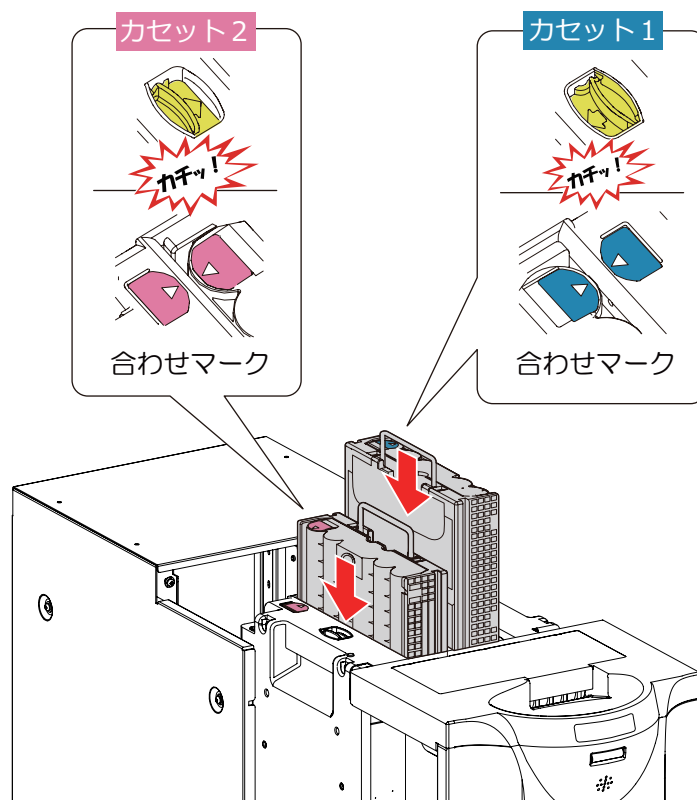
- 10** 鍵を押しながら左に回します。
(鍵を3時から12時の位置に回します)



- 11** 鍵を取り外し、スタンドを戻します。



- 12** 本体と硬貨払出し用カセットの合わせマークを合わせ、“カチッ”と音がするまで本体に押し込みます。



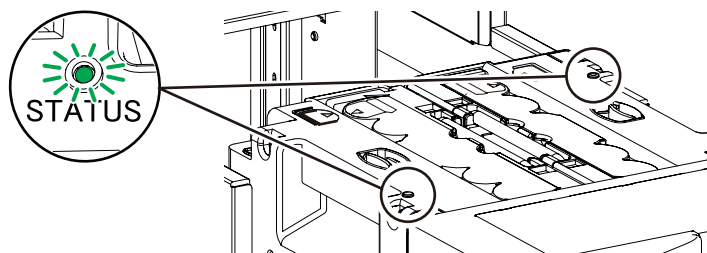
貨幣収納庫用の鍵（小さい鍵）を硬貨払出し用カセットに取り付けた状態で本体に取り付けしないでください。

本体と硬貨払出し用カセットの合わせマークが同じであることを確認して取り付けてください。

「カチッ」と音がするまで硬貨払出し用カセットを押し込んでください。

- 13** 硬貨出金部状態ランプが緑色に点灯していることを確認します。

硬貨出金部状態ランプ



- 14** 硬貨入出金部の扉を閉めます（P.32 の「扉の開閉のしかた」参照）。

● 紙幣の補充

注意

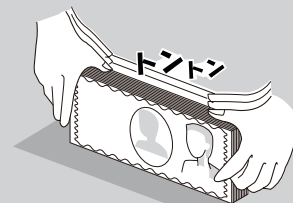
千円紙幣（平成 16 年 11 月 1 日発行開始の日本銀行券）以外は収納しないでください。

官封紙幣（新札）はよくさばいてください。



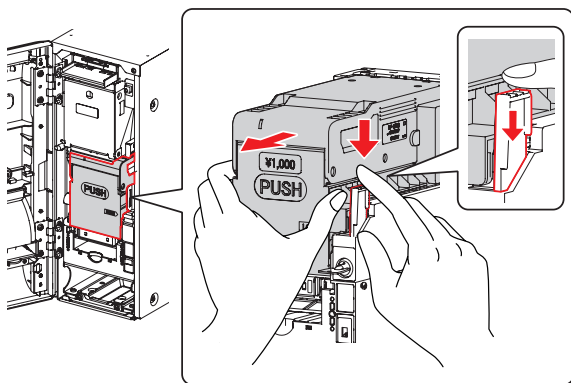
紙幣を収納する前に紙幣のタテとヨコを揃えてください。

紙幣のはみ出しや巻き込みをしないように収納してください。

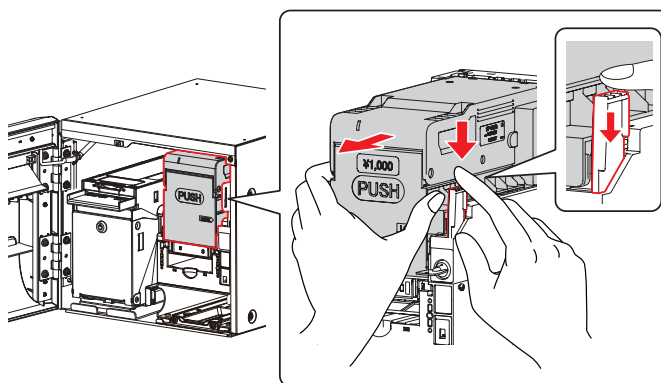


- 1 紙幣出金部の扉を開けます（P.32 の「扉の開閉のしかた」参照）。

- 2 紙幣払出し用カセットを取り外します。
白いレバーを押しながら手前に引いて取り出します。



キューブ型タイプ



L型タイプ

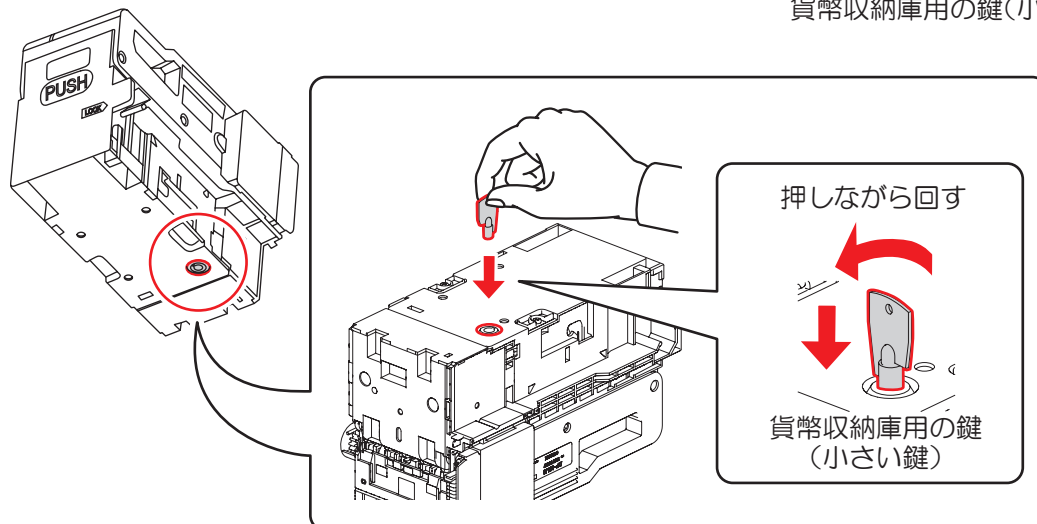
3

貨幣収納庫用の鍵（小さい鍵）で紙幣収納部を開けます。

紙幣払出し用カセット下面の鍵穴に鍵を差し込み、押しながら左へ回します。

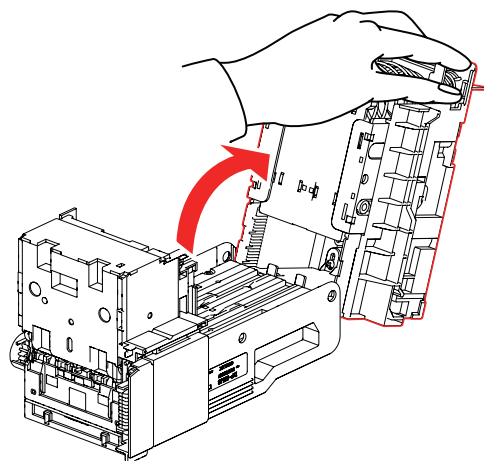


貨幣収納庫用の鍵（小さい鍵）

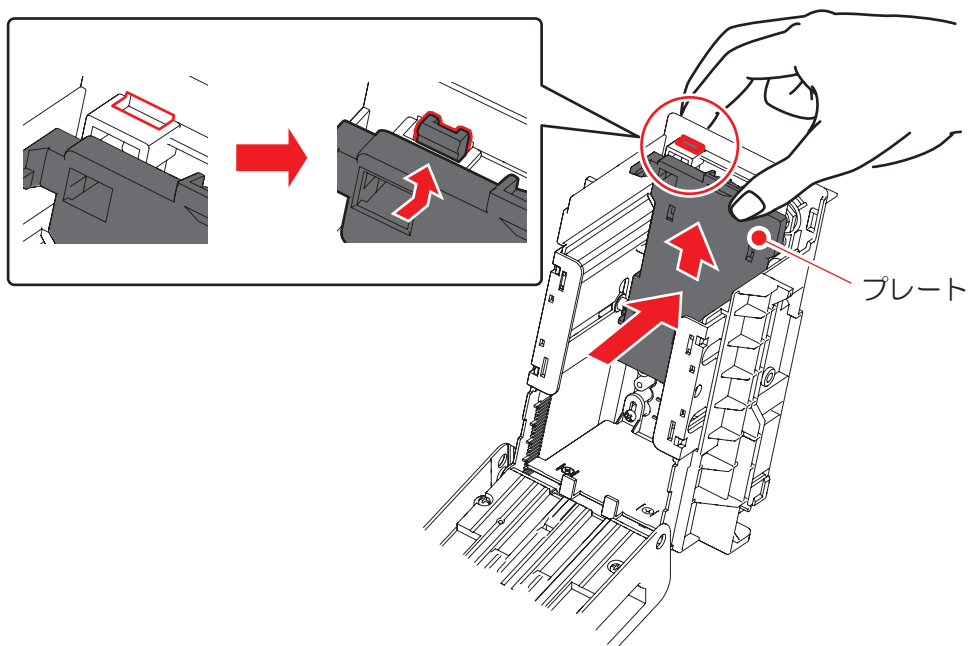


4

紙幣収納部を開きます。

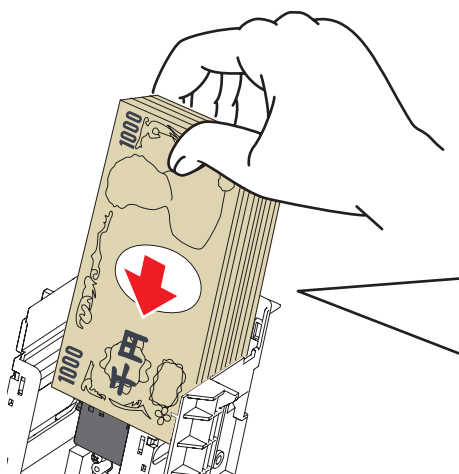


5 プレートを押下げ、ロック穴で固定します。

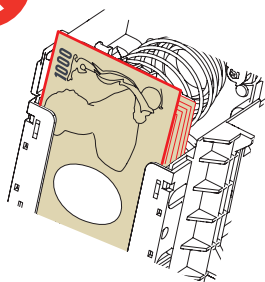


プレートで指を挟まないように注意してください。

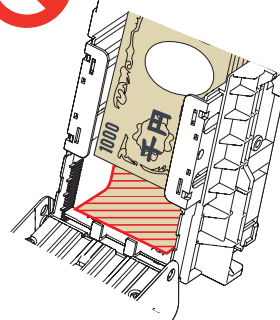
6 千円札を補充します。



はみ出し禁止



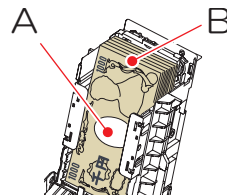
巻き込み禁止



紙幣は一括にスムーズに補充してください。
小分けで補充すると、紙幣がはみ出したり、巻き込まれたりするため、紙幣詰まりが発生しやすくなります。
やむをえず小分けに補充する場合は、十分に注意して行ってください。



紙幣出金時は A 面の紙幣を最初に払い出します。出金口の紙幣の向きは A 面が下向きになり、B 側が先頭になります。出金紙幣の向きを合わせる際の参考にしてください。



千円紙幣(平成 16 年 11 月 1 日発行開始の日本銀行券)以外は収納しないでください。



10000円

10000円札は収納できません。



5000円

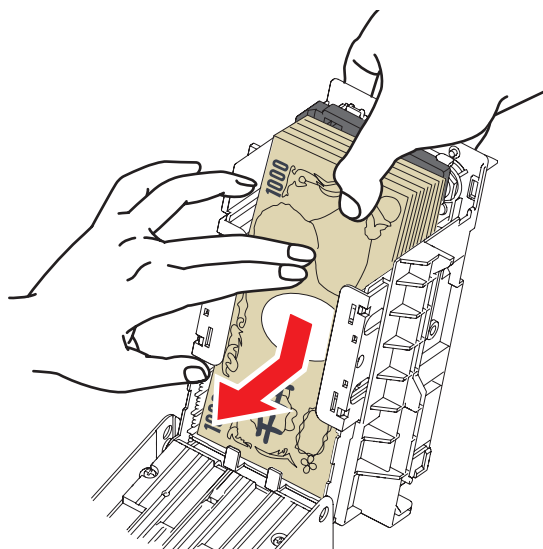
5000円札は収納できません。



紙幣は束厚60mm(約500枚)の紙幣が補充可能ですが、紙幣のしわやカール、折れ等の状態によっては記載の枚数まで補充ができない場合があります。その際は紙幣がスムーズに補充できる束厚まで枚数を減らしてください。スムーズな補充を行いつつ、紙幣の枚数を一定に管理したい場合は約400枚での補充を推奨します。

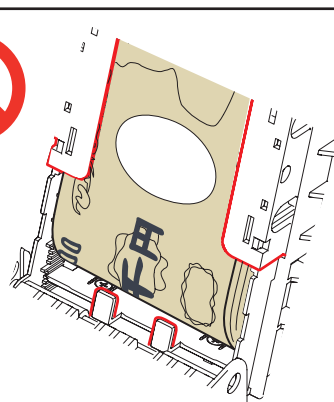
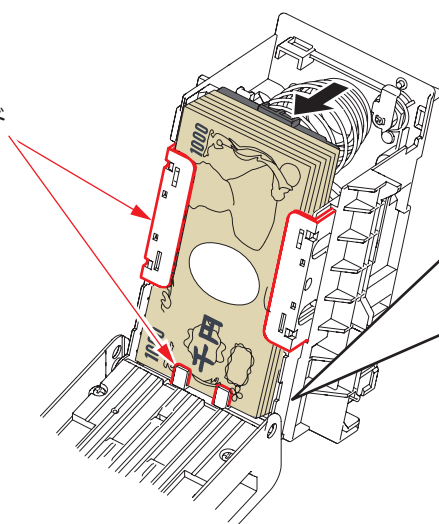
紙幣払出しカセットを本体から取り外したとき、紙幣先端がはみ出している場合があります。紙幣がはみ出していたときは、紙幣先端を揃えてから本体へセットしてください。

7 プレートを手でゆっくり戻します。



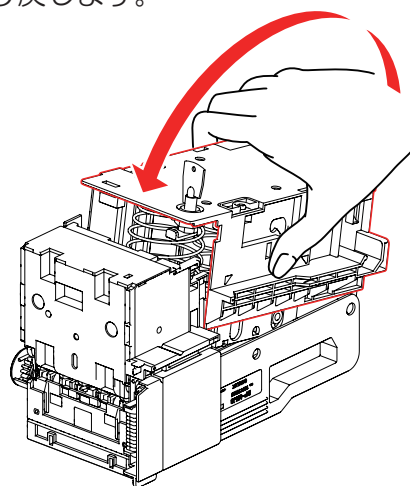
紙幣がガイドの内側に収納されていることを確認してください。

ガイド

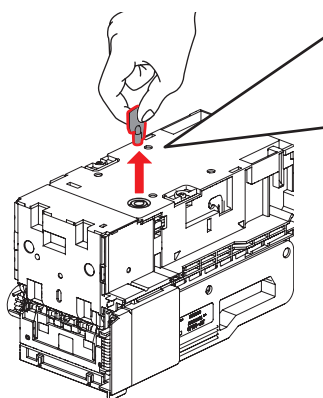


紙幣がカールした場合は
まっすぐにしてください。

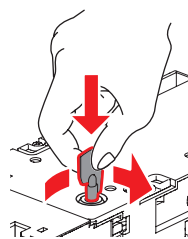
8 紙幣収納部を手でゆっくり戻します。



9 鍵を押しながら右に回して取り外します。



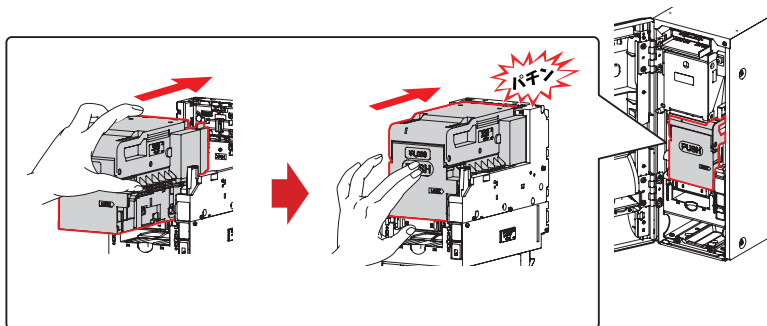
押しながら回す



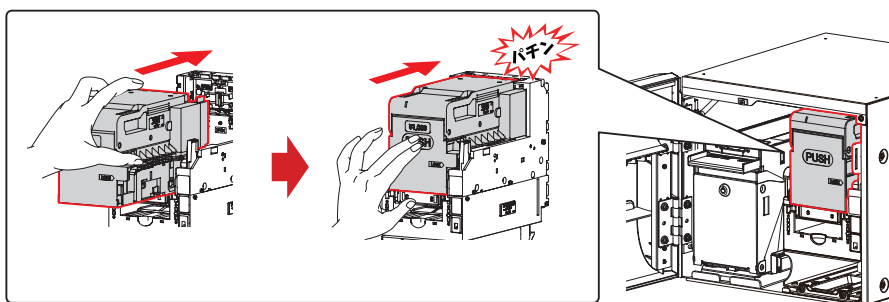
貨幣収納庫用の鍵
(小さい鍵)

- 10** 1,000 円シールが貼ってある面を前方（扉側）にして紙幣払出し用カセットを本体に取り付け、「パチン」と音がするまで押し込みます。

キューブ型タイプ



L型タイプ

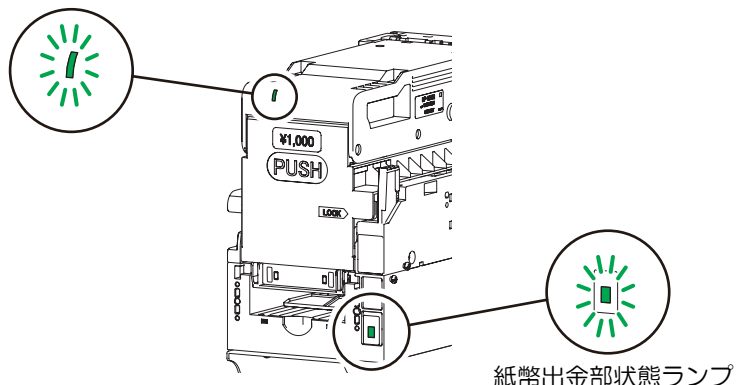


貨幣収納庫用の鍵（小さい鍵）を紙幣払出し用カセットに取り付けた状態で本体に取り付けしないでください。

「パチン」と音がするまで紙幣払出し用カセットを押し込んでください。

- 11** 紙幣払出しカセット用状態ランプおよび紙幣出金部状態ランプが緑色に点灯していることを確認します。

紙幣払出しカセット用状態ランプ



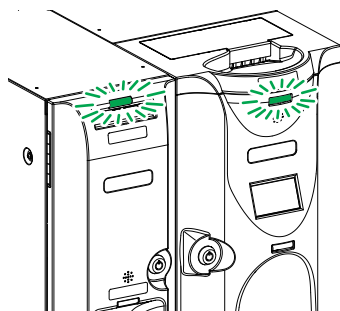
- 12** 紙幣出金部の扉を閉めます（P.32 の「扉の開閉のしかた」参照）。

会計のしかた

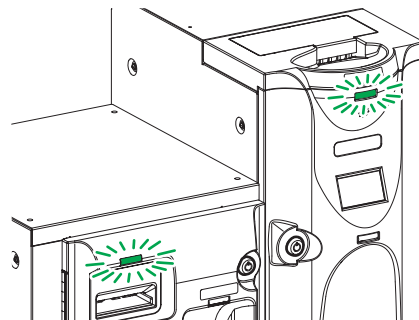
必ず P.3 の「ご使用前の安全厳守事項」を確認のうえ、会計を行ってください。

● 貨幣の入れかた

- 1** 受入可能になると、紙幣投入口および硬貨投入口の LED ランプが点灯します。

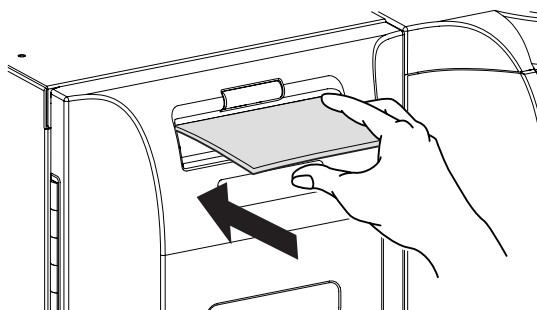


キューブ型タイプ

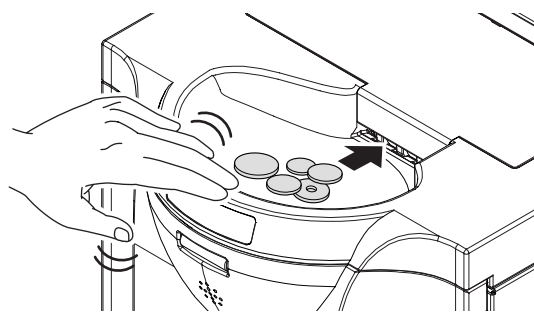


L型タイプ

- 2** 紙幣または硬貨を投入します。
紙幣または硬貨を投入すると LED ランプが点灯から点滅に切り替わります。



紙幣は一枚ずつ投入してください。



硬貨は投入口へ押し入れてください。



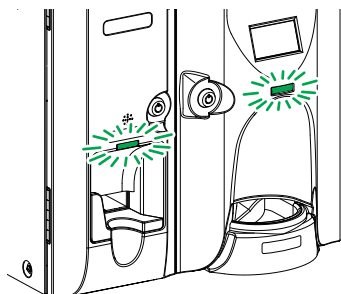
2 枚以上の紙幣を投入した場合および受入不可の紙幣は自動返却します。

受入不可の硬貨は出金口へ排出します。

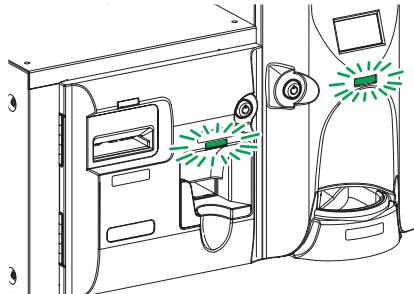
外国硬貨や異物などは機器内部に残る場合があります。

● つり銭の受け取りかた

- 1** つり銭の出金が可能になると、紙幣出金口および硬貨出金口のLED ランプが点灯します。つり銭の出金が始まるとLED ランプが点灯から点滅に切り替わります。



キューブ型タイプ



L型タイプ

- 2** 出金口からつり銭を受け取ります。



つり銭の取り忘れを防止するため、出金した紙幣または硬貨を一定時間放置するとブザーが鳴ります（約 7 秒間放置すると鳴り始め、貨幣を受け取るまで鳴り続けます。）。

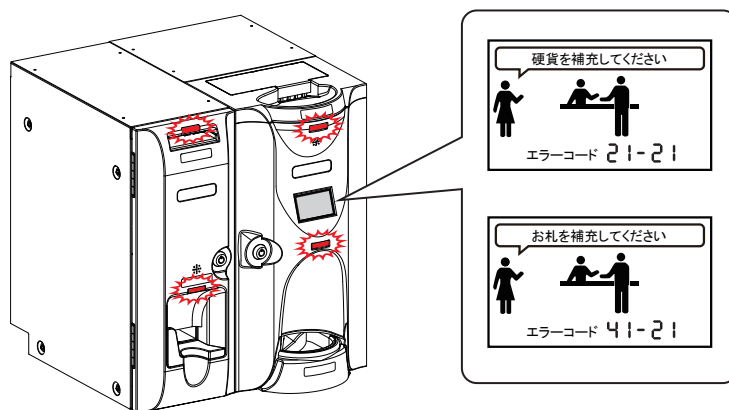
500 円および 50 円硬貨がなくなった場合は 100 円および 10 円などの低額硬貨で代替出金を行う場合があります。

運用のしかた

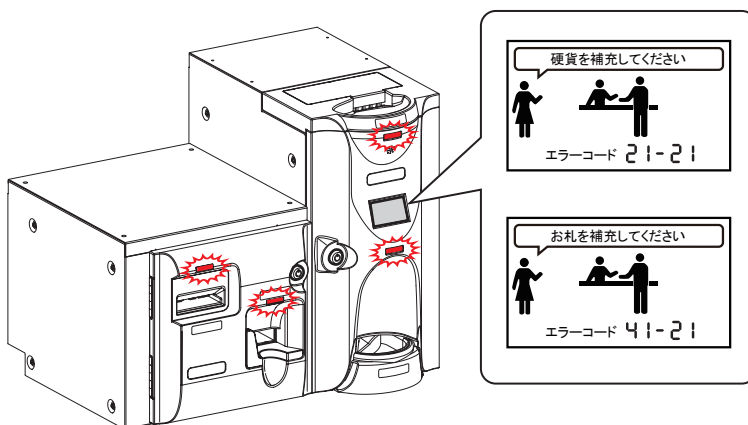
必ず P.3 の「ご使用前の安全厳守事項」を確認のうえ、運用してください。

● つり銭切れしたとき

- 1** つり銭が切れた場合は、LED ランプ、ブザー、表示部でお知らせします。



キューブ型タイプ



L型タイプ

- 2** つり銭を補充します（P.37 の「つり銭補充のしかた」参照）。



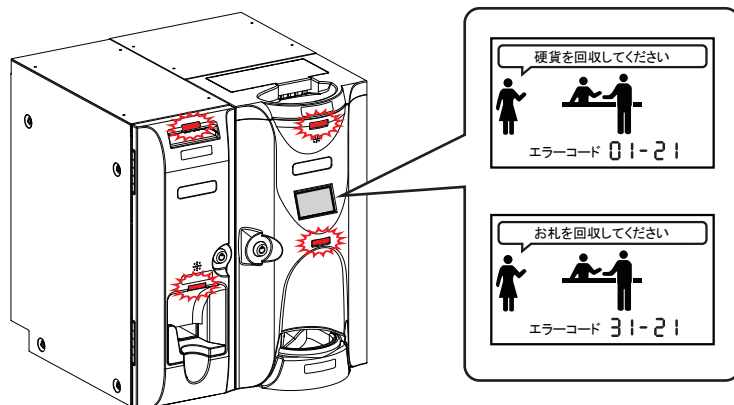
つり銭残量の確認は貨幣収納カセットを取り出し、目視で確認してください。

つり銭切れお知らせ時、貨幣収納カセット内に貨幣が数枚残っている場合がありますが異常ではありません。

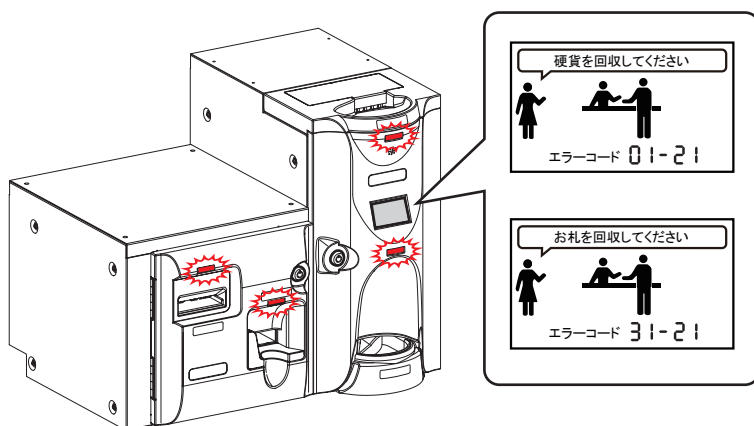
つり銭残量を外部端末で確認するなど、つり銭の管理方法をお好みに応じてカスタマイズすることができます。詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

● 貨幣収納庫が満杯になったとき

- 1** 貨幣収納庫が満杯になった場合は、LED ランプ、ブザー、表示部でお知らせします。



キューブ型タイプ



L型タイプ

- 2** 入金貨幣を回収します（P.55 の「営業の終了」参照）。



収納庫内の貨幣量の確認は目視で行ってください。

計数モードを使用して貨幣の枚数を計数することができます。
（P.65 の「計数モードの使いかた」参照）

収納庫内貨幣量を外部端末で確認するなど、入金貨幣の管理方法をお好みに応じてカスタマイズすることができます。詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

営業の終了

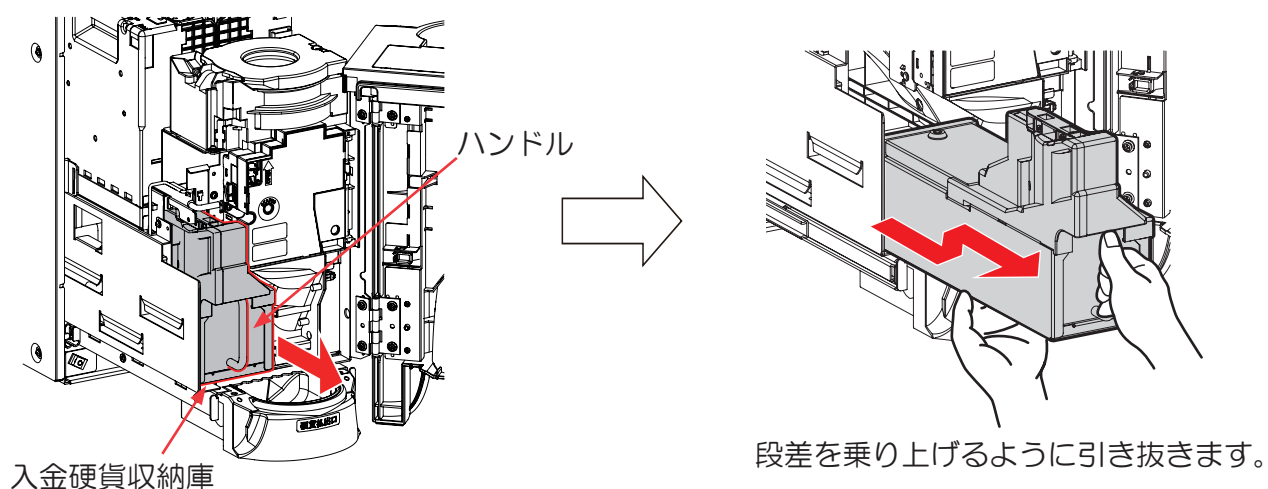
必ず P.3 の「ご使用前の安全厳守事項」を確認のうえ、行ってください。

● 入金貨幣の回収

硬貨入金部(入金硬貨収納庫の場合)：

- 1 硬貨入出金部の扉を開けます (P.32 の「扉の開閉のしかた」参照)。

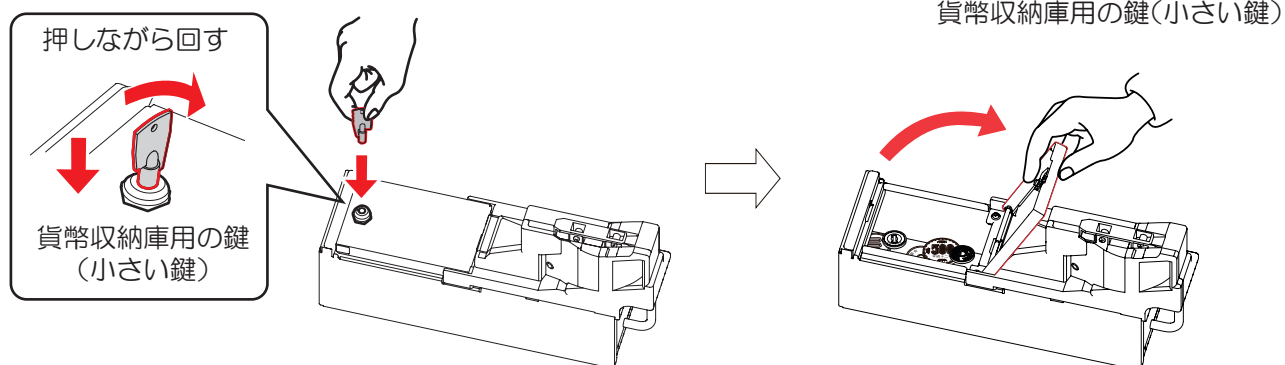
- 2 ハンドルを持ち入金硬貨収納庫を引き出します。



収納庫は収納硬貨量が多いと重くなります。落下させるとけがの恐れがありますので注意してください。

- 3 貨幣収納庫用の鍵(小さい鍵)で入金硬貨収納庫を開けます。

鍵を差し込み、押しながら右へ回します。
(鍵を 12 時の位置から 3 時の位置へ回します)



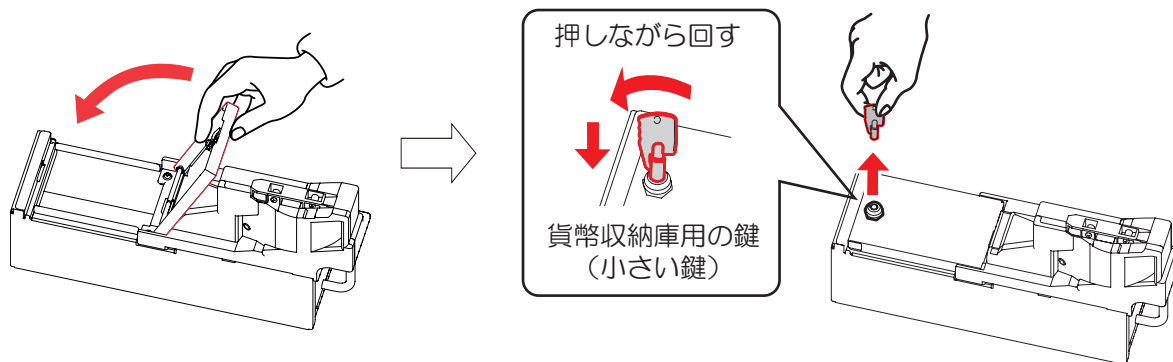
4 硬貨を回収します。

5 入金硬貨収納庫を閉めます。

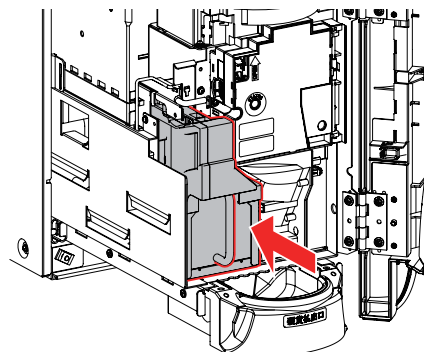
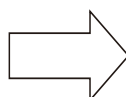
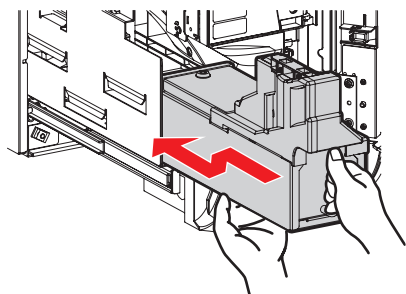
鍵を差し込み、押しながら左へ回します。
(鍵を3時から12時の位置に回します)



貨幣収納庫用の鍵(小さい鍵)



6 入金硬貨収納庫を本体へ取り付けます。



奥まで押し込む

7 硬貨入出金部の扉を閉めます (P.32 の「扉の開閉のしかた」参照)。

硬貨入金部（硬貨振分収納庫の場合）：



収納庫種別設定にて「シュウノウコ」を選択時（75 ページの「シュウノウコシュベツ：」参照）は、硬貨振分収納庫の各キャッシュケースの満杯を検知するカウンタが無効になります。

硬貨取扱高が多い環境の場合、各キャッシュケースの収納容量を超えて硬貨詰まりの発生頻度が上がる場合がございます。

収納庫種別設定にて「フリワケシュウノウコ」を選択時は、各キャッシュケースの満杯を検知するカウンタが有効になります。

工場出荷時には「シュウノウコ」に設定されています。

初期化（P.78 の「ショキカ（コウジョウシュッカジ）」参照）を行うと「シュウノウコ」に設定されます。



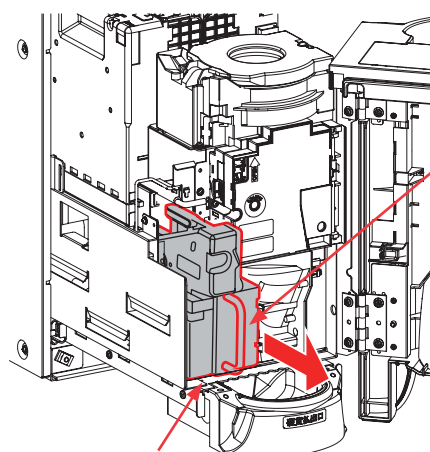
収納庫種別設定にて「フリワケシュウノウコ」を選択時（P.75 の「シュウノウコシュベツ：」参照）は、「硬貨振分収納庫」を装着した時に硬貨回収確認画面を表示します。その場合は、硬貨振分収納庫内の全ての硬貨を回収した場合は「ハイ」を、回収していない場合は「イエエ」の選択を行ってください。

1

硬貨入出金部の扉を開けます（P.32 の「扉の開閉のしかた」参照）。

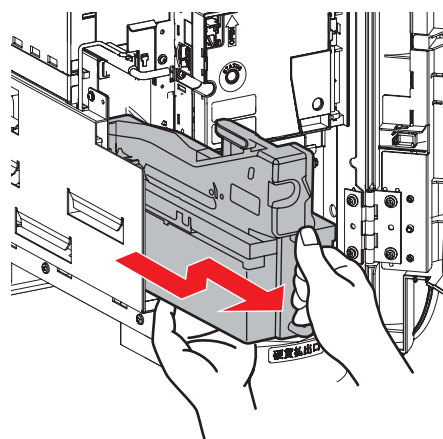
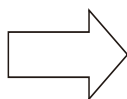
2

ハンドルを持ち硬貨振分収納庫を引き出します。



硬貨振分収納庫

ハンドル

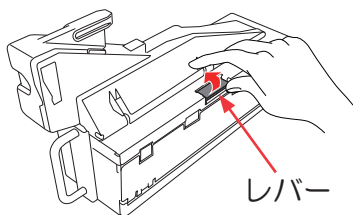


段差を乗り越えるように引き抜きます。

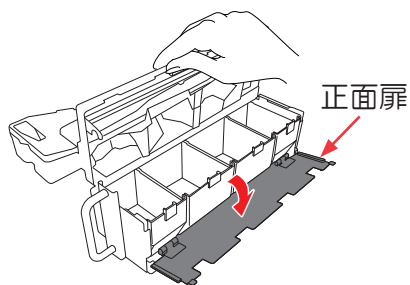
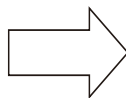
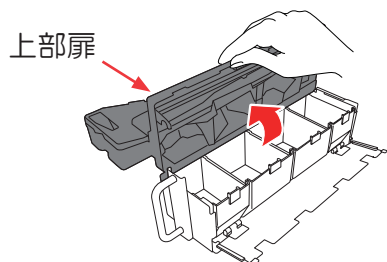


収納庫は収納硬貨量が多いと重くなります。落下させるとけがの恐れがありますので注意してください。

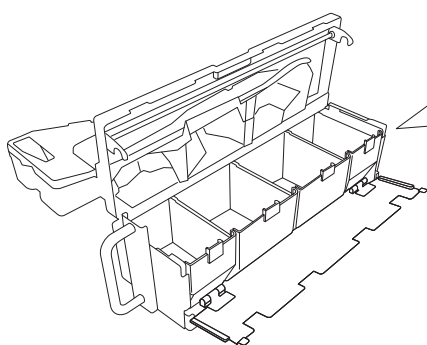
3 硬貨振分収納庫を開けます。 レバーを持ち上げます。



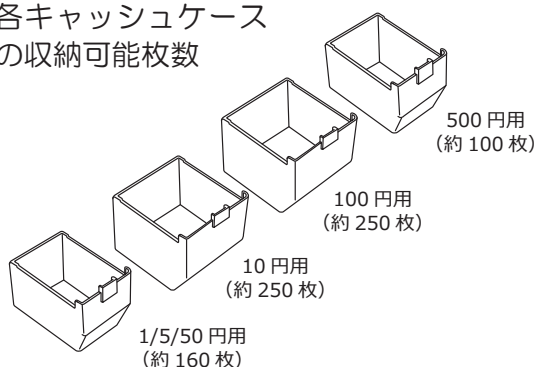
上部扉を開けると、正面扉が開きます。



4 硬貨を回収します。 各キャッシュケース（1/5/50 円、10 円、100 円、500 円）から硬貨を回収します。



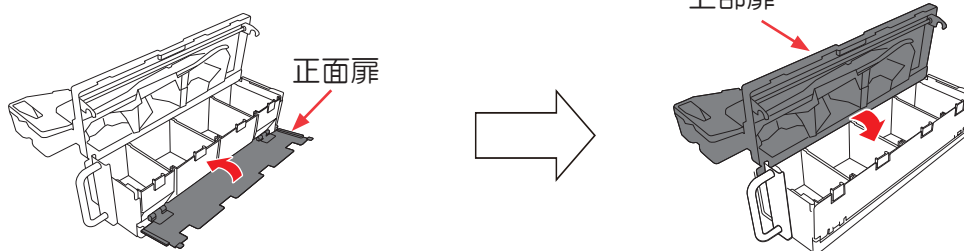
各キャッシュケース
の収納可能枚数



硬貨振分収納庫内の硬貨は、シールラベルの金種と異なる硬貨が入っている場合があります。硬貨を取り出す際に必ず金種を確認してください（誤振分率：1/5,000 枚）。※ 誤振分率は硬貨の摩耗や変形などの影響により変動します。
事前に識別センサにより硬貨の識別を行っておりますので、金種、枚数のカウントに影響はありません。

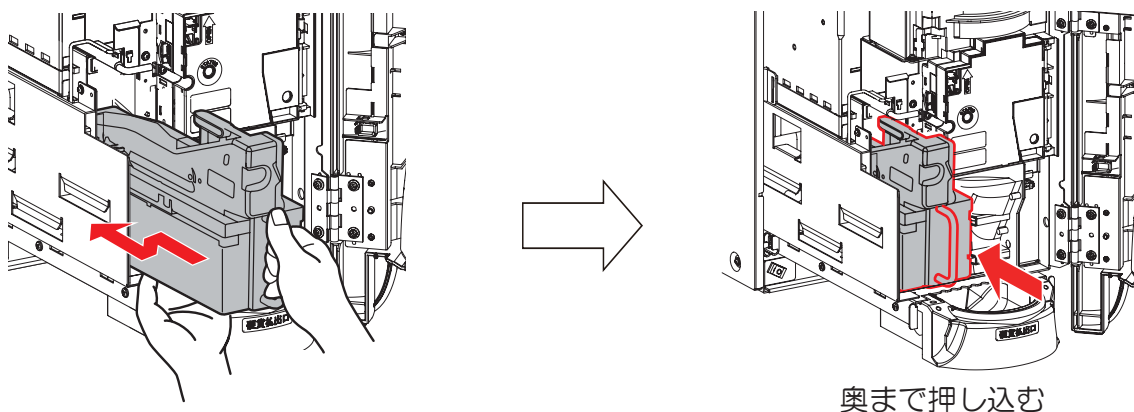
5

硬貨振分収納庫を閉じます。
正面扉を閉じてから、上部扉閉じます。。



6

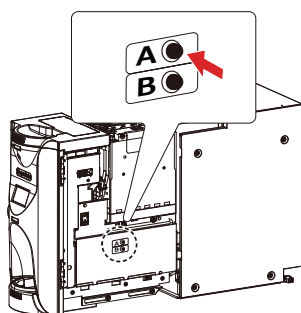
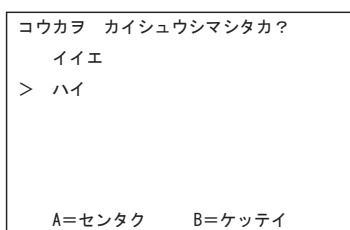
硬貨振分収納庫を本体へ取り付けます。



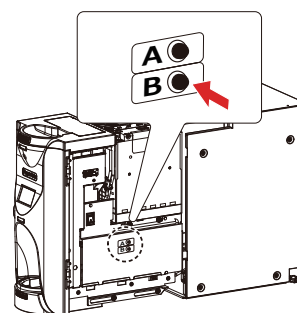
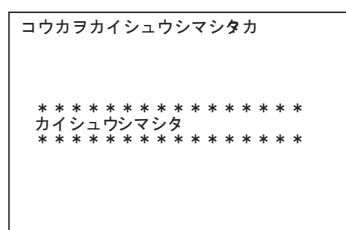
7

表示部に硬貨回収確認画面を表示します。
※収納庫種別設定にて「シュウノウコ」を選択時は、この表示はされません。

A ボタンを押下し「ハイ」を選択します。



B ボタンを押下して決定します。



8

硬貨入出金部の扉を閉めます (P.32 の「扉の開閉のしかた」参照)。

紙幣入金部：

- 1 紙幣入出金部の扉を開けます（P.32 の「扉の開閉のしかた」参照）。

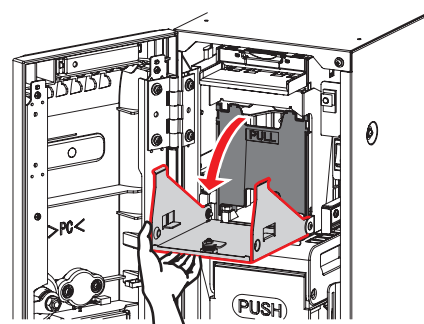
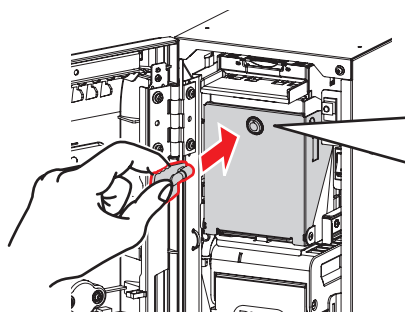
- 2 貨幣収納庫用の入金紙幣収納庫を開けます。

鍵を差し込み、押しながら右へ回します。
（鍵を 12 時の位置から 3 時の位置へ回します）

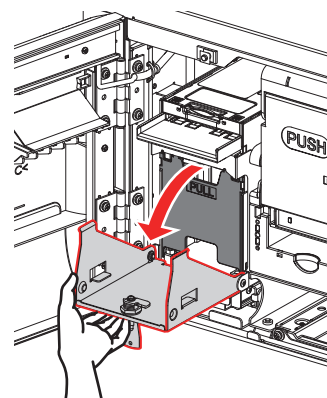
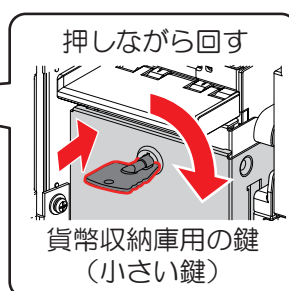
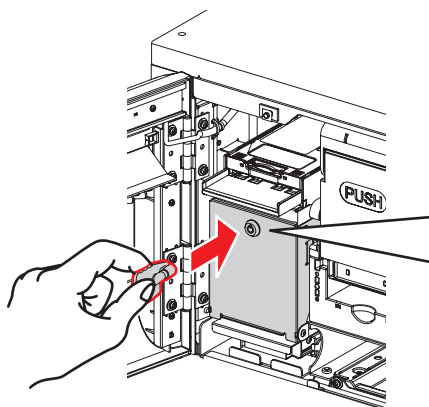


貨幣収納庫用の鍵（小さい鍵）

キューブ型タイプ

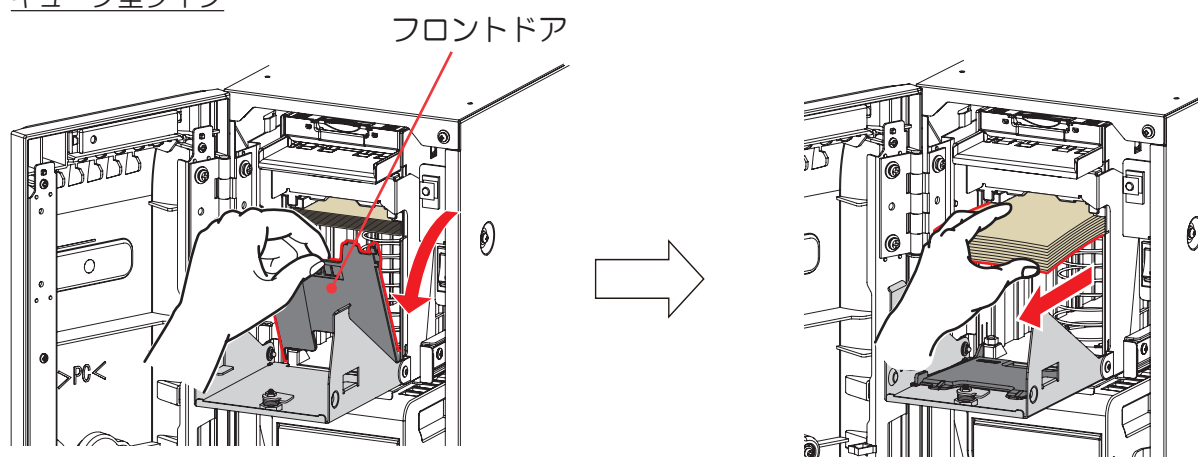


L型タイプ

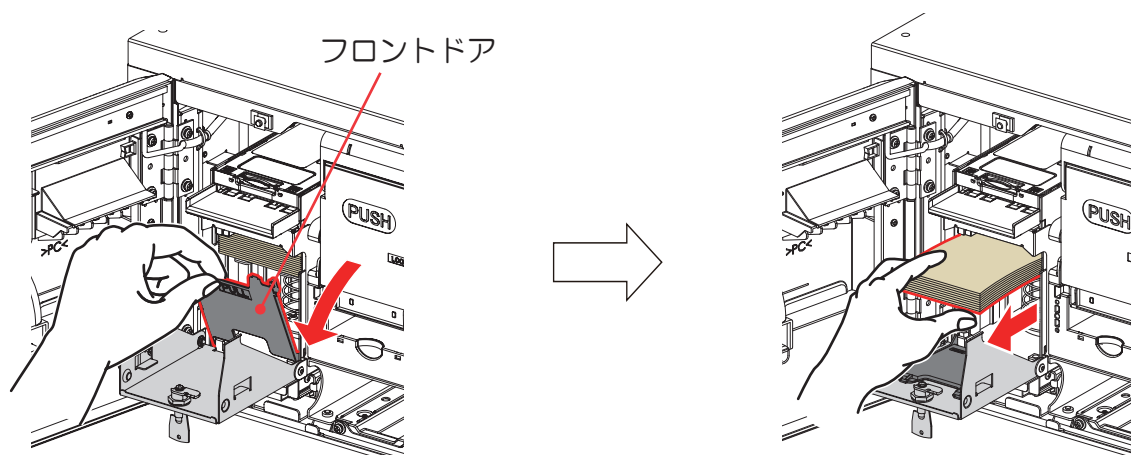


3 フロントドアを手前に倒し、入金紙幣を回収します。

キューブ型タイプ



L型タイプ



紙幣は約480枚が収納可能ですが、紙幣のしわやカール、折れ等の状態によって約480枚から2割～3割程度減る場合があります。

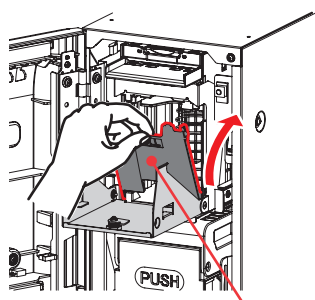


最後に入金された紙幣は紙幣収納庫の最上面に収納されます。

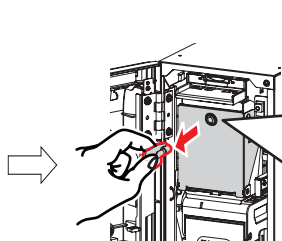
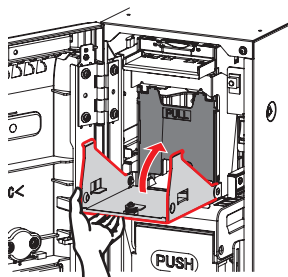
4 フロントドアを戻します。 入金紙幣収納庫を閉めます。

鍵を押しながら左に回します。
(鍵を3時から12時の位置に回します。)

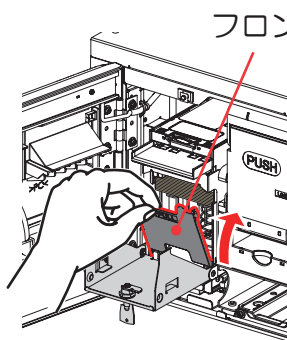
キューブ型タイプ



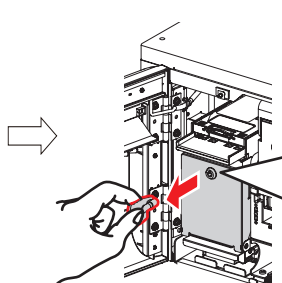
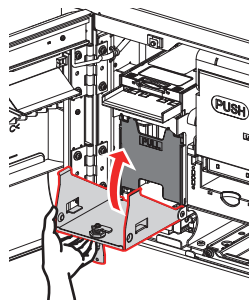
フロントドア



L型タイプ



フロントドア



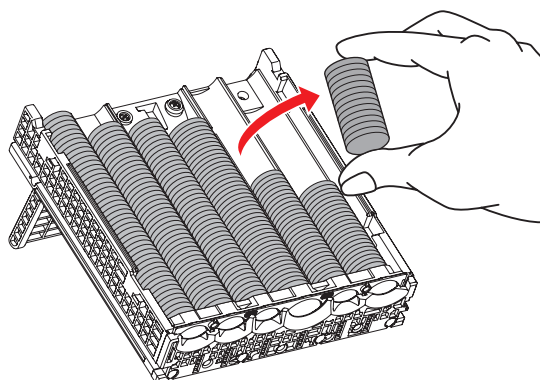
5 紙幣入出金部の扉を閉めます (P.32 の「扉の開閉のしかた」参照)。

● つり銭の回収

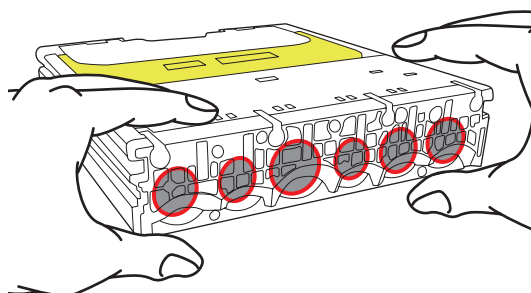
硬貨出金部：

- 1 硬貨払出し用カセットを取り外します（P.37 の「つり銭補充のしかた」参照）。

- 2 硬貨を回収します。



硬貨がカセットチューブの底に残っていないか必ず確認してください。

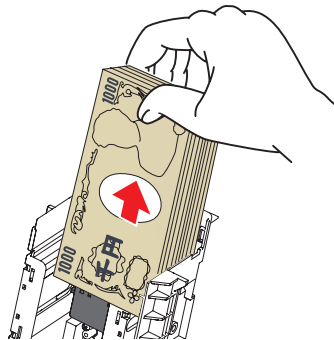


- 3 硬貨払出し用カセットを取り付けます（P.37 の「つり銭補充のしかた」参照）。

紙幣出金部：

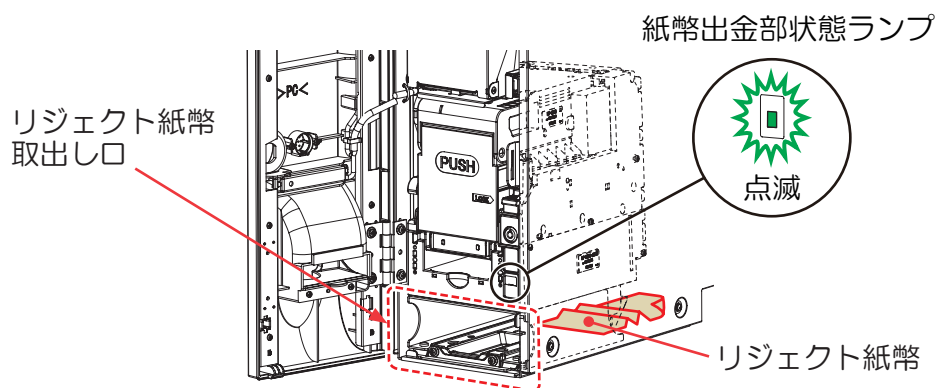
- 1 紙幣払い出し用カセットを取り外します（P.37の「つり銭補充のしかた」参照）。

- 2 紙幣を回収します。

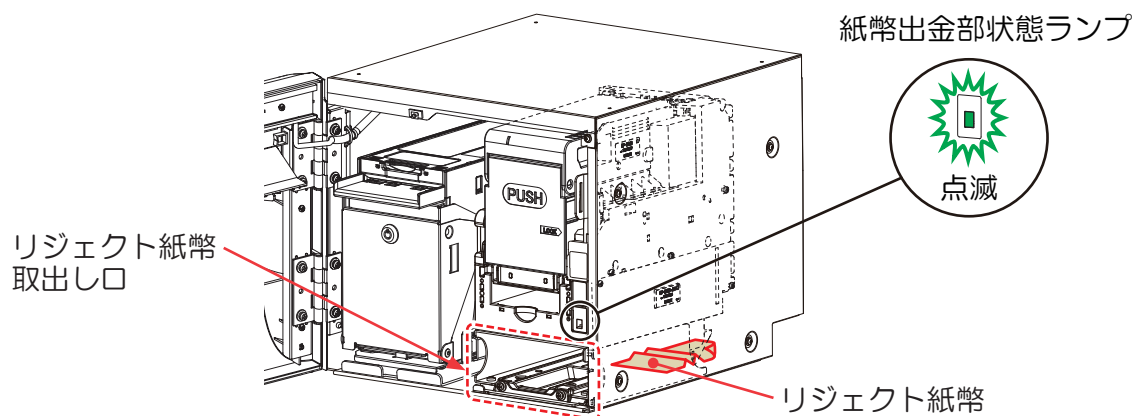


払出しできずにリジェクトした紙幣を、リジェクト紙幣取出し口へ排出することがあります。リジェクトを行った場合は紙幣出金部状態ランプが点滅します。必ずリジェクト紙幣の有無を確認してください。また、紙幣払い出し用カセットを脱着するとランプの点滅は止まります。

キューブ型タイプ



L型タイプ



- 3 紙幣払い出し用カセットを取り付けます（P.37の「つり銭補充のしかた」参照）。



計数モードの使いかた

硬貨および紙幣の枚数を計数する機能です。

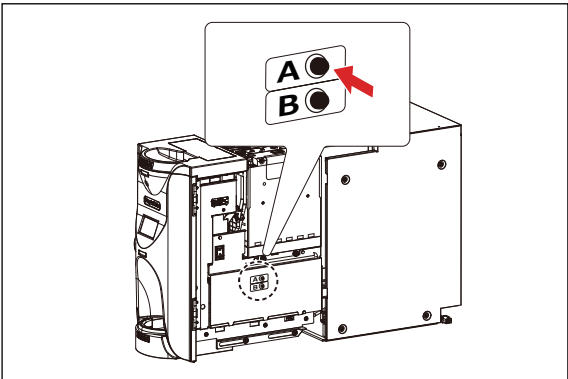


計数を行う前に必ず「硬貨振分収納庫」に硬貨、「紙幣払出し用カセット」に紙幣が入っていない事をご確認ください。

電源をオフにすると計数中の値、計数結果はすべてクリアされます。

紙幣入出金部に異常（紙幣払出し用カセット外れ等）がある場合では「シハイ」、「コウカ&シハイ」でB ボタンを押下しても次の画面へは遷移しません。

- ① 硬貨入出金部を開け（P.32 の「扉の開閉のしかた」参照）、A ボタンを長押しします。



- ② 表示部が「ソウサセンタク」画面になっていることを確認します。
 ③ B ボタンを押下し、「ケイスウモード」を決定します。

ホーム
ソウサセンタク

> 1. ケイスウモード^{*}
2. メンテナンスモード^{*}
9. オワリ

A = センタク B = ケッテイ

- ④ 「ケイスウモード」画面で A ボタン押下で項目を選択し、B ボタンを押下し決定します。

カ^{*} メン1ー1
1 : ケイスウモード^{*}

> 1. コウカ
2. シハイ
3. コウカ&シハイ
4. ケイスウケッカサイヒョウシ^{*}
9. モド^{*} ル（ソウサセンタク）

A = センタク B = ケッテイ

項目	機能
コウカ	硬貨のみ計数を行います。
シハイ	紙幣のみ計数を行います。
コウカ&シハイ	硬貨及び紙幣の計数を行います。
ケイスウケッカサイヒョウシ	計数結果を表示します（電源をオフにすると消去されます）。
モデル（ソウサセンタク）	操作選択画面へ戻ります。

● 硬貨のみの計数

①「ケースウモード」で「コウカ」を決定します。

カ`メン1-2

1: ケイスウモード`

ケイスウカイシ スルニハ

トビ`ラヲ シメテクダ`サイ

A=ケイスウシュウリョウ

② 硬貨及び紙幣入出金部の扉を閉めて硬貨出金部を押込み戻します（P.32 の「扉の開閉のしかた」参照）。

カ`メン1-3

ケイスウモード`

キンシュ`      マイスウ` キンカ`ク

¥ 1 0マイ ¥ 0

¥ 5 0マイ ¥ 0

¥ 10 0マイ ¥ 0

¥ 50 0マイ ¥ 0

¥ 100 0マイ ¥ 0

¥ 500 0マイ ¥ 0

コ`ウケイ 0マイ ¥ 0

A=ケイスウシュウリョウ

③ 計数したい硬貨を硬貨入金部に投入し計数を開始します。

- ※ 計数できなかった硬貨は硬貨出金部から排出します。
- ※ 計数結果表示内の「¥」マークの左に「E」マークが表示された場合は計数エラーとなります。硬貨を全て回収し、再度計数を行って下さい（P.70 の「計数エラー表示について」参照）。
- ※ 硬貨振分収納庫を使用中で収納庫種別設定を「フリワケシュウノウコ」に設定している場合は、各キャッシュケースの収納可能枚数を超える計数は行えません。全ての硬貨を回収し、再度計数を実施して下さい（P.57 の「硬貨入金部（硬貨振分収納庫の場合）：」参照）。

④ 計数が終了したら、A ボタンを押下し「ケースウシュウリョウ」を決定すると計数結果を表示します。

カ`メン1-4

ケイスウケツカヒョウジ

キンシュ`      マイスウ` キンカ`ク

¥ 1 60マイ ¥ 60

¥ 5 50マイ ¥ 250

¥ 10 250マイ ¥ 2,500

¥ 50 50マイ ¥ 2,500

¥ 100 250マイ ¥ 25,000

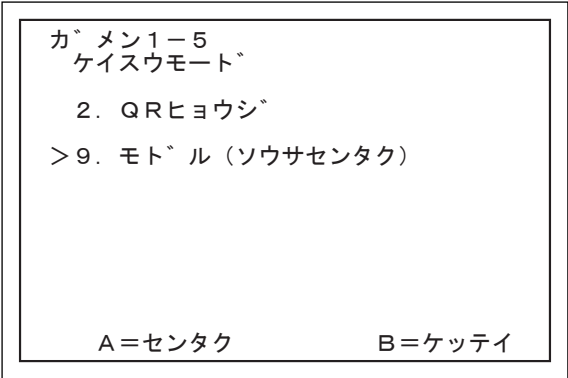
¥ 500 100マイ ¥ 50,000

コ`ウケイ 760マイ ¥ 80,310

A=ツキ`ヘ

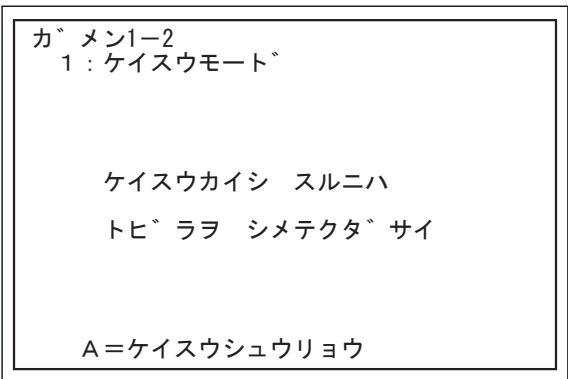
— 66 —

- ⑤ A ボタンを押下し「ツギへ」を決定すると、右記画面を表示します。
「QRヒョウジ」を選択し決定すると、計数結果読み取り用のQRコードを表示します。(P.71の「計数結果のQR表示について」参照)
「モデル (ソウサセンタク)」を決定するとソウサセンタク画面に戻ります。

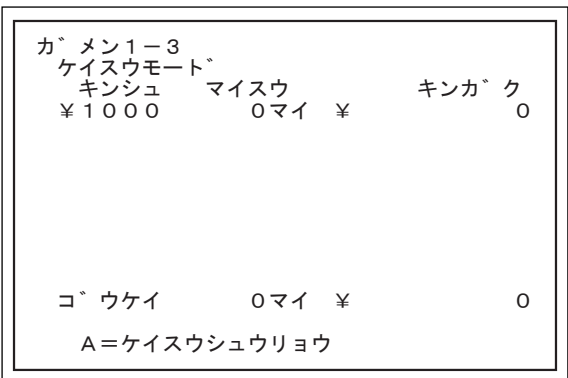


● 紙幣のみの計数

- ①「ケイスウモード」で「コウカ」を決定します。

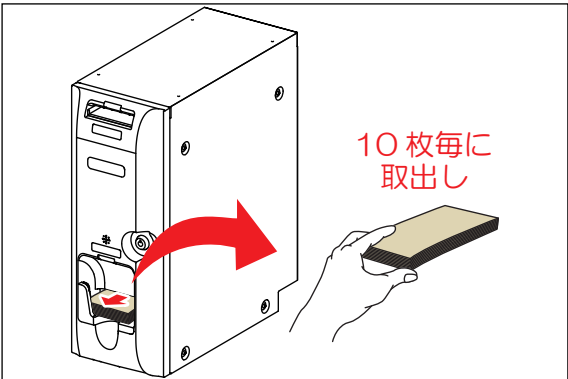


- ② 計数したい紙幣を紙幣払出力セットにセットします。硬貨及び紙幣入出金部の扉を閉めて硬貨出金部を押込み戻します (P.32の「扉の開閉のしかた」参照)。



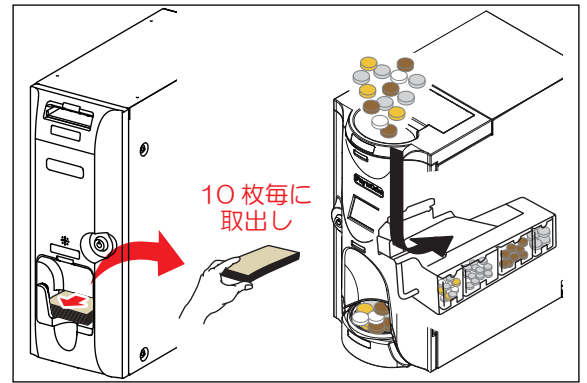
- ③ 紙幣出金口から紙幣を10枚単位で払出しされます。紙幣を取出すと次の紙幣が払い出されます。当操作を払い出しが行われなくなるまで繰り返してください。

※ 計数結果表示内の「¥」マークの左に「E」マークが表示された場合は計数エラーとなります。紙幣を全て回収し、再度計数を行ってください。(P.70の「計数エラー表示について」参照)。



- ③ 計数したい硬貨を硬貨入金部に投入します。
紙幣出金口から紙幣が10枚単位で払出しされます。紙幣を取出すと次の紙幣が払い出されます。

- ※ 計数できなかった硬貨は硬貨出金部から排出します。
- ※ 計数結果表示内の「¥」マークの左に「E」マークが表示された場合は計数エラーとなります。硬貨を全て回収し、再度計数を行ってください（P.70の「計数エラー表示について」参照）。
- ※ 硬貨振分収納庫を使用中で収納庫種別設定を「フリワケシュウノウコ」に設定している場合は、各キャッシュケースの収納可能枚数を超える計数は行えません。全ての硬貨を回収し、再度計数を実施してください（P.57の「硬貨入金部（硬貨振分収納庫の場合）：」参照）。



- ④ 計数が終了したら、A ボタンを押下し「ケースウシュウリョウ」を決定すると計数結果を表示します。

カ`メン1-4 ケースウケツカヒョウジ キンシュ`マイスウ				キンカ`ク	
¥ 1	60マイ	¥		60	
¥ 5	50マイ	¥		250	
¥ 10	250マイ	¥		2,500	
¥ 50	50マイ	¥		2,500	
¥ 100	250マイ	¥		25,000	
¥ 500	100マイ	¥		50,000	
¥ 1000	300マイ	¥		30,000	
コ`ウケイ1,	060マイ	¥		110,310	
A=ツギ`へ					

- ⑤ A ボタンを押下し「ツギへ」を決定すると、右記画面を表示します。
「QRヒョウジ」を選択し決定すると、計数結果読み取り用のQRコードを表示します。（P.71の「計数結果のQR表示について」参照）
「モドル（ソウサセンタク）」を決定するとソウサセンタク画面に戻ります。

カ`メン1-5 ケースウモート`	
2. QRヒョウジ`	
> 9. モト`ル（ソウサセンタク）	
A=センタク	B=ケツテイ

● 計数エラー表示について

- ① 計数結果を表示する画面で「¥」マークの左に「E」マークが表示された場合は計数エラーとなります。

※ 硬貨計数で異常があった場合は硬貨金種に、紙幣計数で異常があった場合は紙幣金種に「E」マークを表示します。

※ 硬貨&紙幣の計数を行い、正常と異常が両立している場合は、上記「A=ツギへ」と「B=モデル」の両方が表示されます。

※ 異常が発生したモジュールの計数は継続できません。一度、計数を終了し再度計数を行ってください。

※ 再度計数を行う場合は、硬貨の回収及び紙幣の補充を行ってください。

カ`メン1-4			
ケイスウケツカヒョウジ			
キンシュ		マيسウ	
E ¥	1	60マイ	¥ 60
E ¥	5	50マイ	¥ 250
E ¥	10	250マイ	¥ 2,500
E ¥	50	50マイ	¥ 2,500
E ¥	100	250マイ	¥ 25,000
E ¥	500	100マイ	¥ 50,000
E ¥	1000	300マイ	¥ 30,000
E=ケイスウフテイサイケイサン			
コ`ウケイ1,060マイ		¥	110,310
B=モト`ル(ソウサセンタク)			

- ② B ボタンを押下し「モデル」を決定すると右記の画面を表示します。硬貨振分収納庫の硬貨を全て回収して下さい。

カ`メン1-6	

コウカラ カイシュウシテクタ`サイ	

- ③ 硬貨振分収納庫を取付け後、硬貨回収確認画面で「ハイ」を選択すると本画面に「A=ツギへ」が表示されます。

カ`メン1-6	

コウカラ カイシュウシテクタ`サイ	

A=ツギへ	

- ④ A ボタンを押下し「ツギへ」を決定すると「ソウサセンタク」画面へ戻ります。

※ 計数結果を表示する画面で「ツギへ」を決定していた場合は、計数画面（計数保存・QR表示）へ戻ります。

ホーム	
ソウサセンタク	
> 1. ケイスウモード`	
2. メンテナンスモード`	
9. オワリ	
A=センタク B=ケッテイ	

● 計数結果の QR 表示について

- ①「QR ヒョウジ」を選択し決定すると、計数結果読み取り用の QR コードを表示します。

カメン1-5
ケースウモト

2. QRヒョウジ
> 9. モトル (ソウサセンタク)

A = センタク

B = ケッテイ

- ② 計数結果を QR コードで表示します。

QRコードを読み取り
計数結果を確認してください





A, B = モドル

- ③ QR コードは、CSV 形式テキストでコード化したデータとなります。

表示例	
¥1,¥5,¥10,¥50,¥100,¥500,¥1000,Total	←金種タイトル
1,2,3,4,5,6,7,28	←各金種枚数
1,10,30,200,500,3000,7000,10741	←枚数×金種

※ 計数結果の QR コードを読み取る専用アプリはありません。

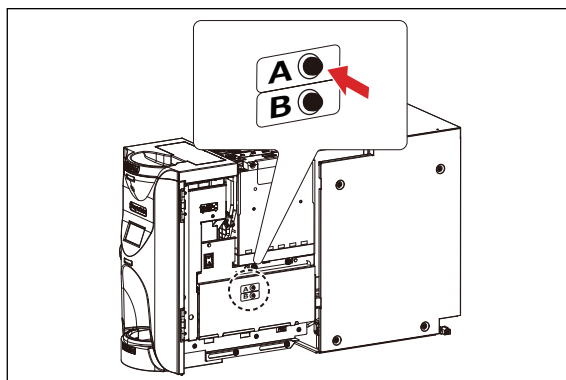
※ QR コードを読み取る機器によって「¥」は「\」と表示される場合がございます。

メンテナンスモード

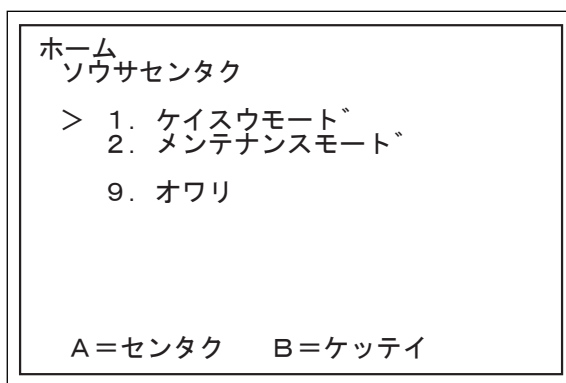
メンテナンスモードでは、各種機能設定をすることができます。

● メンテナンスモードへの切り替え

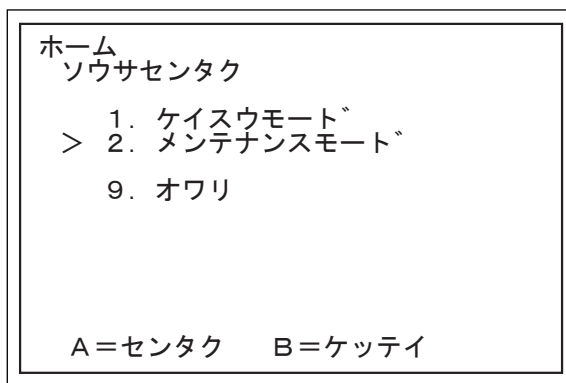
- ① 硬貨入出金部を開け（P.32 の「扉の開閉のしかた」参照）、A ボタンを長押しする。



- ② 表示部に「ソウサセンタク」画面が表示されます。



- ③ A ボタンを押下し、「メンテナンスモード」を選択し、B ボタンを押下し決定します。



- ④「メンテナンスモード」画面で A ボタンで項目を選択し、B ボタンを押下し決定します。

カ`メン2-1
2: メンテナンスモード`

>1. バ`ーシ`ョンヒョウシ`
2. シュウノウマイスイウカクニン
3. トウサカクニン/セッテイ
4. ワーニングカクニン
5. カクシュセンサカクニン
6. ルイケイト`ウサカイスウヒョウシ`
7. ショキカ (コウジョウシュッカジ)

9. モドル (ソウサセンタク)

A=センタク B=ケッテイ

項目	機能
バージョンヒョウジ	各種モジュールのバージョンを表示します。
シュウノウ マイスウカクニン	入金、出金の現在保有枚数を表示します。
ドウサカクニン / セッテイ	収納庫種別、利用可能金種、音量、LED、音声パターン、硬貨単独動作を行います。
ワーニングカクニン	Pay Cube-C 扉を開く直前のワーニングエラー・またはエラーの確認と、ワーニングエラーのクリア操作を行います。
カクシュセンサカクニン	各種センサのON、OFF 確認を行います。
ルイケイドウサカイスウヒョウジ	各モジュールの製造後からの累計動作（枚、時間）を表示します。
ショキカ (コウジョウシュッカジ)	各種設定を工場出荷時に戻します。
モドル (ソウサセンタク)	前の画面に戻ります。

● バージョンヒョウジ

- ①「メンテナンスモード」で「バージョンヒョウジ」を決定すると右記画面を表示します。
- ② A ボタンを押下し「モドル」を決定すると前の画面に戻ります。
- ③ 接続されていない端末のバージョンは” -----” 表示となります。
- ④ FW 更新時に失敗した場合は「FW ハソン」と表示されます。販売店へお問合せ下さい。

カ`メン2-2
バ`ーシ`ョンヒョウシ`

PM -----
NB -----
DP -----, -----
CS -----
CP -----, -----
LCD -----
VO -----

A=モドル

● シュウノウ マイスイカクニン

- ①「メンテナンスモード」で「シュウノウ マイスイカクニン」を決定すると入金在高の金種及び枚数を表示します。

※ 未管理モードでは、硬貨振分収納庫に設定されていなかった場合は、収納庫枚数は常に0となります。

カ`メン2-3 A シュウノウ コ マイスイ				(ミカンリ)	
¥	1	9999マイ	¥	5	9999マイ
¥	10	9999マイ	¥	50	9999マイ
¥	100	9999マイ	¥	500	9999マイ
			コ`ウケイ	9999マイ	
			¥	1000	999マイ
			¥	2000	999マイ
			¥	5000	999マイ
			¥	10000	999マイ
			コ`ウケイ	9999マイ	
A=シュッキンコ			B=モト`ル		

- ② A ボタンを押下し「シュッキンコ」を決定すると出金在高の金種及び枚数を表示します。

※ 未管理モードでは、センサによる概算枚数であることを示す「ジツマイスイウト コトナリマス」を表示しています。

※ 管理モードの場合は上位より設定した値から会計による増減が適用された値を表示します。

カ`メン2-3 B シュッキン コ マイスイ				(ミカンリ)	
¥	1	9999マイ	¥	5	9999マイ
¥	10	9999マイ	¥	50	9999マイ
¥	100	9999マイ	¥	500	9999マイ
			コ`ウケイ	9999マイ	
			¥	1000	999マイ
			コ`ウケイ	999マイ	
■ジ`ツマイスイウト コトナリマス■					
A=シュウノウコ			B=モト`ル		

- ③ A ボタンを押下し「シュウノウコ」を決定すると貨幣収納庫枚数表示に戻ります。

B ボタンを押下し「モドル」を決定すると前の画面に戻ります。

● ドウサカクニン / セッテイ

「メンテナンスモード」で「ドウサカクニン / セッテイ」を決定すると右記の動作確認 / 設定メニュー画面を表示します。

A ボタンで選択し、B ボタンで決定します。

カ`メン2-4 ト`ウサカクニン/セッテイ	
> 1.	シュウノウコシュベ`ツ
2.	リヨウカノウキンシュ
3.	オンリヨウ
4.	L C D
5.	オンセイハ`ターン
6.	コウカタント`クト`ウサ
9.	モト`ル
A=センタク B=ケッテイ	

項目	機能
シュウノウコシュベツ	入金硬貨収納庫の種別（混合収納庫 / 振分収納庫）を変更します。
リヨウカノウキンシュ	利用可能金種を変更します。
オンリヨウ	音声ガイダンスの音量を変更します。
L C D	表示部に表示する内容を変更します。
オンセイパターン	音声ガイダンスの設定を変更します。
コウカタンドクドウサ	硬貨入出金部単独での動作を許可します。
モドル	前の画面に戻ります。

シュウノウコシュベツ：

- ①「ドウサカクニン / セッテイ」で「シュウノウコシュベツ」を決定すると右記画面を表示します。
- ② A ボタンで選択し、B ボタンで決定します。

カ`メン2-4 A
ト`ウサカクニン / セッテイ
シュウノウコシュベツ
ケ`ンサ`イ：フリワケシュウノウコ

> 1. シュウノウコ
2. フリワケシュウノウコ

9. モト`ル

A=センタク B=ケッテイ

リョウカノウキンシュ：

- ①「ドウサカクニン / セッテイ」で「リョウカノウキンシュ」を決定すると右記画面を表示します。
- ② A ボタンで金種を選択し、B ボタンで「リョウカ」「リョウフカ」を交互に切り替えます。
- ③「1 1. シュッキン」で出金側の金種の設定が行えます。
- ④「12. モドル」を決定すると設定が適用され終了します。

カ`メン2-4 B-1
リョウカノウキンシュ
ニュウキン ケ`ンサ`イ

> 1. ￥ 1 リョウカ=>リョウフカ
2. ￥ 5 リョウフカ=>リョウフカ
3. ￥ 10 リョウカ=>リョウカ
4. ￥ 50 リョウカ=>リョウカ
5. ￥ 100 リョウカ=>リョウカ
6. ￥ 500 リョウカ=>リョウカ
7. ￥ 1000 リョウカ=>リョウカ
8. ￥ 2000 リョウフカ=>リョウフカ
9. ￥ 5000 リョウカ=>リョウカ
10. ￥ 10000 リョウカ=>リョウカ
11. シュッキン 12. モト`ル
A=センタク B=ケッテイ

オンリョウ：

- ①「ドウサカクニン / セッテイ」で「オンリョウ」を決定すると右記画面を表示します。
- ② A ボタンで選択し、B ボタンで決定します。

※ Bボタンで決定すると、選択された設定が反映され、設定された音量で音声「ありがとうございました」を再生します。

カ`メン2-4 C
ト`ウサカクニン / セッテイ
オンリョウ
ケ`ンサ`イ：タ`イオンリョウ

> 1. ムオン
2. ショウ
3. チュウ
4. タ`イ

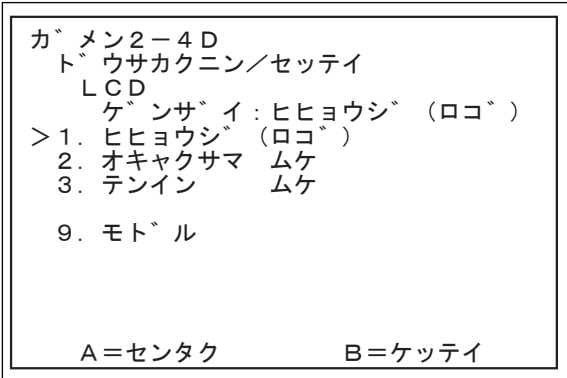
9. モト`ル

A=センタク B=ケッテイ

LCD :

- ①「ドウサカクニン / セッテイ」で「LCD」を決定すると右記画面を表示します。
- ② A ボタンで選択し、B ボタンで決定します。

※ 各表示内容の詳細は P.13 の「表示部」を参照。

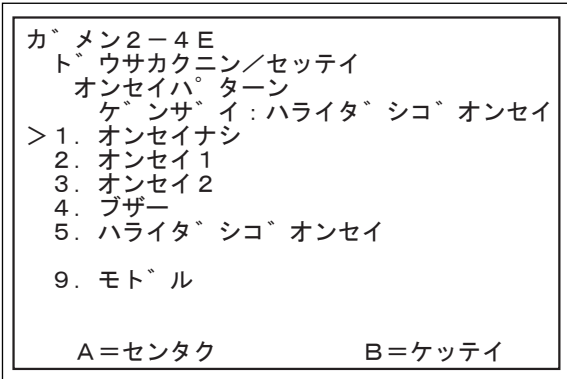


オンセイパターン :

- ①「ドウサカクニン / セッテイ」で「オンセイパターン」を決定すると右記画面を表示します。
- ② A ボタンで選択し、B ボタンで決定します。

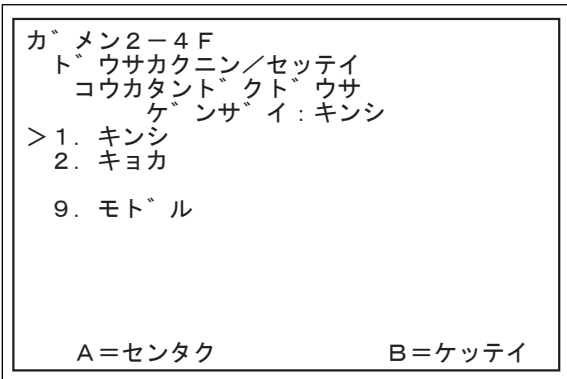
※ Bボタンで決定すると、選択された設定が反映され、選択されたパターンで再生します

【再生内容】	
オンセイナシ	再生なし
オンセイ1	音声「ありがとうございました」
オンセイ2	音声「お釣りをお取りください」
ブザー	ブザー鳴動
ハライダシゴオンセイ	音声「会計が完了しました」



コウカタンドクソウサ :

- ①「ドウサカクニン / セッテイ」で「コウカタンドクソウサ」を決定すると右記画面を表示します。
- ② A ボタンで選択し、B ボタンで決定します。



● ワーニングカクニン

「メンテナンスモード」で「ワーニングカクニン」を決定すると、右記の警告 / 異常確認画面を表示します。

※ 硬貨又は紙幣入出金部の扉を「開く前」のエラーコード／ワーニングを保持して表示します。

＜警告 / 異常がない場合＞

A ボタンを押下し「モドル」を決定すると前の画面に戻ります。

カ`メン2-5
ワーニング`カクニン

ト`ア オ-フ`ン マ エ
ワーニング`ナシ

A=モト`ル

＜警告がある場合（エラーコードを表示）＞

「QRコードヒョウジ」を選択し決定すると対処動画閲覧用のQRコードを表示します。

「ホシュヨウキュウ クリア」が表示されている場合に、選択し決定すると、「コウカンヨウキュウ クリア」または「セイソウヨウキュウ クリア」画面を表示します。

カ`メン2-5
ワーニング`カクニン

ト`ア オ-フ`ン マ エ
ワーニング`アリ
エラーコード`00-91

> 1. QRコード`ヒョウジ`
2. ホシュヨウキュウ`クリア
9. モト`ル

A=センタク B=ケッテイ

「モドル」を選択して決定すると前の画面に戻ります。

カ`メン2-5 A
ワーニング`カクニン
ホシュヨウキュウ`クリア

セイソウヨウキュウ`クリア
コウカンヨウキュウ`クリア

A=モト`ル

＜異常がある場合（エラーコードを表示）＞

A ボタンを押下すると「QRコードヒョウジ」を決定し、対処動画閲覧用のQRコードを表示します。

B ボタンを押下すると「モドル」を決定し、前の画面に戻ります。

カ`メン2-5
ワーニング`カクニン

ト`ア オ-フ`ン マ エ
イジ`ヨウ`アリ
エラーコード`21-01

A=QRコード`ヒョウジ` B=モト`ル

● カクシュセンサカクニン

- ①「メンテナンスモード」で「カクシュセンサカクニン」を決定すると右記のセンサ状態の確認画面を表示します。
- ② A ボタンを押下し「モドル」を決定すると前の画面に戻ります。

カ`メン2-6 カクシュセンサカクニン		
PT-3C	DOOR	CONNECT
	SHUTTER	CLOSE OPEN
	CASHBOX	CLOSE OPEN
	BOXFULL	SET NON
	TRAY	EMPTY FULL
		OFF ON
PT-3B	DOOR	CONNECT
		CLOSE OPEN
A=モトル		

● ルイケイドウサカクニンヒョウジ

- ①「メンテナンスモード」で「ルイケイドウサカクニンヒョウジ」を決定すると右記の累計動作の確認画面を表示します。
- ② A ボタンを押下し「モドル」を決定すると前の画面に戻ります。

カ`メン2-7 ルイケイト`ウサカイスウヒョウジ`		
CS-11	999999マイ	999999シ`カン
CP-1 x x	999999マイ	999999シ`カン
NB-4MB3 (S8)	999999マイ	
DP-M512	999999マイ	
A=モトル		

● ショキカ（コウジョウシュッカジ）

- ①「メンテナンスモード」で「ショキカ（コウジョウシュッカジ）」を決定すると右記画面を表示します。
- ②「ショキカジッコウ」を選択し、決定すると初期化が実行され、右記の画面を表示します。
- ③ A ボタンを押下し「ショキカジッコウ」を決定すると初期化されます。

カ`メン2-8 ショキカ（コウシ`ョウシュッカジ`）	
カクシュセッテイヲショキカシマスカ？	
> 1. ショキカシ`ッコウ	
9. モトル	
A=センタク	B=ケッテイ

カ`メン2-8A ショキカ（コウシ`ョウシュッカジ`）	
***** カクシュセッテイ ヲ ショキカシマシタ *****	
A=リセット	

日常のお手入れ

清掃のしかた	80
硬貨入金部の清掃：	81

清掃のしかた

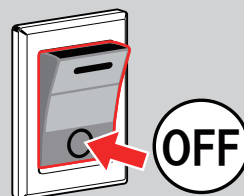
搬送路、センサが汚れていると、製品の動作不良の原因となることがあります。
性能を長く維持するために、1～3ヶ月に一度定期的に清掃してください。

警告

製品の清掃には、可燃性のスプレーなどを使用しないでください。スプレーガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、爆発および火災の原因になることがあります。

注意

本製品内部の清掃を行う場合は必ず電源スイッチを切ってください。
電源スイッチを切らずに作業すると感電・けがの原因になります。

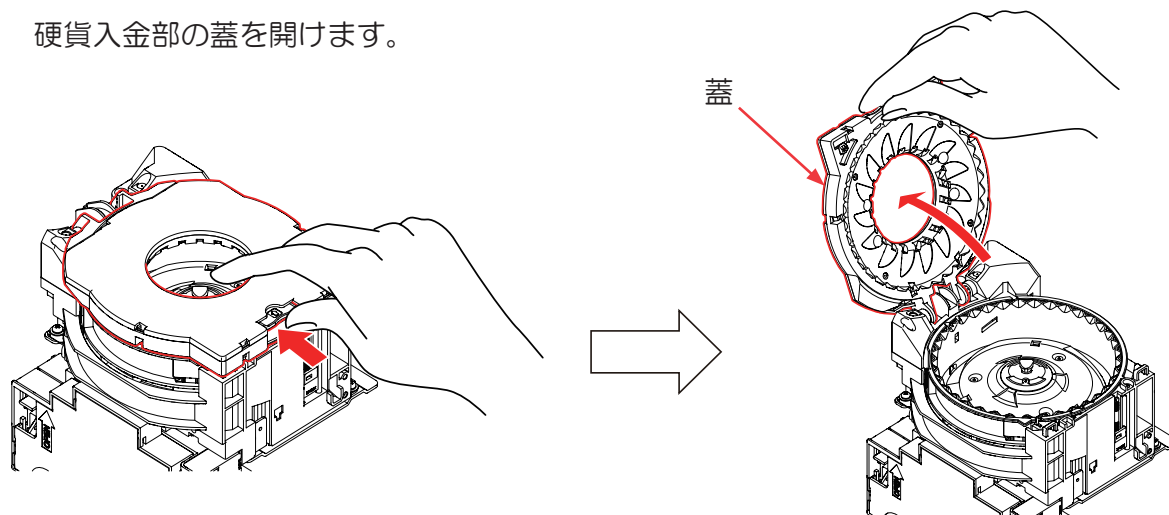


製品の清掃には酸性、アルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー系の溶剤、化学ぞうきん等は使用しないでください。変形や変色、故障の原因になります。
清掃は繊維くずの出ない柔らかい布で乾拭きしてください。

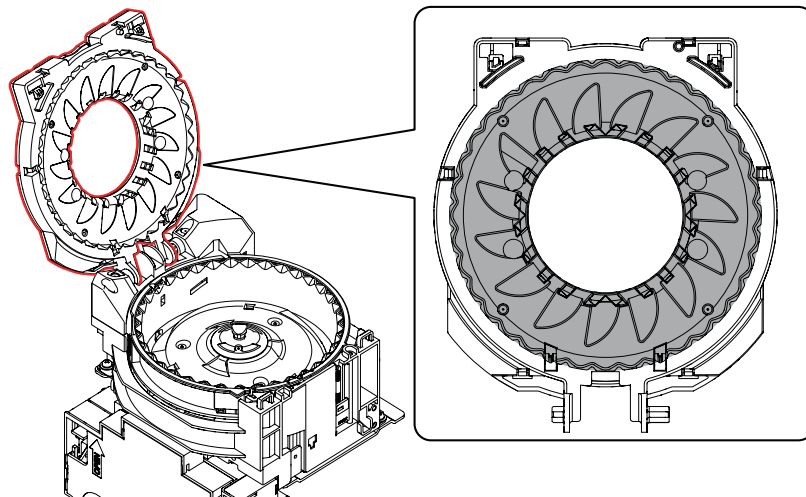
● 硬貨入金部の清掃：

- 1 電源を OFF します（P.36 の「電源の入 / 切のしかた」参照）。

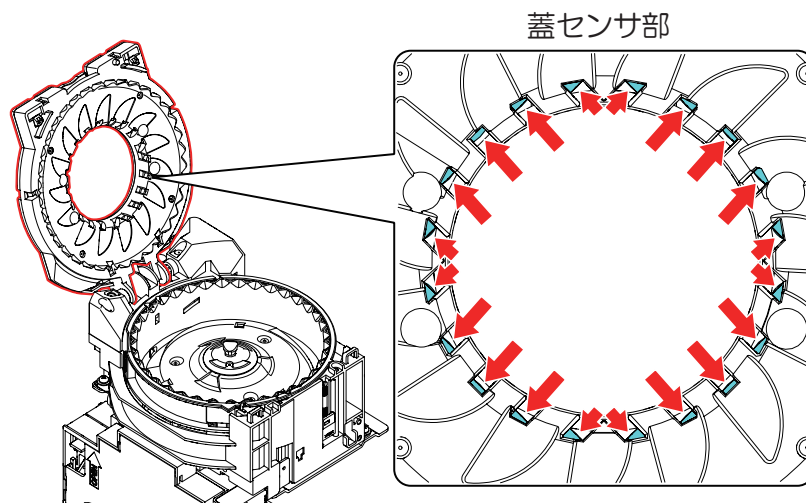
- 2 硬貨入金部の蓋を開けます。



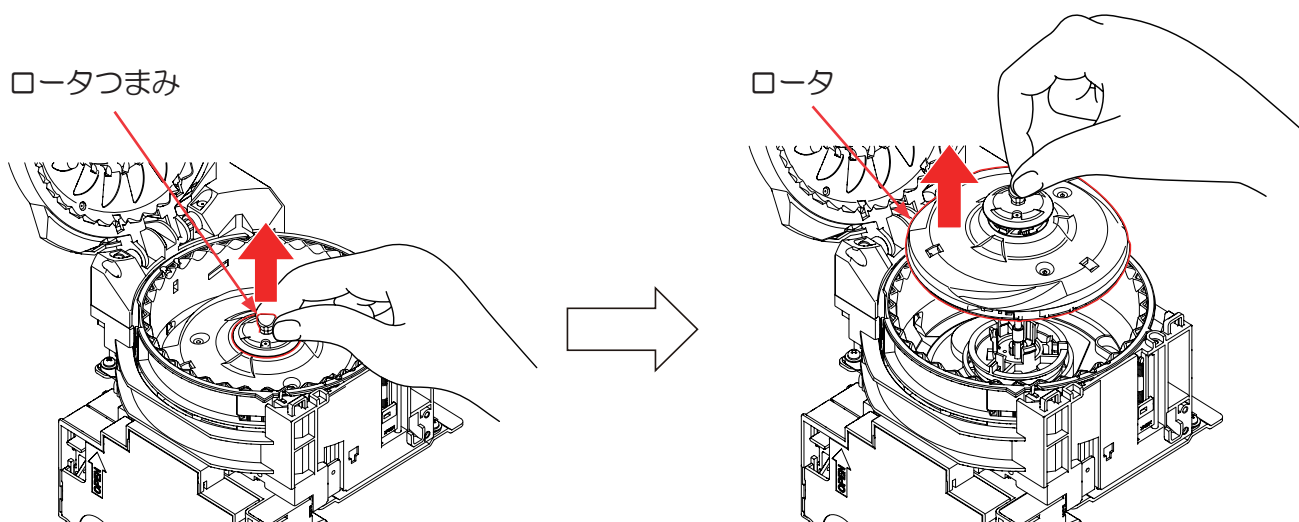
- 3 蓋の内側全体（グレー部）を繊維くずの出ない柔らかい布で清掃します。



- 4** 蓋のセンサ部を綿棒や繊維くずの出ない柔らかい布で清掃します。

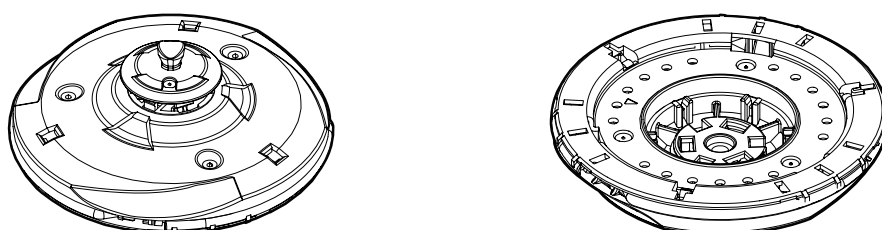


- 5** ロータつまみを引っ張り持ち上げてから、さらに持ち上げてロータを取り外します。

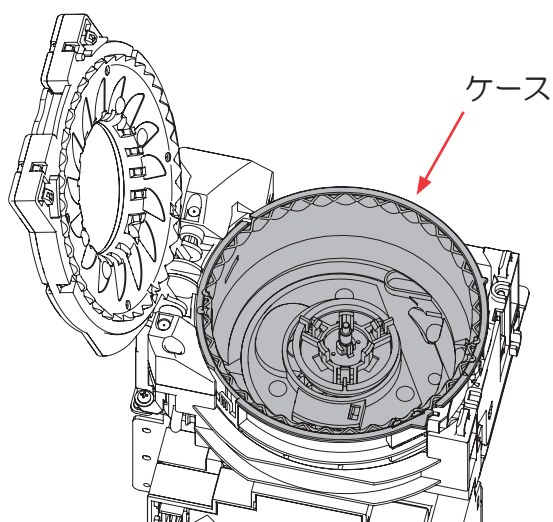


この時硬貨や異物が詰まっていた場合は、取り除いてください。

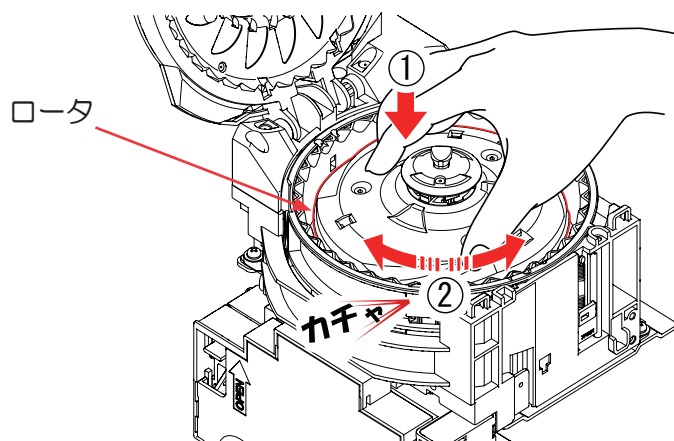
- 6** ロータ全体を繊維くずの出ない柔らかい布で清掃します。



7 ケース内部を繊維くずの出ない柔らかい布で清掃します。

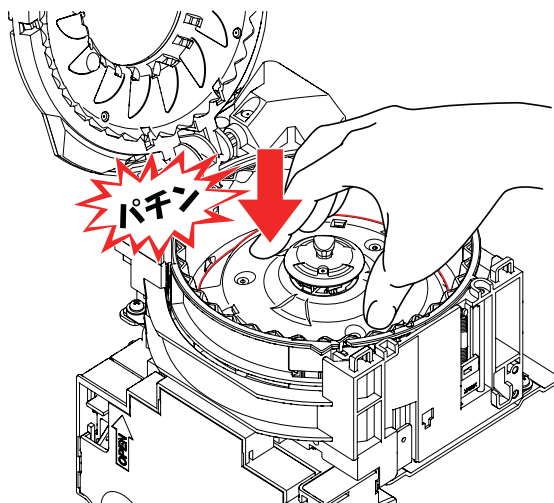


8 ロータをケースに置いて“カチャ”と1段下がるまで左右に回します。



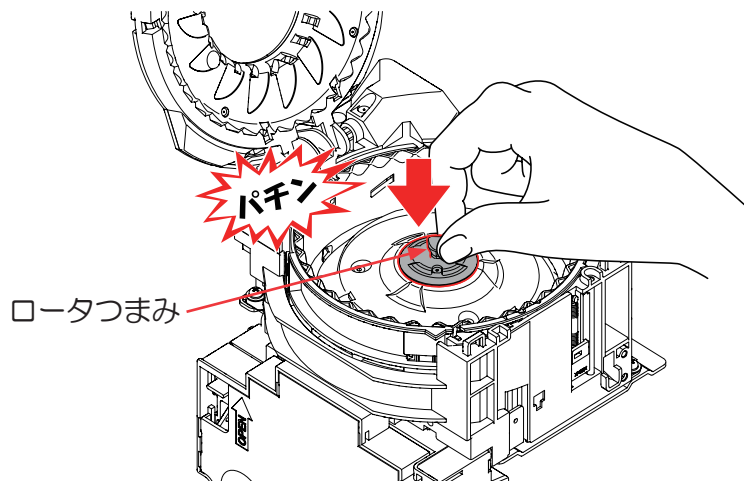
ロータを置いた状態により“カチャ”と音がしない場合もあります。

9 ロータを“パチン”と音がするまで押します。



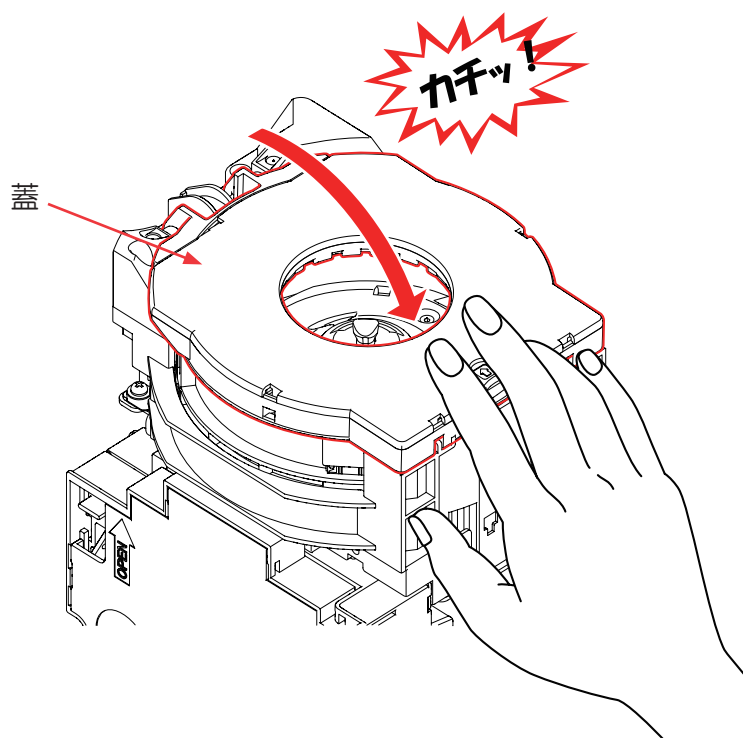
ロータが正しく取り付けられていないと、誤動作や故障の原因となります。

10 ロータつまみを“パチン”と音がするまで押します。

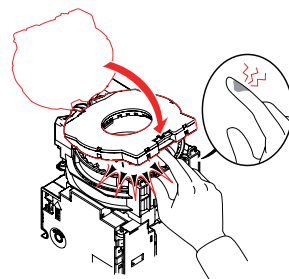


ロータつまみが正しく取り付けられていないと、誤動作や故障の原因となります。

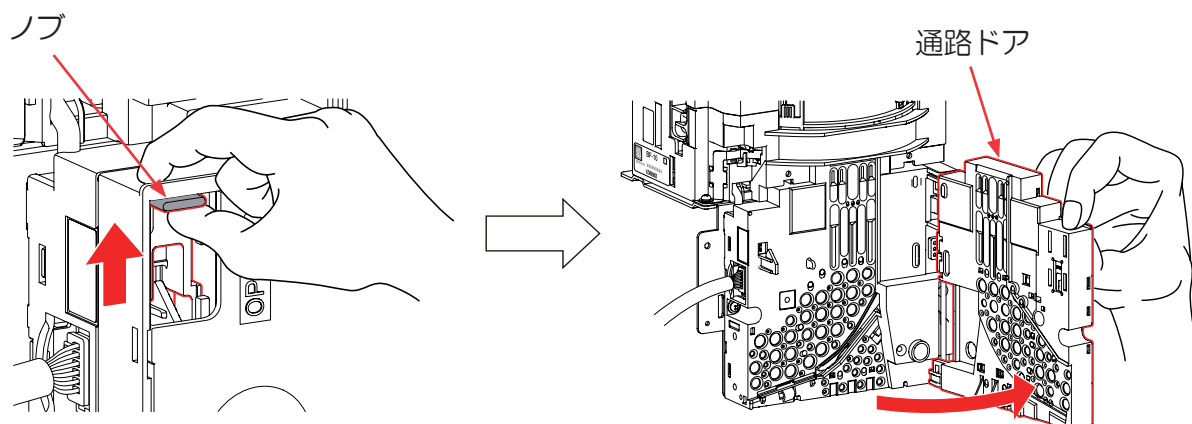
11 蓋を“カチッ”と音がするまで押して閉じます。



蓋を閉じる時、指を挟まないよう十分注意して作業してください。
指を挟みけがをする恐れがあります。

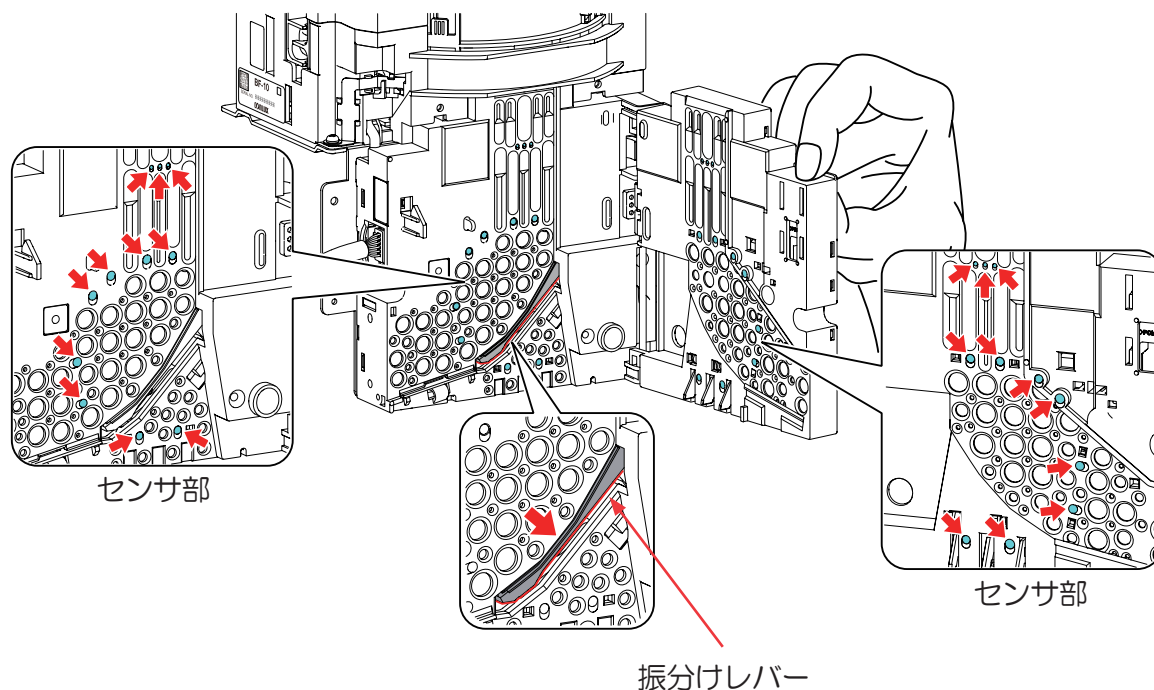


12 通路ドアのノブを矢印の方向に持ち上げながら、通路ドアを開きます。

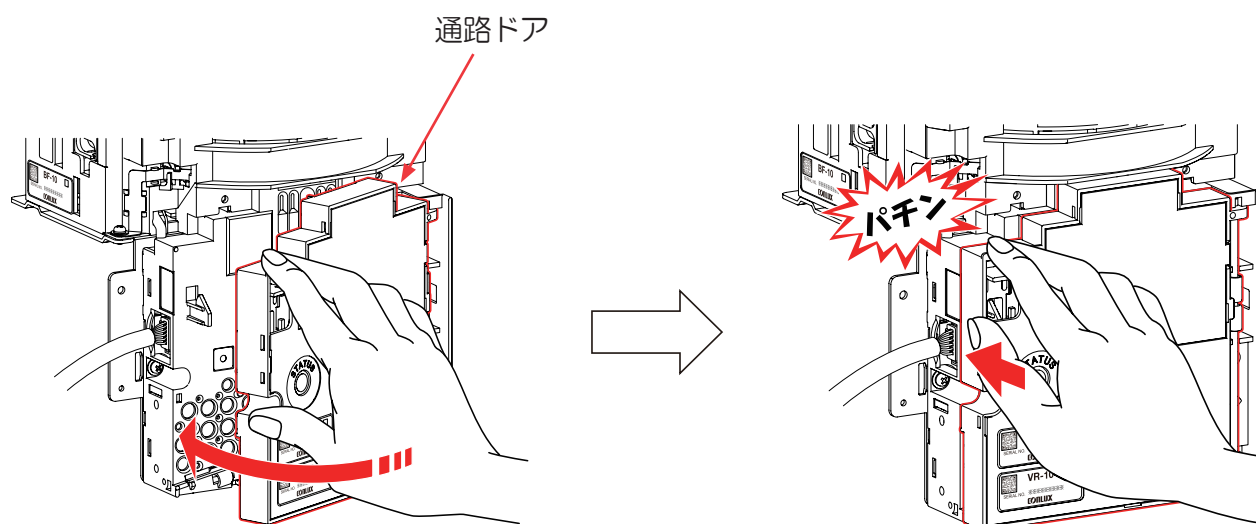


この時硬貨や異物が詰まっていた場合は、取り除いてください。

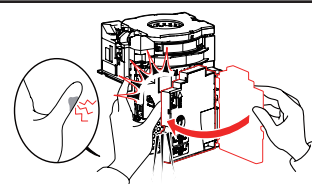
13 硬貨通路部のセンサ部と振分けレバーを、綿棒や繊維くすの出ない柔らかい布で清掃します。



14 通路ドアを手でゆっくり戻し、“パチン”と音がするまで押して閉じます。



通路ドアを強く戻すと、部品の破損等により故障の原因となるばかりでなく、指を挟みけがをする恐れがあります。



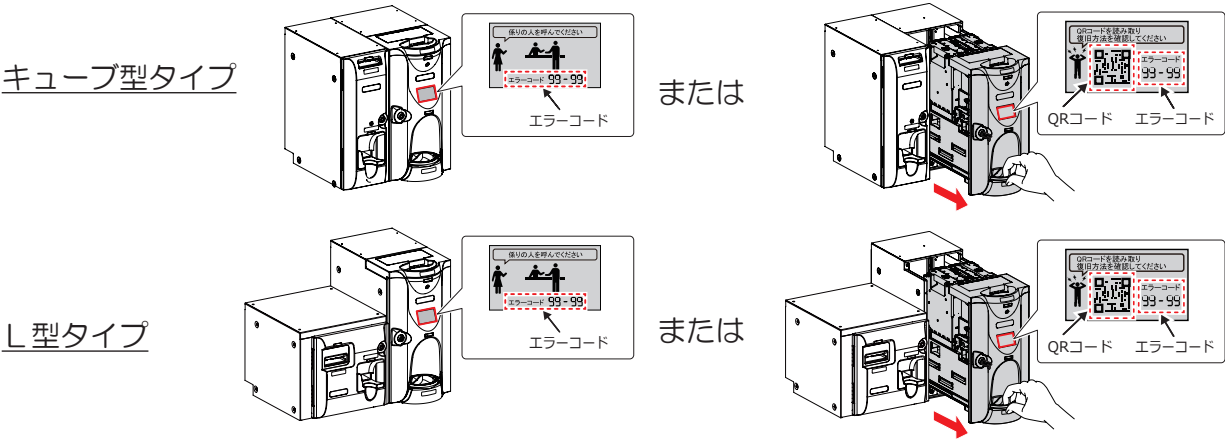
15 電源を ON します (P.36 の「電源の入 / 切のしかた」参照)。

16 硬貨入出金部を閉めます (P.32 の「扉の開閉のしかた」参照)。

エラーが発生したとき	90
エラーコード:[01-01],[21-01],[21-02],[41-01]	91
エラーコード:[01-21],[31-21]	91
エラーコード:[21-21],[21-22],[41-21],[41-22]	91
エラーコード:[10-03],[11-02],[11-03],[11-14]、 [11-09],[11-10]	91
エラーコード:[11-01],[11-04],[11-08],[11-15]、 [11-11],[11-12],[11-13]	94
エラーコード:[21-03],[21-04],[21-05],[21-06]	95
エラーコード:[21-15],[21-16]	96
エラーコード:[31-01],[31-02],[31-03],[31-04]、 [31-05],[31-06],[31-07],[31-08]	98
エラーコード:[41-04],[41-05],[41-06]	101
その他のエラーコード	106
エラーコードの種別:	106
エラーコード表:	106

エラーが発生したとき

- 1** 表示部の「エラーコード」を確認してください。
または硬貨入出金部を開けて（P.32 の「扉の開閉のしかた」参照）、表示部の「動画 QR コード」および「エラーコード」を確認してください。



- 2** 下記エラーコード別 QR コードもしくは表示部に表示されている QR コードを読み取り動画を参照する、または下記エラーコード別該当ページを参照ください。

エラーコード	QRコード	ページ	エラーコード	QRコード	ページ	エラーコード	QRコード	ページ
01-01 21-01 21-02 41-01		P.91	11-09 11-10		P.91	21-15 21-16		P.96
01-21 31-21		P.91	11-01 11-04 11-08 11-15		P.94	31-02 31-07 31-08		P.98
21-21 21-22 41-21 41-22		P.91	11-11 11-12 11-13		P.94	31-01 31-03 31-04 31-05 31-06		P.98
10-03 11-02 11-03 11-14		P.91	21-03 21-04 21-05 21-06		P.95	41-04 41-05 41-06		P.101
						その他の エラー コード		P.106

- エラーコード : [01-01]、[21-01]、[21-02]、[41-01]
内容 : 「カセットまたは収納庫が外れています」

- 1 貨幣払出し用カセットおよび貨幣収納庫が正しく取り付けられているか確認してください (P.37の「つり銭補充のしかた」およびP.55の「入金貨幣の回収」参照)。

- エラーコード : [01-21]、[31-21]
内容 : 「収納庫が一杯です」

- 1 貨幣収納庫から貨幣を回収してください (P.55 の「入金貨幣の回収」参照)。

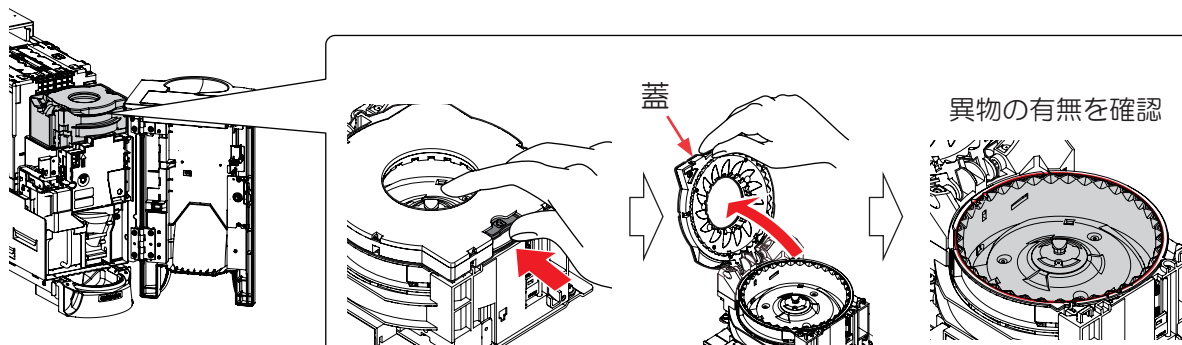
- エラーコード : [21-21]、[21-22]、[41-21]、[41-22]
内容 : 「おつりがなくなりました」

- 1 つり銭を補充してください (P.37 の「つり銭補充のしかた」参照)。

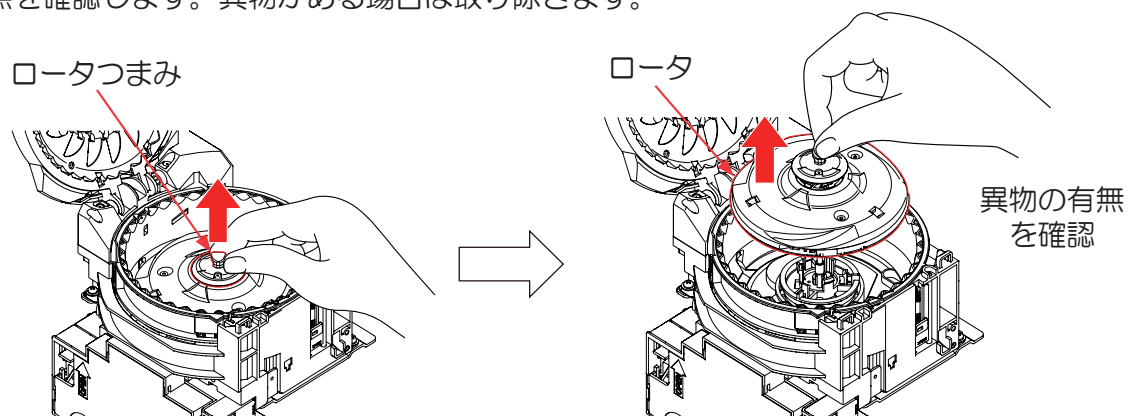
- エラーコード : [10-03]、[11-02]、[11-03]、[11-14]、[11-09]、[11-10]
内容 : 「硬貨入金部異常」

- 1 硬貨入出金部の扉を開けます (P.32 の「扉の開閉のしかた」参照)。

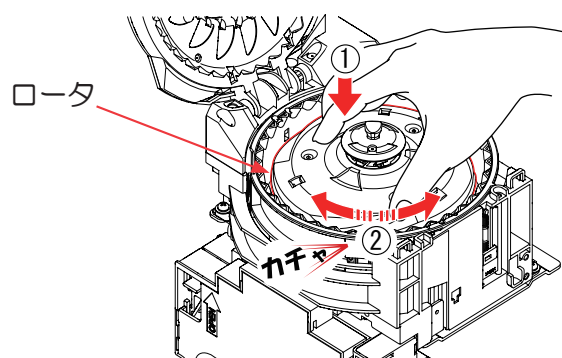
- 2 硬貨入金部の蓋を開けて、異物の有無を確認します。異物がある場合は取り除きます。



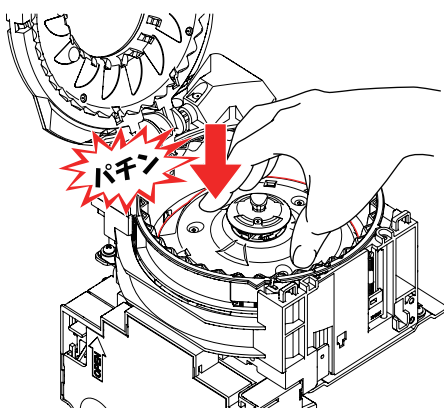
- 3** ロータつまみを引っ張り持ち上げてから、さらに持ち上げてロータを取り外し、異物の有無を確認します。異物がある場合は取り除きます。



- 4** ロータをケースに置いて“カチャ”と1段下がるまで左右に回します。

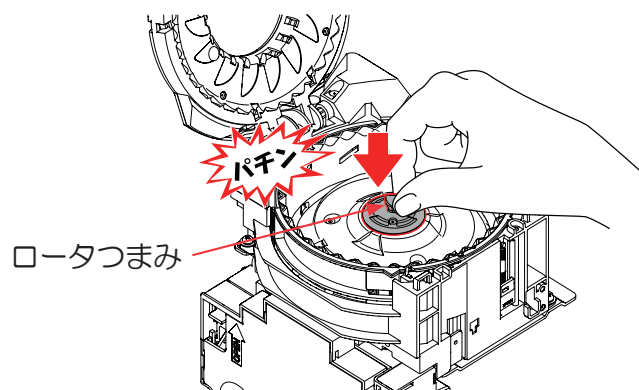


- 5** ロータを“パチン”と音がするまで押します。



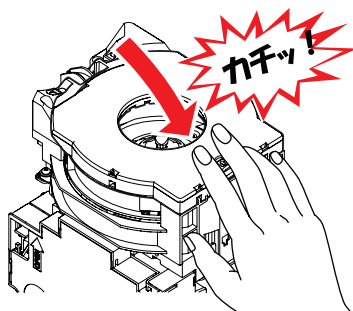
ロータが正しく取り付けられていないと、誤動作や故障の原因となります。

6 ロータつまみを“パチン”と音がするまで押します。



ロータつまみが正しく取り付けられていないと、誤動作や故障の原因となります。

7 硬貨入金部の蓋を“カチッ”と音がするまで押して閉めます。



蓋を閉じる時、指を挟まないよう十分注意して作業してください。
指を挟みけがをする恐れがあります。

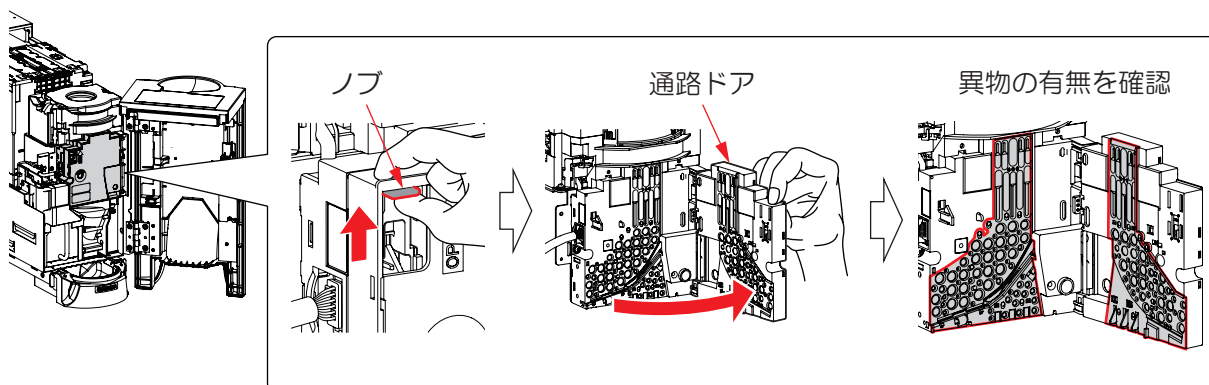
8 エラーコードが「11-09」または「11-10」の場合は電源を OFF・ON します (P.36 の「電源の入 / 切のしかた」参照)。

9 硬貨入出金部の扉を閉めます (P.32 の「扉の開閉のしかた」参照)。

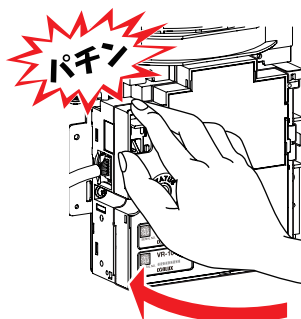
● エラーコード : [11-01]、[11-04]、[11-08]、[11-15]、[11-11]、[11-12]、[11-13]
内容 : 「硬貨入金部異常」

1 硬貨入出金部の扉を開けます (P.32 の「扉の開閉のしかた」参照)。

2 通路ドアのノブを矢印の方向に持ち上げながら、通路ドアを開きます。異物の有無を確認し、異物がある場合は取り除きます。



3 通路ドアを手でゆっくり戻し、“パチン”と音がするまで押して閉じます。



通路ドアを強く戻すと、部品の破損等により故障の原因となるばかりでなく、指を挟みけがをする恐れがあります。

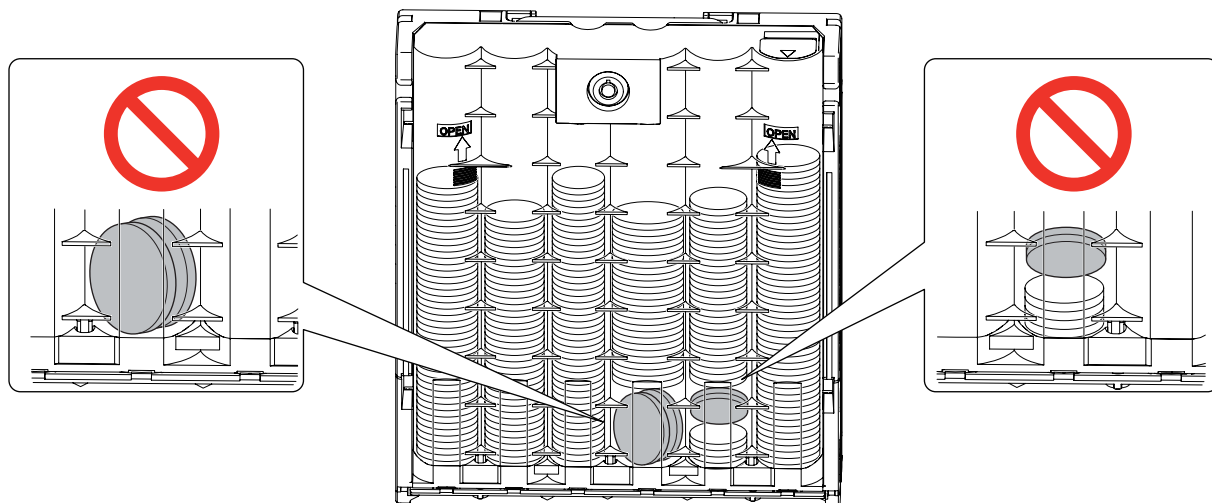
4 エラーコードが「11-11」、「11-12」、「11-13」の場合は電源を OFF・ON します (P.36 の「電源の入 / 切のしかた」参照)。

5 硬貨入出金部の扉を閉めます (P.32 の「扉の開閉のしかた」参照)。

● エラーコード : [21-03]、[21-04]、[21-05]、[21-06]
内容 : 「硬貨出金部異常」

1 硬貨払出し用カセット（2つ）を取り外します（P.37の「硬貨の補充」参照）。

2 硬貨払出し用カセット内の硬貨に異常がないか確認します。異常がある場合は硬貨を正しくセットします。



3 硬貨払出し用カセット（2つ）を取り付けます（P.37の「硬貨の補充」参照）。

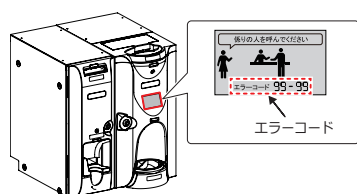
● エラーコード : [21-15]、[21-16]
内容 : 「硬貨出金部異常」

1 電源を OFF・ON します (P.36 の「電源の入 / 切のしかた」参照)。

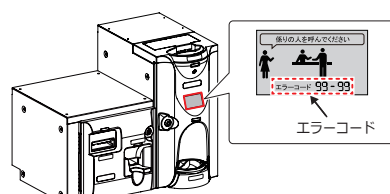
2 硬貨入出金部の扉を閉めます (P.32 の「扉の開閉のしかた」参照)。

3 表示部のエラーコードを確認します。

- ・エラーコードを表示しない : 作業終了
- ・エラーコードを表示する : 手順4へ



キューブ型タイプ



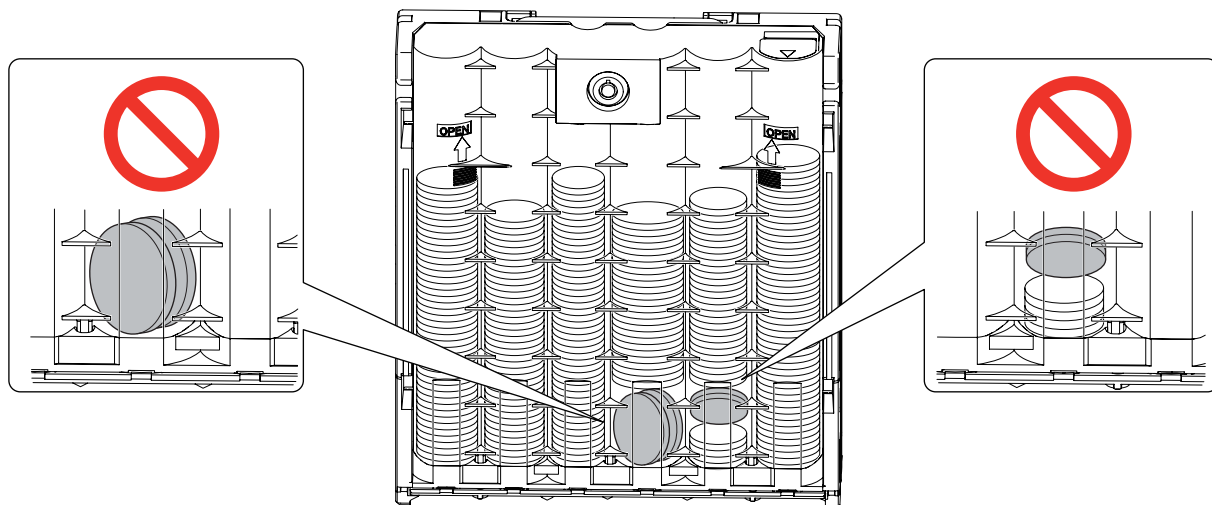
L型タイプ

4 硬貨払出し用カセット (2つ) が取り出せるか確認します (P.37 の「硬貨の補充」参照)。

- ・カセットを取り出せる : 作業5へ
- ・カセットを取り出せない : 修理依頼をしてください

5 硬貨払出し用カセット (2つ) を取り外した状態で、電源を OFF・ON します (P.36 の「電源の入 / 切のしかた」参照)。

- 6** 硬貨払出し用カセット内の硬貨に異常がないか確認します。異常がある場合は硬貨を正しくセットします。

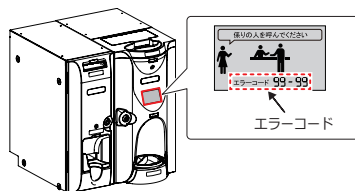


- 7** 硬貨払出し用カセット（2つ）を取り付けます（P.37の「硬貨の補充」参照）。

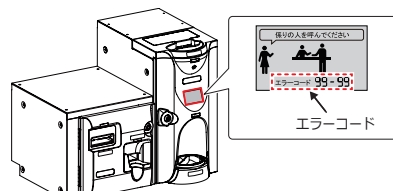
- 8** 硬貨入出金部の扉を閉めます（P.32の「扉の開閉のしかた」参照）。

- 9** 表示部のエラーコードを確認します。

- ・エラーコードを表示しない : 作業終了
- ・エラーコードを表示する : 修理依頼をしてください



キューブ型タイプ

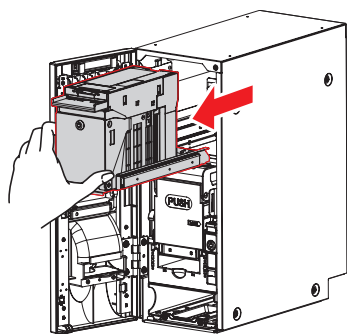


L型タイプ

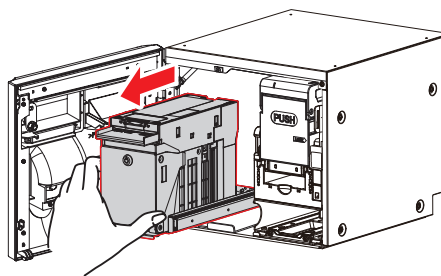
● エラーコード : [31-01]、[31-02]、[31-03]、[31-04]、[31-05]、[31-06]、[31-07]、[31-08]
内容 : 「紙幣入金部異常」

1 紙幣入出金部の扉を開けます (P.32 の「扉の開閉のしかた」参照)。

2 紙幣入金ユニットを引き出します。

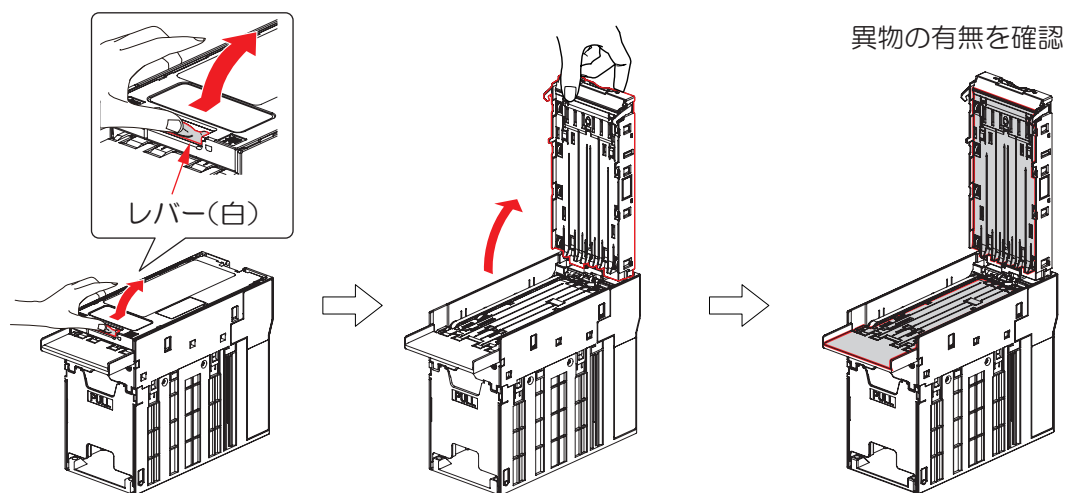


キューブ型タイプ



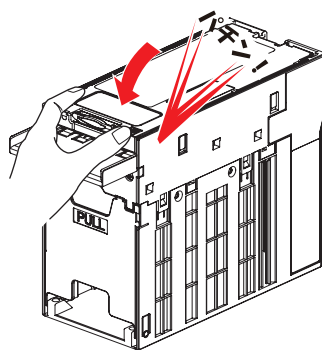
L型タイプ

3 白いレバーを押しながら上にあげ紙幣入金通路部(前側)を開けます。異物の有無を確認し、異物がある場合は取り除いてください。



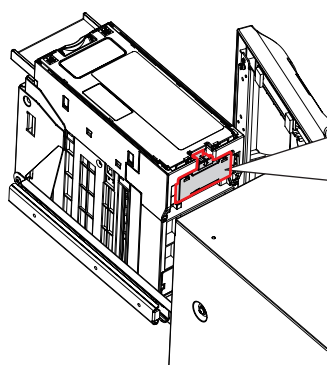
紙幣入金通路部(前側)を開く時は、指を挟まないように十分注意して作業してください。指を挟みけがをする恐れがあります。

4 紙幣入金通路部（前側）を“パチン”と音がするまで閉めます。

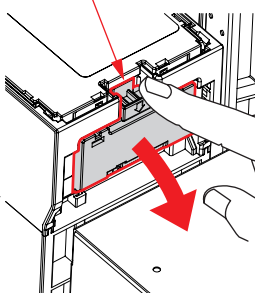


- 紙幣入金通路部（前側）を閉じる時は、指を挟まないように十分注意して作業してください。けがをする恐れがあります。
- 紙幣入金通路部（前側）を確実に閉めないで、誤動作や故障の原因となります。

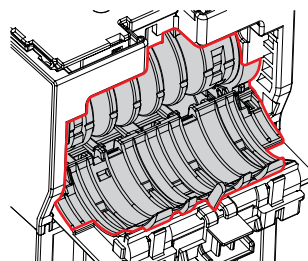
5 紙幣入金ユニット後部の黒いレバーを押し下げ、紙幣入金通路部（後側）を開けます。異物の有無を確認し、異物がある場合は取り除きます。



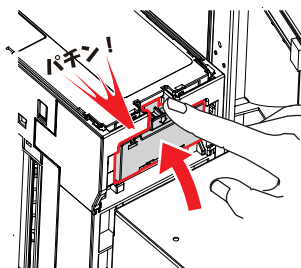
レバー（黒）



異物の有無を確認

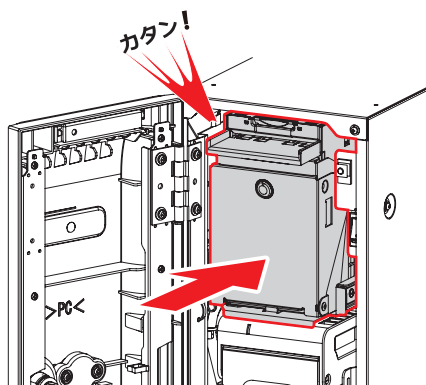


6 紙幣入金通路部（後側）を“パチン”と音がするまで閉めます。

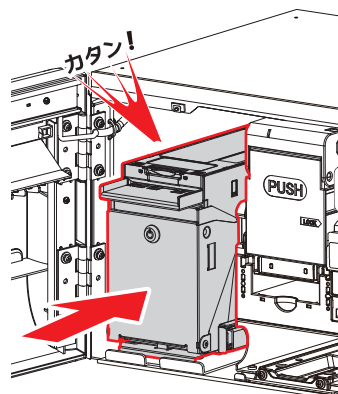


- 紙幣入金通路部（後側）を確実に閉めないで、誤動作や故障の原因となります。

- 7** 紙幣入金ユニットを“カタン”と音がするまで押し込みます。



キューブ型タイプ



L型タイプ

- 8** 紙幣入出金部の扉を閉めます（P.32 の「扉の開閉のしかた」参照）。

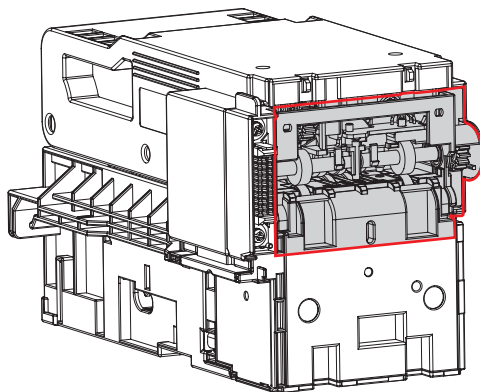
- 9** エラーコードが「31-01」、「31-03」、「31-04」、「31-05」、「31-06」の場合は電源をOFF・ON します（P.36 の「電源の入 / 切のしかた」参照）。

- 10** 硬貨入出金部の扉を閉めます（P.32 の「扉の開閉のしかた」参照）。

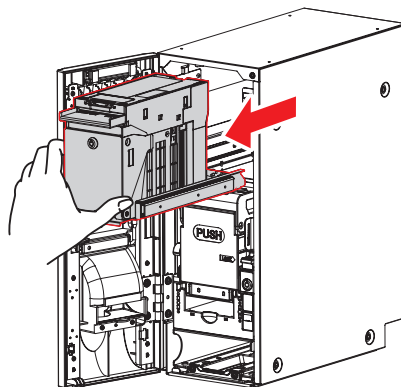
- エラーコード : [41-04]、[41-05]、[41-06]
内容 : 「紙幣出金部異常」

1 紙幣払出しカセットを取り出します（P.101 の「2」参照）。

2 紙幣払出しカセット出口の異物の有無を確認します。異物があった場合は取り除きます。

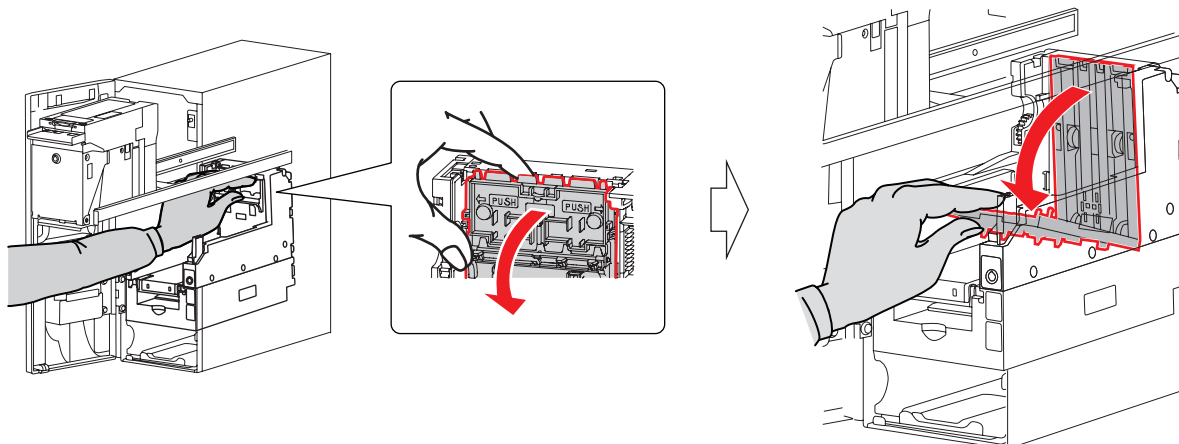


3 紙幣入金ユニットを引き出します（キューブ型タイプのみ）。

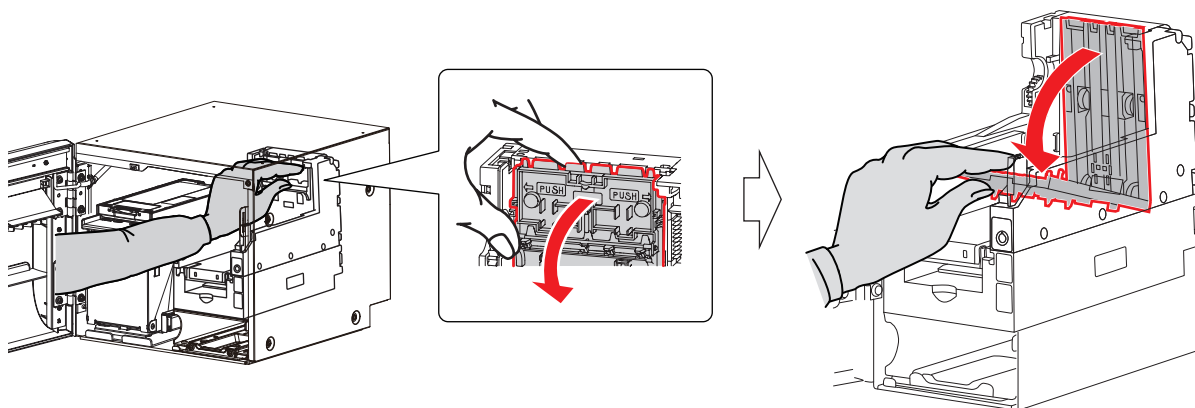


4 紙幣出金通路部（後側）を開けます。

キューブ型タイプ

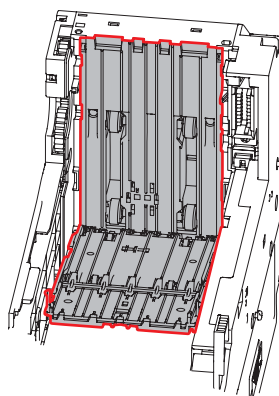


L型タイプ



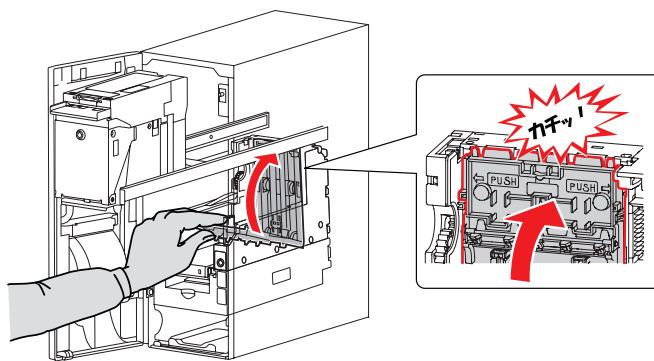
5 異物の有無を確認します。異物がある場合は取り除きます。

異物の有無を確認

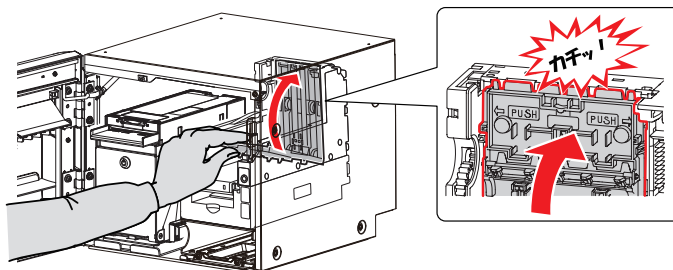


6 紙幣出金通路部（後側）を“カチッ”と音がするまで閉じます。

キューブ型タイプ

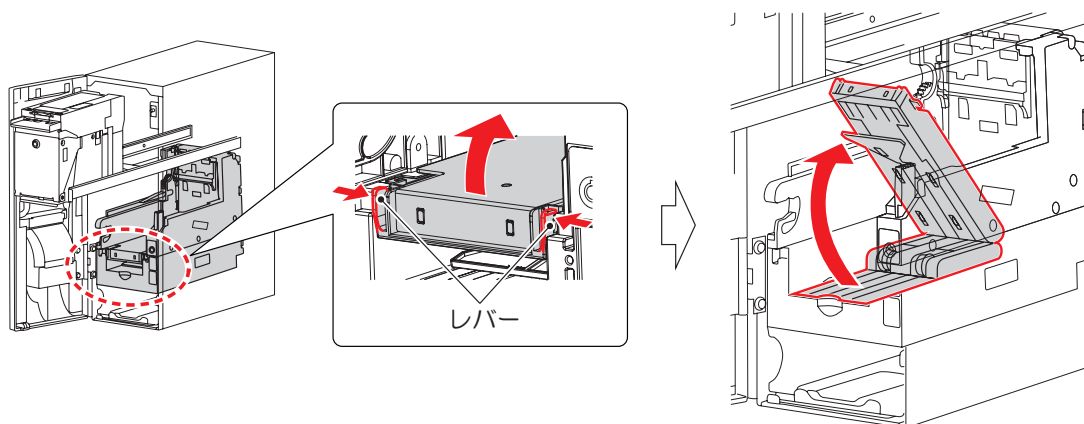


L型タイプ

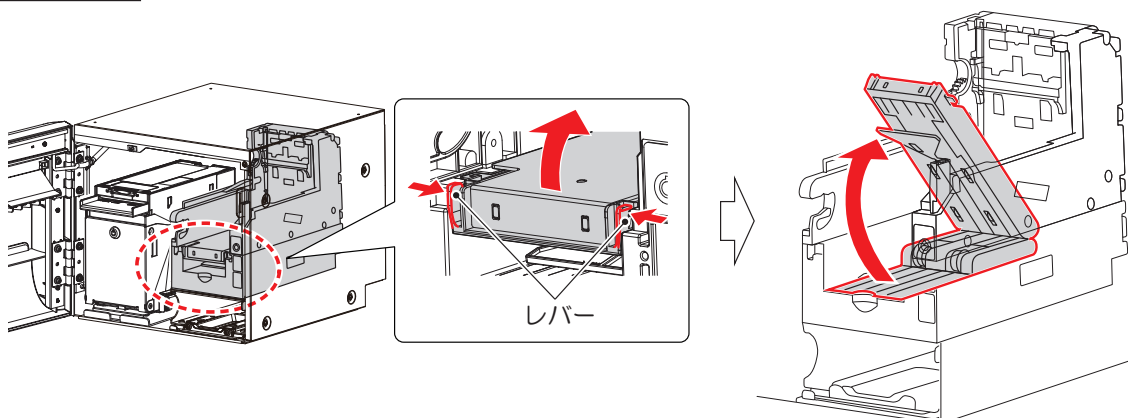


7 レバーを押しながら上にあげ、紙幣出金通路部（前側）を開きます。

キューブ型タイプ

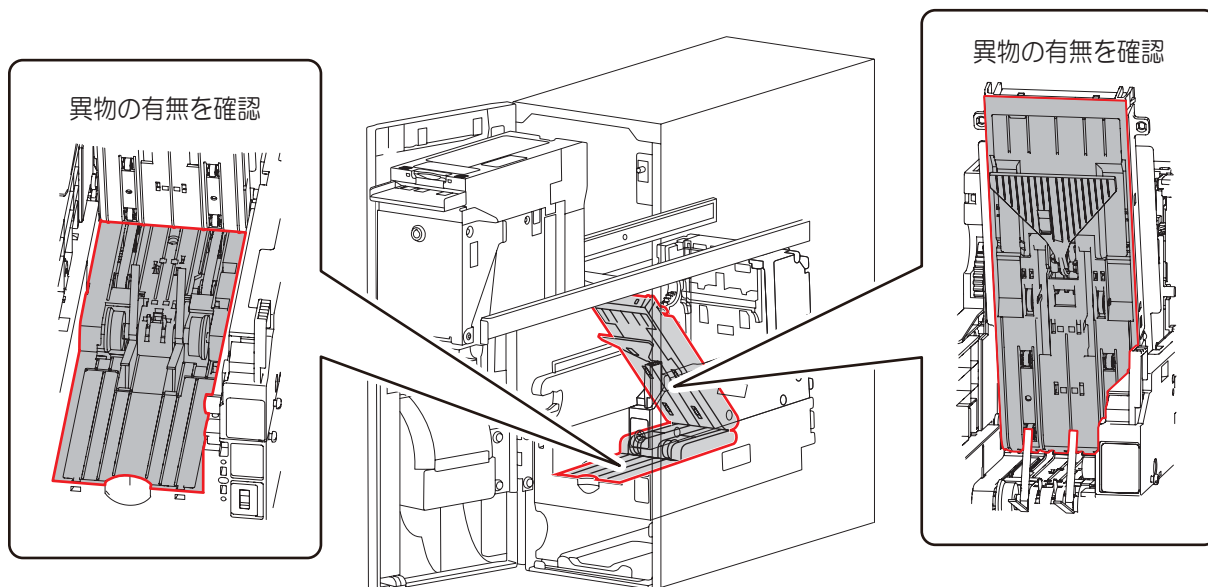


L型タイプ

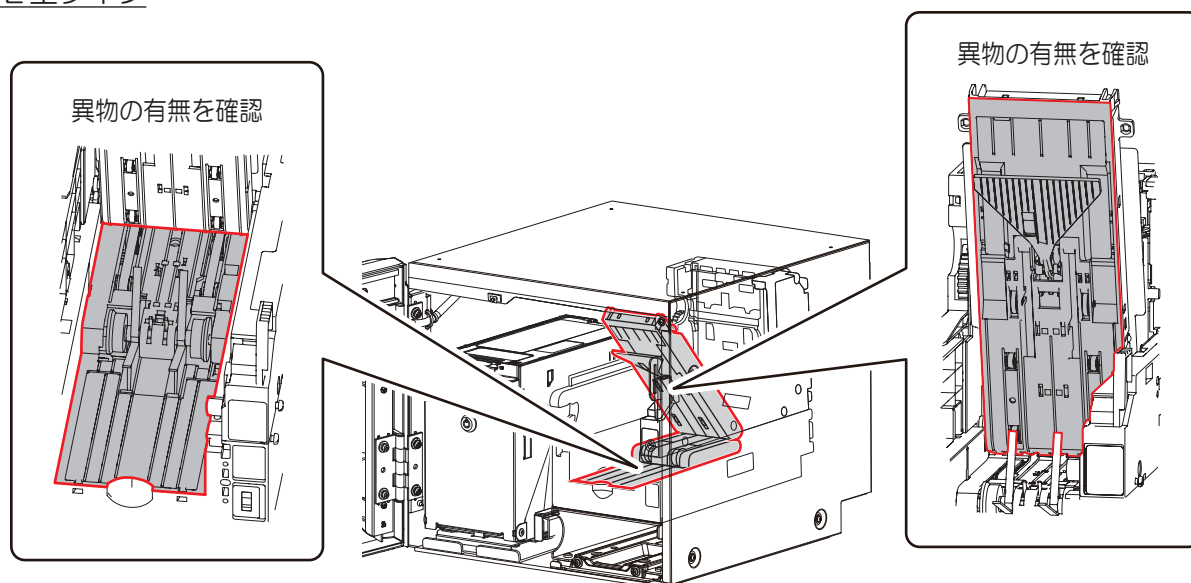


8 異物の有無を確認します。異物がある場合は取り除きます。

キューブ型タイプ

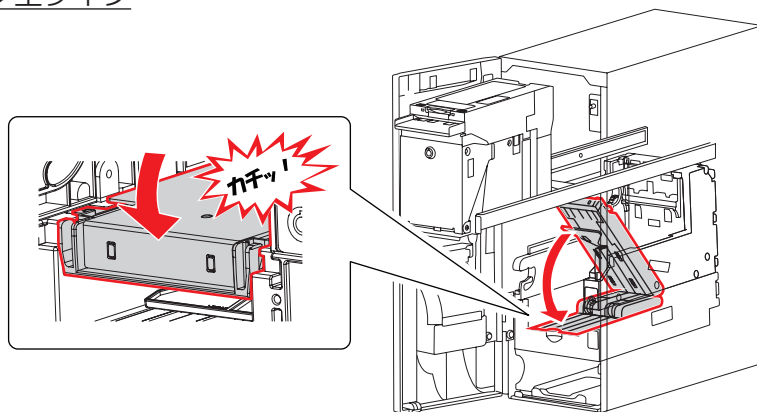


L型タイプ

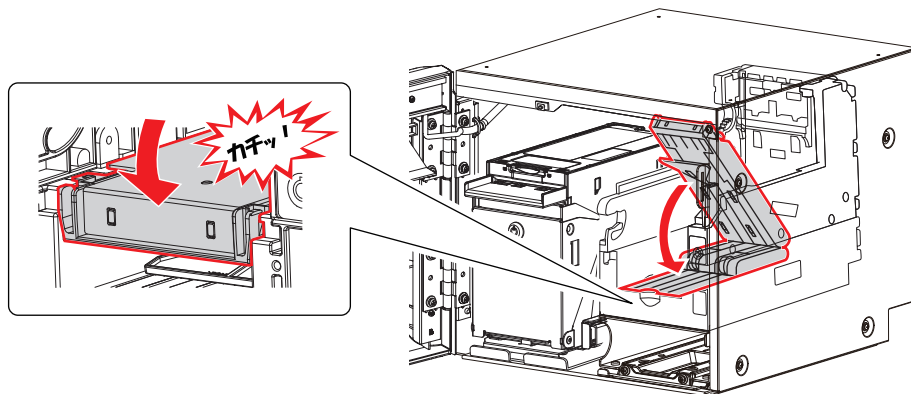


9 紙幣出金通路部（前側）を“カチッ”と音がするまで閉じます。

キューブ型タイプ



L型タイプ



10 紙幣払出しカセットを取り付けます（P.101 の「2」参照）。

● その他のエラーコード

下記エラーコード表の「対処内容」に従って対処してください。

エラーコードの種別：

エラーコードには3つの種類があります。

種別 内容	Warning	継続的に使用可能ですが、なるべく早く対処してください。 ※「Warning」は表示部にエラーコードの表示はしません。
	Error	継続的に使用不可能な状態です。対処内容に従って異常状態を解除してください。
	Trouble	継続的に使用不可能な状態です。ハードウェア故障の疑いがありますので、対処内容に従って状態復帰を試みてください。

エラーコード表：

CODE	種別	エラー表示	対処内容
0001	Error	硬貨入出金部の扉が開いていません	扉を閉めてください
0002	Error	紙幣入出金部の扉が開いていません	扉を閉めてください
0011	Warning	硬貨収納庫がもうすぐ一杯です	入金硬貨を回収してください
0091	Warning	定期清掃をお願いします	-
0101	Error	硬貨収納庫が外れています	硬貨収納庫をセットしてください
0102	Error	硬貨の取り忘れがあります	硬貨出金口を確認してください
0103	Error	機器異常	硬貨入金部を点検してください
0121	Error	硬貨収納庫が一杯です	入金硬貨を回収してください
0201	Trouble	機器異常	電源をOFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
0202	Trouble	機器異常	電源をOFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
0203	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
0204	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
0206	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください

CODE	種別	エラー表示	対処内容
0210	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
0221	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
0222	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
0223	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
0224	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
0231	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
0232	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
0250	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
1003	Warning	硬貨入金部に異物があります	硬貨入金部を点検してください
1091	Warning	定期部品交換をお願いします	-
1092	Warning	定期部品交換をお願いします	-
1101	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検してください
1102	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検してください
1103	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検してください
1104	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検してください
1105	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検してください
1106	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検してください
1108	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検してください
1109	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検し、電源をOFF・ONしてください

CODE	種別	エラー表示	対処内容
1110	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検し、電源をOFF・ONしてください
1111	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検し、電源をOFF・ONしてください
1112	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検し、電源をOFF・ONしてください
1113	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検し、電源をOFF・ONしてください
1114	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検してください
1115	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検してください
1116	Error	硬貨入金部異常	電源をOFF・ONしてください
1117	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検してください
1118	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検してください
1119	Error	硬貨入金部異常	硬貨入金部を点検してください
1211	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
1212	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
1213	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
1214	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
1215	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
1221	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
1222	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
1223	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
1224	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください

CODE	種別	エラー表示	対処内容
1225	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
1226	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
1231	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
1232	Trouble	機器異常	電源OFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
2001	Warning	おつり(硬貨)がもうすぐなくなります	おつりを補充してください
2091	Warning	定期部品交換をお願いします	-
2092	Warning	定期部品交換をお願いします	-
2101	Error	カセット外れ	硬貨出金部にカセットを装着してください
2102	Error	カセット外れ	硬貨出金部にカセットを装着してください
2103	Error	硬貨出金部異常	硬貨出金部を点検してください
2104	Error	硬貨出金部異常	硬貨出金部を点検してください
2105	Error	硬貨出金部異常	硬貨出金部を点検してください
2106	Error	硬貨出金部異常	硬貨出金部を点検してください
2107	Error	硬貨出金部異常	硬貨出金部を点検してください
2108	Error	硬貨出金部異常	硬貨出金部を点検してください
2109	Error	硬貨出金部異常	硬貨出金部を点検してください
2111	Error	硬貨出金部異常	硬貨出金部を点検してください
2113	Error	硬貨出金部異常	硬貨出金部を点検してください
2115	Error	硬貨出金部異常	硬貨出金部を点検してください

CODE	種別	エラー表示	対処内容
2116	Error	硬貨出金部異常	硬貨出金部を点検してください
2121	Error	おつり(硬貨)がなくなりました	おつりを補充してください
2123	Error	硬貨出金部異常	電源をOFF・ONしてください
2124	Error	硬貨出金部異常	電源をOFF・ONしてください
2203	Trouble	機器異常	電源をOFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
2204	Trouble	機器異常	電源をOFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
3001	Warning	紙幣収納庫がもうすぐ一杯です	入金紙幣を回収してください
3101	Error	紙幣入金部異常	紙幣入金部を点検してください
3102	Error	紙幣入金部異常	紙幣入金部を点検してください
3103	Error	紙幣入金部異常	紙幣入金部を点検してください
3104	Error	紙幣入金部異常	紙幣入金部を点検してください
3105	Error	紙幣入金部異常	紙幣入金部を点検してください
3106	Error	紙幣入金部異常	紙幣入金部を点検してください
3107	Error	紙幣入金部異常	紙幣入金部を点検してください
3108	Error	紙幣入金部異常	紙幣入金部を点検してください
3121	Error	紙幣収納庫がもうすぐ一杯です	入金紙幣を回収してください
3201	Trouble	機器異常	電源をOFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
4001	Warning	おつり(紙幣)がもうすぐなくなります	おつりを補充してください
4101	Error	カセット外れ	紙幣出金部にカセットを装着してください紙幣出金部を点検してください

CODE	種別	エラー表示	対処内容
4102	Error	紙幣出金部異常	紙幣出金口から紙幣などを取り除いてください
4103	Error	紙幣出金部異常	紙幣出金口から紙幣などを取り除いてください
4104	Error	紙幣出金部異常	紙幣出金口から紙幣などを取り除いてください
4105	Error	紙幣出金部異常	紙幣出金口から紙幣などを取り除いてください
4106	Error	紙幣出金部異常	紙幣出金口から紙幣などを取り除いてください
4121	Error	おつり(紙幣)がなくなりました	おつりを補充してください
4201	Trouble	機器異常	紙電源をOFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
4202	Trouble	機器異常	紙電源をOFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
4203	Trouble	機器異常	紙電源をOFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください
4204	Trouble	機器異常	紙電源をOFF・ONして復旧しない場合は修理依頼をしてください

その他

製品仕様.....	114
硬貨入出金部.....	114
紙幣入出金部.....	114
共通.....	114
製品型式名の見方	115
機種名.....	115
付属品一覧.....	116

製品仕様

● 硬貨入出金部

入金・出金硬貨	1円貨	1955年(昭和30年)以降発行の硬貨
	5円貨	1959年(昭和34年)以降発行の硬貨
	10円貨	1953年(昭和28年)以降発行の硬貨
	50円貨	1967年(昭和42年)以降発行の硬貨
	100円貨	1967年(昭和42年)以降発行の硬貨
	500円貨	2000年(平成12年)8月以降発行の硬貨 2021年(令和3年)11月以降発行の硬貨
硬貨収納容量	入金(入金硬貨収納庫): 約1,000枚(基準硬貨100円にて約1200枚)	
	入金(硬貨振分収納庫): 1円 5円 50円 約160枚 / 10円 約250枚 / 100円 約250枚 / 500円 約100枚	
	出金: 1円 300枚 / 5円 100枚 / 10円 300枚 / 50円 100枚 / 100円 300枚 / 500円 80枚	
搭載モジュール	硬貨識別モジュール: CS-11 硬貨払出しモジュール: CP-111/CP-122	
質量	入金硬貨収納庫	20.7Kg
	硬貨振分収納庫	21.5kg

● 紙幣入出金部

入金紙幣	1000円紙幣	2004年(平成16年)11月1日以降発行の日本銀行券(E千円券) 2024年(令和6年)発行予定の日本銀行券(F千円券)
	2000円紙幣	2000年(平成12年)7月19日以降発行の日本銀行券(D二千円券)
	5000円紙幣	2004年(平成16年)11月1日以降発行の日本銀行券(E五千円券) 2024年(令和6年)発行予定の日本銀行券(F五千円券)
	10000円紙幣	2004年(平成16年)11月1日以降発行の日本銀行券(E一万円券) 2024年(令和6年)発行予定の日本銀行券(F一万円券)
	入金: 約480枚(官封札相当) しわ、折れ、カール等の紙幣が混入すると、最大収納枚数は変動します。	
	出金: 1000円 約500枚(束厚60mmまで) しわ、折れ、カール等の紙幣が混入すると、最大収納枚数は変動します。	
搭載モジュール	紙幣識別モジュール: NB-4MB3-1A (S5) 紙幣払出しモジュール: DP-M512	
質量	キューブ型タイプ	13.5Kg
	L型タイプ	15.8kg

● 共通

消費電力	待機時: 約13W 動作時: 約39W(999円払い出し時)
使用温度範囲 保存温度範囲	0℃~+40℃
設置条件	屋内 水平方向に対し傾き±1°以内
電源電圧	AC100V ± 10% 50Hz/60Hz
電源コンセント	JIS C 8303 2極接地極付コンセント 15A 125V
規格	VCCI(情報処理装置等電波障害自主規制協議会) Class A

製品型式名の見方

●機種名

硬貨入出金部 (Pay Cube-C)

P T - 3 C □ □ - □ □ □

ユーザ区分 (表-Ⅲ)
オプション区分 (表-Ⅱ)
筐体区分 (表-Ⅰ)

表 - Ⅰ

記号	筐体区分
11	硬貨入出金機 + AC アダプタ 黒
12	硬貨入出金機 + AC アダプタ 白

表 - Ⅱ

記号	オプション区分
00	入金硬貨収納庫
01	硬貨振分収納庫

表 - Ⅲ

記号	ユーザ区分
1	指定なし

紙幣入出金部 (Pay Cube-B)

P T - 3 B □ □ - □ □ □

ユーザ区分 (表-Ⅵ)
オプション区分 (表-Ⅴ)
筐体区分 (表-Ⅳ)

表 - Ⅳ

記号	筐体区分
11	縦型紙幣入出金機 (キューブ型タイプ) 黒
12	縦型紙幣入出金機 (キューブ型タイプ) 白
21	横型紙幣入出金機 (L 型タイプ) 黒
22	横型紙幣入出金機 (L 型タイプ) 白

表 - Ⅴ

記号	オプション区分
00	指定なし

表 - Ⅵ

記号	ユーザ区分
1	指定なし

付属品一覧

紙幣入出金部

No.	名称	個数
1	貨幣収納庫用の鍵（小さい鍵）	2
2	Pay Cube 中継ケーブル	1
3	アース線	1
4	アース端子固定用歯付き座金	1
5	アース端子固定用ネジ M4x8 ダブルセムス	1
6	紙幣挿入口 ラベル	2
7	紙幣出金口 ラベル	2

硬貨入出金部

No.	名称	個数
1	セーフティガイド	1
2	設置ガイド	1
3	本体用の鍵（大きい鍵）	4
4	貨幣収納庫用の鍵（小さい鍵）	2
5	上位装置接続ハーネス	1
6	アース線	1
7	アース端子固定用歯付き座金	1
8	アース端子固定用ネジ M4x8 ダブルセムス	1
9	AC アダプタ	1
10	鍵シリンダー	1
11	鍵タグ	1
12	硬貨投入口 ラベル	2
13	硬貨出金口 ラベル	2

— お 願 い —

紙幣識別ユニット、硬貨識別ユニットの流出は偽造犯罪の主要な原因となります。機器の買換え時に際しましては、弊社にて各識別ユニットを正当に処理破壊致しますのでお申し付けください。なお、機器の転売等により弊社が関与できないケースにおいては、ユーザ各位にて破砕等の方法により識別機能を消滅させ、廃棄していただくようお願い申し上げます。



Pay Cube（貨幣入出金装置）

取扱説明書

2019 年 5 月 31 日 第1版発行
2019 年 9 月 20 日 第2版改訂
2020 年 12 月 24 日 第3版改訂
2022 年 12 月 19 日 第4版改訂
2023 年 7 月 14 日 第5版改訂
2024 年 4 月 5 日 第6版改訂